

ワイヤレスでテレビ放送を楽しむ方法を紹介！
多彩な再生機能や録画予約機能で、もっとテレビが楽しくなる
5GHzワイヤレスLANアクセスポイントとして使う方法も説明！

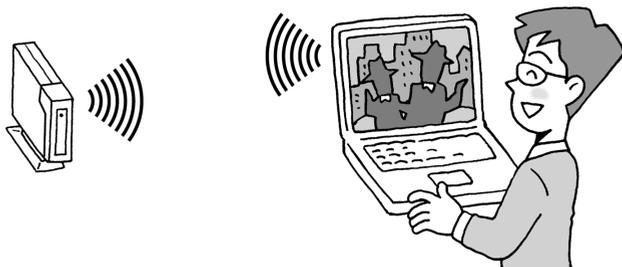
AirTVガイド



AirTV を使ってできること

離れた場所でテレビを楽しめる!

このパソコンと AirTV を無線 LAN で接続すると、アンテナ線が届かない場所でも、AirTV の電波が届く範囲ならどこでもテレビ番組を見たり、録画したりできます。



他のパソコンでもテレビを楽しめる!

「AirTV 設定ツール」を使って他のパソコンを「ゲスト PC」^{*1} に設定すると、テレビチューナーがないパソコン^{*2} でもテレビ番組を視聴できるようになります。詳しくは、「PART7 ネットワークでテレビを見る」をご覧ください。

*1 : ゲスト PC に設定できるパソコンは、最大 2 台までです。

*2 : パソコンに「IEEE802.11a」規格に対応している無線 LAN アダプタを取り付ける（またはパソコンが「IEEE802.11a」規格に対応している）必要があります。

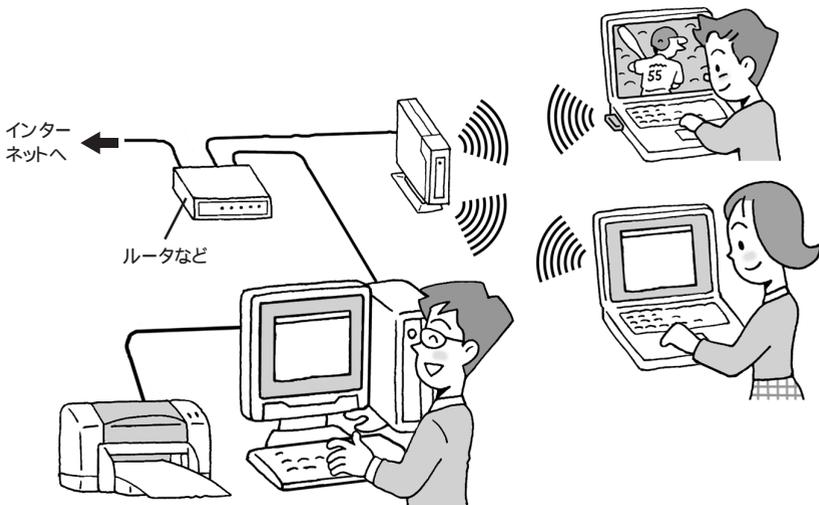


複数のパソコンで同時にインターネットに接続したり、ファイルやプリンタを共有できる！

AirTVの無線LANアクセスポイント機能を使うと、このパソコンと無線LAN機能があるパソコン¹で、無線でプリンタなどの周辺機器や各種データを共有できます。また、添付のLANケーブルでAirTVをインターネット機器(またはインターネット回線)に接続すれば、AirTVを経由して無線でインターネットに接続できるようになります。ルータ²を使えば、2台目以降のパソコン(他のパソコン)でも無線でインターネットに接続できるようになります。インターネットやネットワークへの接続については、「PART6 アクセスポイントを活用する」(p.121)をご覧ください。AirTVは、「IEEE802.11a」規格に対応しているため、映像などの大きなサイズのデータでも快適に楽しむことができます。

*1: パソコンまたは無線LANアダプタが「IEEE802.11a」規格に対応している必要があります。

*2: ルータを内蔵しているモデムを含みます。インターネット機器にルータ機能がない場合は、AirTVとインターネット機器(またはインターネット回線)の間に、市販のルータを接続します。このとき、市販のストレートタイプのLANケーブルが必要になります。



パソコンならではの 便利な機能



「テレビ番組表」

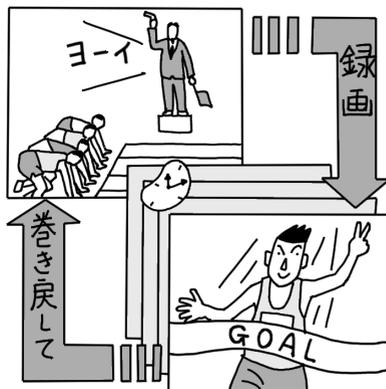
➡ P.79

録画予約や番組検索も「テレビ番組表」を使えば簡単です。番組表から録画予約したい番組を選んだり、ジャンルや出演者、興味のあるキーワードで検索して予約することもできます。最新の番組表データを受信して、設定しましょう。

「タイムシフトモード」

➡ P.46、P.62

タイムシフトモードを使えば、視聴中でも番組を巻き戻し、繰り返し同じ場面を見ることができます。料理のレシピや名シーンなど「録画しておけばよかった」と思った場面を、巻き戻して録画することもできます。

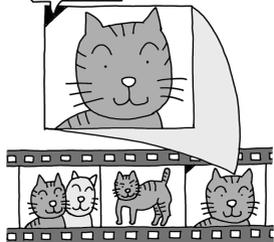


「一時停止」 ㊦ P.48

少しの間テレビの前から離れたいときなどに、この機能で番組を一時停止しておき、用事がすんでから止めておいたシーンの続きから番組を見ることができます。



ブックマーク



「シーンインデックス機能」

㊦ P.95

視聴中の映像や再生中の映像に、しおりのようにマークをつけることができます。見たいシーンを探すのにも手間取りません。

「外出先からの録画予約」 ㊦ P.90

このパソコンと他のサービスを組み合わせれば、外出先のパソコンや携帯電話からでもテレビ番組の録画予約ができます。見たい番組を見逃して悔しい思いをすることもありません。



このマニュアルに出てくる基本的な操作

キーボードでの操作

キーボードでの操作は、【 】で囲んで記載しています。

記載例	意味
【F2】を押す	キーボードの【F2】を押すことを表しています。
【Ctrl】+【Alt】+【Del】	【Ctrl】と【Alt】を押しながら同時に【Del】を押すことを表しています。

「スタート」ボタンからの操作

Windowsの「スタート」ボタンから行う操作は、「 」で囲んで記載しています。

記載例	意味
「スタート」 「すべてのプログラム」 「アクセサリ」 「システムツール」 「システムの復元」をクリックする	「 」で囲まれた項目を順番に選択することを表しています。

表記について

記号

記載内容を守っていただけない場合、どの程度の影響があるかを表しています。

 注意	人が障害を負う可能性が想定される内容、および、物的損害の発生が想定される内容を示します。
傷害や事故の発生を防止するための指示事項は、次のマークで表しています。	
	使用者に対して指示に基づく行為を強制するものです。
 チェック	してはいけないことや、注意していただきたいことを説明しています。よく読んで注意を守ってください。場合によっては、作ったデータの消失、使用しているソフトの破壊、パソコンの破損の可能性があります。
 メモ	利用の参考となる補足的な情報や、用語について説明しています。
 参照	関連する情報が書かれている所を示しています。

表記

 []	[] で囲んである文字は、キーボードのキーを指します。
 ()	() で囲んである数字・文字は、リモコンのボタンを指します。
 「ばそガイド」	電子マニュアル「ばそガイド」を起動して、各項目を参照することを示します。「ばそガイド」はデスクトップの  をダブルクリックして起動します。

モデル

モデルの呼びかた

DVD-RAM/R/RW with DVD+R/RWモデル	DVD-RAM/R/RW with DVD+R/RWドライブが搭載されているモデルです。
CD-R/RW with DVD-ROMモデル	CD-R/RW with DVD-ROMドライブが搭載されているモデルです。
DVD-R/RWモデル	DVD-R/RWドライブが搭載されているモデルです。
DVD-RAM/R/RWモデル	DVD-RAM/R/RWドライブが搭載されているモデルです。
DVD-Movie AlbumSE添付モデル	DVD-MovieAlbumSEを添付しているモデルです。

LaVie Gシリーズについて

LaVie Gシリーズの各モデルについては、添付の『LaVie Gシリーズをご購入いただいたお客様へ』をご覧ください。

記載内容

- ・本文中に記載されているCD/DVDドライブは、DVD-RAM/R/RW with DVD+R/RWドライブ、DVD-RAM/R/RWドライブ、DVD-R/RWドライブまたはCD-R/RW with DVD-ROMドライブを指します。
- ・イラストや画面は、モデルによって異なることがあります。
- ・本文中に記載の画面は、実際の画面と多少異なることがあります。

ソフトウェアの正式名称

Windows、 Windows XP	次のいずれかを指します。 ・Microsoft® Windows® XP Home Edition operating system 日本語版 Service Pack 1 ・Microsoft® Windows® XP Professional operating system 日本語版 Service Pack 1
Windows 2000	Microsoft® Windows® 2000 Professional operating system 日本語版
Windows Me	Microsoft® Windows® Millennium Edition operating system 日本語版
Windows 98	Microsoft® Windows® 98 Second Edition operating system 日本語版
インターネット エクスプローラ	Microsoft® Internet Explorer 6.0 Service Pack 1
VideoStudio	Ulead® VideoStudio® 6 SE Basic
PCGATE Personal	PCGATE Personal Ver2.1
DVD MovieWriter	Ulead® DVD MovieWriter™ for NEC Ver.2
WinDVD	InterVideo® WinDVD™ 4 for NEC
DVD-Movie AlbumSE	DVD-MovieAlbumSE 3

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

漏洩電流自主規制について

この装置は、社団法人電子情報技術産業協会のパソコン業界基準(PC-11-1988)に適合しております。

瞬時電圧低下について

[バッテリバックを取り付けていない場合]

本装置は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合を生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをお勧めします。

[バッテリバックを取り付けている場合]

本装置は、社団法人 電子情報技術産業協会の定めたパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策規格を満足しております。しかし、本規格の基準を上回る瞬時電圧低下に対しては、不都合が生じることがあります。

レーザー安全基準について

このパソコンには、レーザーに関する安全基準(JIS・C-6802、IEC825)クラス1適合のCD/DVDドライブが内蔵されています。

ご注意

- (1) 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁じられています。
- (2) 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書の内容については万全を期して作成いたしました。万が一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたら、NEC 121コンタクトセンターへご連絡ください。落丁、乱丁本はお取り替えいたします。
- (4) 当社では、本装置の運用を理由とする損失、逸失利益等の請求につきましては、(3)項にかかわらずいかなる責任も負いかねますので、予めご了承ください。
- (5) 本装置は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など、人命に関わる設備や機器、および高度な信頼性を必要とする設備や機器などへの組み込みや制御等の使用は意図されておりません。これら設備や機器、制御システムなどに本装置を使用され、人身事故、財産損害などが生じても、当社はいかなる責任も負いかねます。
- (6) 海外NECでは、本製品の保守・修理対応をしておりませんので、ご承知ください。
- (7) ソフトウェアの全部または一部を著作権の許可なく複製したり、複製物を頒布したりすると、著作権の侵害となります。
- (8) あなたがテレビ放送や録画物などから引用したものは、個人として楽しむなどのほかに、著作権上、権利者に無断で使用できません。

Microsoft、MS、Windows、Windows MediaおよびWindowsのロゴは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。

Intel、インテル、Pentium、Celeronは、アメリカ合衆国およびその他の国におけるIntel Corporationまたはその子会社の商標または登録商標です。

AMD、AMDロゴ、AMD Duron、AMD Athlon、ならびにその組み合わせは、Advanced Micro Devices, Inc.の商標または登録商標です。

Ulead、Ulead VideoStudio、Ulead DVD MovieWriterは、Ulead Systems, Inc.またはユーリードシステムズ株式会社の商標または登録商標です。

ADAM(TV-Asahi Data And Multimedia Service)は、株式会社テレビ朝日データビジョンによるデータ多重放送サービスです。

ADAMS-EPGはテレビ朝日系列24局のデータ放送によるテレビ番組の情報配信サービスです。

McAfee、VirusScan、マカフィーは米国法人Network Associates, Inc.またはその関連会社の登録商標です。

SmartVision、PCGATE、BIGLOBE、MediaGarageは、日本電気株式会社の登録商標です。

「i-mode / アイモード」は ㈱NTTドコモの登録商標です。

InterVideo、InterVideo ロゴ、WinDVDはInterVideo, Inc.の商標または登録商標です。

DiXiM、DigiOnは株式会社デジジョンの登録商標です。

その他、本マニュアルに記載されている会社名、商品名は各社の商標または登録商標です。

アナログ放送からデジタル放送への移行について

デジタル放送への移行スケジュール

地上デジタル放送は、関東、中京、近畿の三大広域圏の一部で2003年12月から開始され、その他の地域でも、2006年末までに放送が開始される予定です。該当地域における受信可能エリアは、当初限定されていますが、順次拡大される予定です。地上アナログ放送は2011年7月に、BSアナログ放送は2011年までに終了することが、国の方針として決定されています。

©NEC Corporation, NEC Personal Products, Ltd. 2004

日本電気株式会社、NECパーソナルプロダクツ株式会社の許可なく複製・改変などを行うことはできません。

輸出する際の注意事項

本製品(ソフトウェアを含む)は日本国内仕様であり、外国の規格等には準拠していません。

本製品を日本国外で使用された場合、当社は一切責任を負いかねます。

従いまして、当社は本製品に関し海外での保守サービスおよび技術サポート等を行っていません。

本製品の輸出(個人による携行を含む)については、外国為替及び外国貿易法に基づいて経済産業省の許可が必要となる場合があります。

必要な許可を取得せずに輸出すると同法により罰せられます。

輸出に際しての許可の要否については、ご購入頂いた販売店または当社営業拠点にお問い合わせ下さい。

Notes on export

This product (including software) is designed under Japanese domestic specifications and does not conform to overseas standards. NEC*¹ will not be held responsible for any consequences resulting from use of this product outside Japan.

NEC*¹ does not provide maintenance service nor technical support for this product outside Japan.

Export of this product (including carrying it as personal baggage) may require a permit from the Ministry of Economy, Trade and Industry under an export control law. Export without necessary permit is punishable under the said law. Customer shall inquire of NEC sales office whether a permit is required for export or not.

* 1: NEC Corporation, NEC Personal Products, Ltd.

目次

PART

1

AirTVの準備をする	1
箱の中身を確認する	2
各部の名称	3
前面	3
右側面	3
背面	4
設置場所についての注意	6
設置に適した場所	6
設置に適さない場所	6
安定した通信を行うために	6
AirTVを接続する	7
スタビライザを取り付ける	7
アンテナ線を接続する	8
AirTVとテレビを接続する	12
ACアダプタと電源ケーブルを接続する	13
AirTVをセットアップする	14
AirTVとパソコンが無線でつながるしくみ	14
セットアップをはじめる前に	15
セットアップをはじめる	16
テレビを見るための準備をする	27
チャンネルと番組表の設定をする	27
チャンネル設定ユーティリティで設定する	34
「PCGATE Personal」の設定を変更する	35

PART

2

テレビを見よう	39
テレビ番組を見る	40
SmartVisionの起動と終了	40
画面を切り換える	41
ライブモードとタイムシフトモード	46
タイムシフトモードで一時停止・巻き戻し・早送りをする	48
字幕放送を見る	49
チャンネルを切り換える	51
チャンネルコントロールで切り換える	51
キーボードやリモコンで切り換える	51
番組表を使って切り換える	52

音量や音声を変える	53
音声コントロールで音量を調節する	53
リモコンの(音量調節)ボタンで音量を調節する	53
音声を切り換える	54

テレビ番組の録画と再生をしよう 55

テレビ番組を録画する	56
テレビ番組を録画するための準備をする	56
録画について	59
見ている番組を録画する	61
タイムシフト録画(巻き戻して録画する)	62
録画しながら再生する	64
その他の録画機能	64
テレビ番組を録画予約する	65
予約するときの注意	65
録画予約の設定をする	66
番組を予約する(手動で予約)	67
録画予約を実行する	68
おまかせ録画機能で録画する	70
予約の確認や変更または取消をする	72
予約した録画が成功したか確認する	74
録画したテレビ番組を再生する	75
VIDEO リストから選んで再生する	75
不要な録画ファイルを削除する	77

番組表を使いこなそう 79

番組表を使う	80
番組表を見る	80
番組表を自動受信できるようにする	82
インターネットから番組表を取得する	83
番組を検索する	85
番組を視聴/録画予約する	87
番組表を使って視聴/録画予約する	87

便利な機能	89
外出先から録画予約しよう	90
こんなことができます	90
SmartVision TV録画予約サービスクライアント (BIGLOBE用).....	91
SmartVision TV録画予約サービスクライアント (ドット・ゲートサービス用).....	93
シーンインデックス機能	95
ブックマークについて	95
シーンインデックスについて	96
特殊再生について	97
簡易編集機能について	98
エクスポート機能	99
録画したデータをVideoStudio で編集する	105
DVD MovieWriterでDVD-Video、 VideoCDを作成する	106
ビデオデッキやアナログビデオカメラを接続する	107
用意するもの	107
接続する	108
こんなときは	108
ビデオの映像をSmartVision で録画する	109
MediaGarageを使う	111
MediaGarageの設定をする	111
MediaGarageでテレビを見る	113
録画予約をする	114
録画した番組を再生する	115
ホームネットワークに接続した他のパソコンからテレビを見る	117
地上アナログデータ放送とは	118
ADAMS放送について	119

アクセスポイントを活用する	121
AirTVとパソコンが無線でつながるしくみ	122
無線LANアクセスポイントについて	124
インターネットに接続する	126
インターネットに接続できるまでのステップ	127

つなぎ方と設定のポイントを確認する	127
インターネットに接続できるようにする	138
2台目以降のパソコンをインターネットに接続できるようにする	147
無線でプリンタやファイルを共有する	153
無線でプリンタなどの周辺機器やファイルを共有できるようにする	154
AirTVとパソコンを直接接続する	155
無線LANのセキュリティについて	156
通信内容を暗号化して盗聴を防ぐWEP機能	156
接続相手を限定するESSIDとMACアドレスフィルタリング	156

ネットワークでテレビを見る 157

ゲストPC(他のパソコン)でテレビ番組を見るには	158
「パートナPC」と「ゲストPC」について	158
ゲストPCの条件	158
ゲストPCでテレビを楽しむまでのステップ	160
ゲストPCでテレビ番組を楽しむ	165
ゲストPCで利用できるSmartVisionの機能	165
パートナPCで録画したテレビ番組を、ゲストPCで再生する ..	165
ゲストPCからパートナPCに録画予約する	170

AirTV Q&A 171

テレビをうまく見ることができないときには	172
テレビが映らない、映りが悪い	172
音が出ない、音が大きすぎる	173
SmartVisionを起動後、青い「SmartVision」画面のまま 画像が出ない	174
パートナPCで録画した番組をゲストPCで再生すると 黒画面となり映像が表示されない	174
画面が時々止まる	175
無線LANに接続してから、約2～3分経つとテレビ画面が停止する	176
映像がコマ落ちする	177
番組表が受信できないときや、視聴 / 録画予約できないときには	179
番組表が受信できない	179
録画予約した番組が録画されていない	180
予約設定をしたらメッセージが表示された	182

動画や静止画をうまく取り込めないときには	183
キャプチャできない	183
SmartVisionで音が出ない	184
取り込んだ動画の画質が悪い	184
CATV放送をうまく見ることができないときには	185
CATV放送が見られない	185
地上アナログデータ放送をうまく見ることができないときには	187
地上アナログデータ放送が受信できない、または、データの 取りこぼしが生じる	187
「ADAMS」の内容が更新されない	189
AirTVとうまく通信できないときには	190
AirTVに接続できない(ワイヤレスクライアントマネージャで AirTVが表示されない).....	190
「AirTV設定ツール」で「AirTVの検索」の結果「AirTVが 見つかりませんでした。...」と表示される	190
AirTVとパソコンの間の無線LAN接続が時々切れる	192
映像がスムーズに再生されない、または音飛びする	192
他の無線LAN機能を持つパソコンと各種データを共有できない ...	193
インターネットに接続できない	195
その他	197
AirTVに正しく接続できているかどうか調べたい、 使用していないIPアドレスを調べたい	197
パソコンの無線LANアダプタのIPアドレスを知りたい	198
パソコンの無線LANアダプタのMACアドレスを調べたい	199
「ネットワークアダプタの設定」画面が表示された	201

付 録

アクセスポイントの詳細設定	204
「AirTVアクセスポイント設定ツール」を起動する	204
AirTVの無線LANアクセスポイントの設定を変更する	212
AirTV仕様一覧	215
AirTV購入時の設定	218
外部アンテナを取り付ける	219
アフターケアについて	221
保守サービスについて	221

索 引

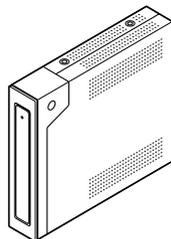
P A R T

1

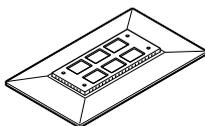
AirTVの準備をする

箱の中身を確認する

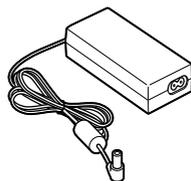
本製品のパッケージには、以下のものが同梱されています。お買い上げ商品について不足するものがないかご確認ください。



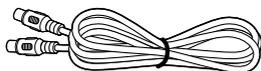
AirTV 本体



スタビライザ



AC アダプタ



アンテナケーブル



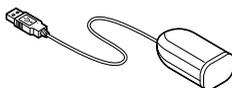
LAN ケーブル*1



電源ケーブル



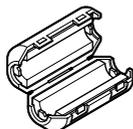
リモコン



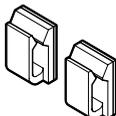
リモコン用受信ユニット



リモコン用アルカリ電池
(単3形、2本)



フェライトコア*2



ケーブル止め(2個)*2

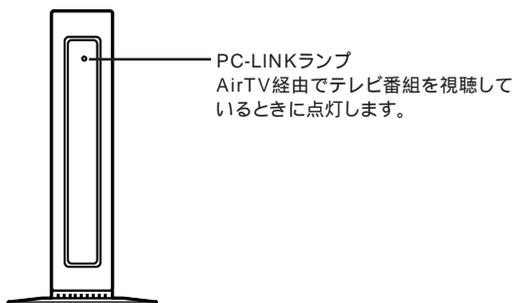
『AirTV ガイド』(本書)
『リモコン取扱説明書』
スタビライザ取り付け用ネジ
(4本)
横置き用ゴム足(4個)

*1: 添付のLANケーブルはストレートケーブルです。LANケーブルには、ストレートケーブルとクロスケーブルの2種類があります。AirTVとこのパソコンを直接接続する場合は、市販のクロスケーブルを用意します。

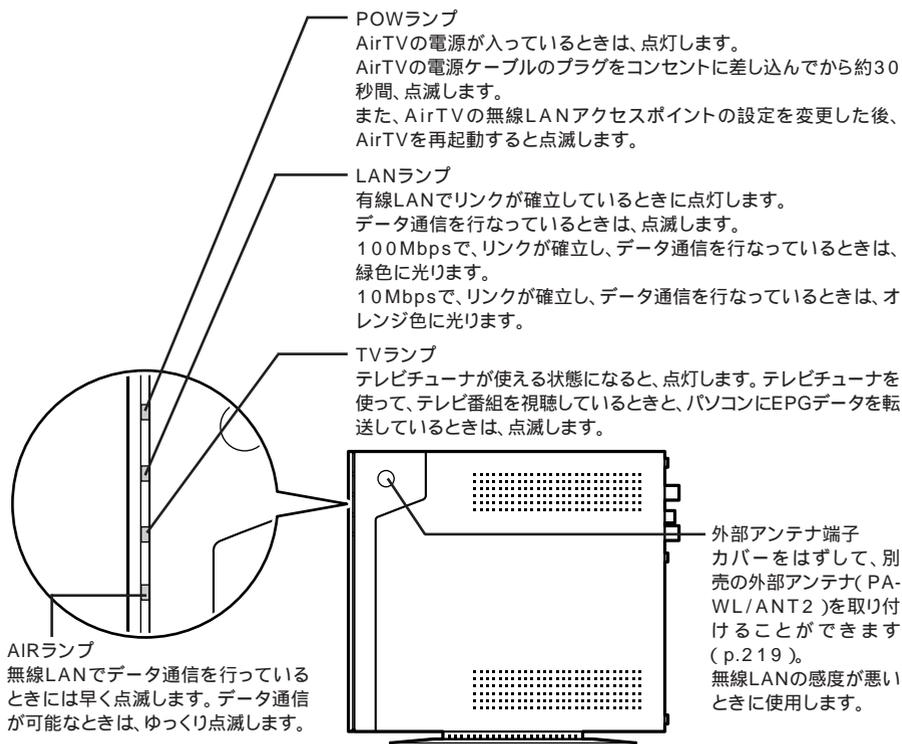
*2: フェライトコアとケーブル止めは、オプションの外部アンテナ(PA-WL/ANT2)を使用する場合にのみご使用ください。使用方法は、付録の「外部アンテナを取り付ける」(p.219)をご覧ください。

各部の名称

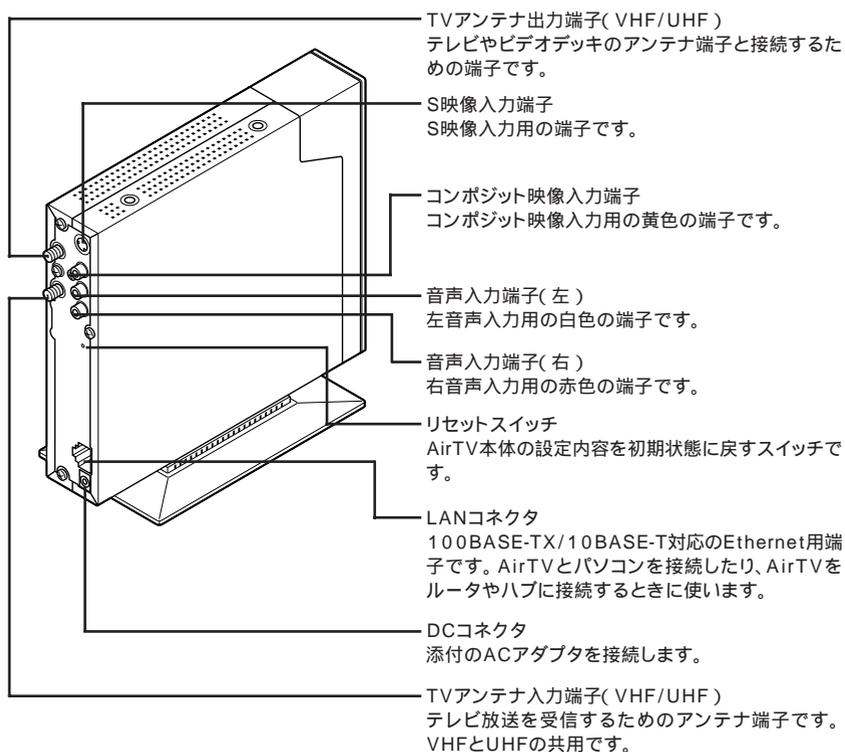
前面



右側面



背面





リセットスイッチについて

本体背面にあるリセットスイッチは、AirTVの設定内容を購入時の状態に戻すときに使います。購入時の設定については、付録の「AirTV購入時の設定」(p.218)をご覧ください。

購入時の設定内容に戻すには、次の順番で操作します。

購入時の設定内容に戻す方法

- (1) 太さ1.3mm程度、まっすぐな部分の長さが45mm程度(指でつまむ部分を除く)の針金を用意する
ペーパークリップを伸ばして作ることができます。
- (2) AirTV本体前面にあるPC-LINKランプが消灯していることを確認する(点灯しているときは、SmartVisionアプリケーションを終了し、ACアダプタと電源ケーブルをいったん外してから、接続し直して消灯状態にする)
- (3) 手順1)で作った針金の先で、AirTV本体前面のPC-LINKランプが点灯するまでリセットスイッチを押し続ける

AirTVが再起動して、設定が初期状態になります。

このとき、AirTVの無線LANアクセスポイントの暗号化(WEP)設定は無効になり、暗号化(WEP)設定を有効にしているパソコンや無線LAN機器と通信できなくなります。

再び暗号化(WEP)設定を有効にするには、次の手順で操作してください。

AirTVの無線LANアクセスポイントの暗号化(WEP)設定を有効にする方法

- (1) パソコンの無線LANアダプタの暗号化(WEP)設定をいったん無効にする
「ルータを使ってインターネットに接続するときの設定方法」(p.138)の手順8～手順9を行い、表示される画面で「セキュリティ」タブをクリックして「セキュリティ方式」欄から「暗号化を使用しない」を選び、「接続」をクリックすることで、暗号化(WEP)設定を無効にできます。
- (2) AirTVの無線LANアクセスポイントの暗号化(WEP)機能を設定し直す
「AirTVアクセスポイント設定ツール」(p.204)の「暗号化(WEP)設定」画面」で設定できます。
- (3) パソコンの無線LANアダプタの暗号化(WEP)設定を有効にする
「ルータを使ってインターネットに接続するときの設定方法」(p.138)の手順8～手順9を行い、表示される画面で「セキュリティ」タブをクリックして「無線LANの設定を変更する」(p.17)の手順5の操作を行い、「接続」をクリックすることで、暗号化(WEP)設定を有効にできます。

設置場所についての注意

AirTV本体を設置するときは、以下の点に注意してください。

設置に適した場所

- ・水平で落下の恐れがない場所(机の上など)
- ・風通しのよい涼しい場所

設置に適さない場所

- ・直射日光が当たる場所
- ・暖房器具の近くなど
- ・高温多湿でホコリの多い場所



参照

使用時の注意については、本体に添付の『安全にお使いいただくために』をお読みになりご確認ください。

安定した通信を行うために

安定した通信をするために、次のことに注意してください。

- ・ AirTVと通信するパソコン(または無線LAN機器)は、無線LANの通信状態が「強い」または「非常に強い」状態で使用する(無線LANの通信状態は、デスクトップ右下の通知領域に表示されているにカーソルを合わせて確認できます)
- ・ AirTVと通信するパソコン(または無線LAN機器)は、できるだけ周りに障害物がなく、見通しの良い場所で利用する

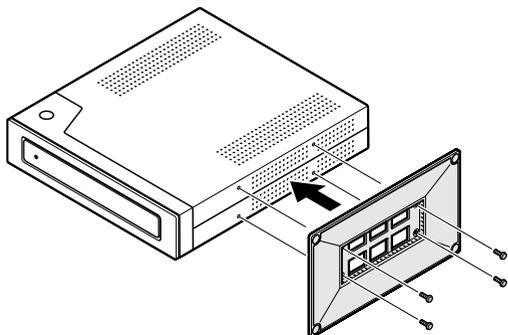
AirTVを接続する

まず、AirTVを使用できるように、アンテナ線や電源ケーブルなどを接続しましょう。

スタビライザを取り付ける

AirTV本体を立てて使うときは、添付のスタビライザを取り付けます。

- 1 AirTV本体を机の端などに置く
- 2 AirTV本体底面の穴に、スタビライザの穴を合わせ、添付のネジを取り付ける



- 3 AirTV本体を持ち、静かに縦に置く

チェック

AirTV本体を安定させて設置する場所が見つからないときには、AirTV本体左側面の出っ張り部分に添付の横置き用ゴム足を取り付けて、AirTV本体を横にして設置してください。横置き用ゴム足を貼り付けないと、通風孔がふさがれて、故障の原因となります。

アンテナ線を接続する

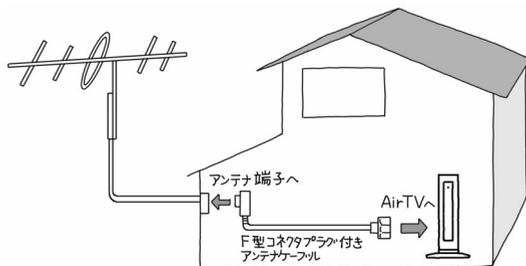
アンテナ線の種類を確認する

チェック

アンテナ線の種類や必要なケーブルについて、詳しくは、お近くの電器店などにご相談ください。

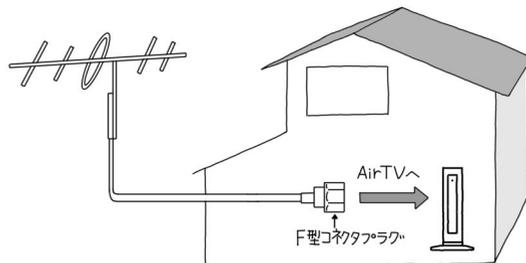
壁面にアンテナ端子がある場合

マンションなどで、壁面にアンテナ端子がある場合には、市販のF型コネクタプラグ付きアンテナケーブル(同軸ケーブル)を、壁面のアンテナ端子に接続しておいてください。



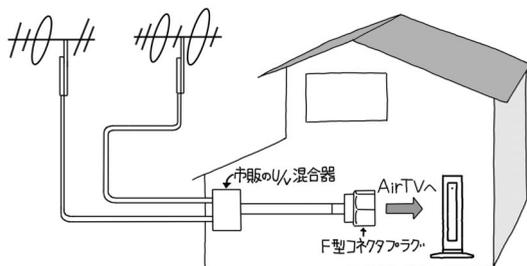
アンテナ線が1本の場合(UHFのみの場合 / VHFのみの場合 / UHF/VHF混合の場合)

アンテナ線の先端に市販のF型コネクタプラグを取り付けてください。F型コネクタプラグの取り付けかたについてはp.9をご覧ください。



アンテナ線が2本の場合(UHFとVHFがある場合)

市販のU/V混合機を取り付けてアンテナケーブルを1本にし、ケーブルの先端に市販のF型コネクタプラグを取り付けてください。F型コネクタプラグの取り付けかたについては次をご覧ください。

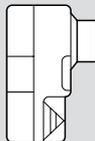


ケーブルにF型コネクタプラグを取り付ける

チェック

アンテナケーブルとAirTVの接続には、市販のネジタイプネジタイプのF型コネクタプラグを使用してください。他のものでは、ノイズの影響を受けたり、正しく受信できない場合があります。

F型コネクタプラグの種類

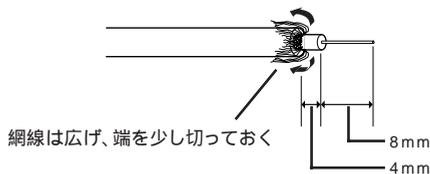


✕ 箱型など



○ ネジタイプ

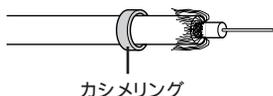
1 アンテナケーブルの先端を、カッターを使って、次のように加工する



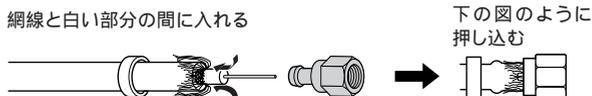
チェック

金属線は折れやすいので、カッターで傷ついたり、曲げないように注意してください。

2 アンテナケーブルにカシメリングを通す



3 F型コネクタプラグをアンテナケーブルに押し込む



4 カシメリングをF型コネクタプラグの付け根に固定する

網線はリングに通す

ペンチなどで軽くつぶしカシメリングをだ円状にする

ケーブルをカシメリングの片側に寄せて、すきまがある部分をペンチなどではさんで締める



5 カシメリングからはみ出した網線をカッターなどで切る

アンテナ線をAirTVとテレビ(またはビデオ)の両方に接続する場合
市販の分配機を使って、アンテナ線を2つにすることができます。分配したあとで、市販のF型コネクタプラグ付きアンテナケーブル(同軸ケーブル)でAirTVと接続してください。

アンテナを分配して信号が弱くなった場合、電波状況によってはアンテナブースタが必要になります。詳しくは、お近くの電器店などにご相談ください。

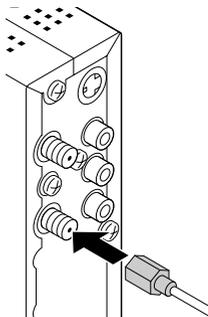
アンテナ線に平行フィードを使っている場合
市販の整合器を使って同軸ケーブルに変更してください。詳しくは、お近くの電器店などにご相談ください。

AirTVにアンテナ線を接続する

 チェック

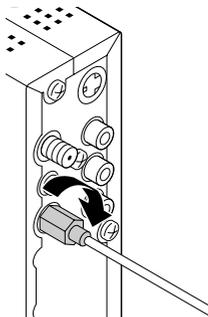
アンテナ線を接続する前にAirTVのACプラグをコンセントから抜き、電源を切ってください。また、周辺機器が、AirTVに接続されている場合は、周辺機器の電源も切ってください。

- 1 お使いのテレビやビデオデッキから、アンテナ線を取り外す
- 2 AirTV本体背面のTVアンテナ入力端子(VHF/UHF)に、手順1で取り外したアンテナ線のF型コネクタプラグを差し込む

 チェック

コネクタ中心部の小さな穴に、F型コネクタプラグの中心にある金属線を差し込んでください。金属線は折れやすいので、ていねいに扱ってください。

- 3 F型コネクタプラグの先端のネジを右へ回し、止まるまでしっかり固定する

 チェック

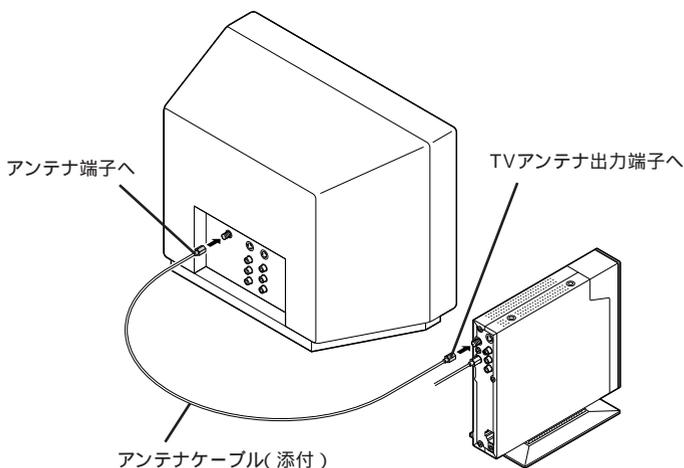
アンテナ線の端子がネジ式でないときは、しっかりと押し込んで固定してください。

AirTVとテレビを接続する

チェック

感電を防ぐため、接続するときは、必ずテレビとAirTVの電源ケーブルをコンセントから抜いておいてください。

テレビだけでも放送を受信できるようにするために、AirTVとテレビを添付のアンテナケーブルで接続します。

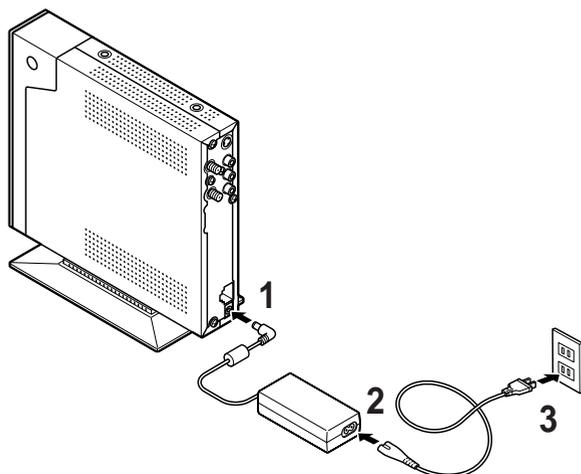


ビデオデッキなどをお使いの場合は、テレビ、AirTV、ビデオデッキをアンテナケーブルで接続してください。AirTVにはアンテナケーブルが1本添付されていますので、不足分は市販のアンテナケーブルをお使いください。

チェック

アンテナケーブルを接続する順番や組み合わせによっては、電波が弱くなり、映像がちらついたり、きれいに映らなかったりすることがあります。このようなときは、市販のアンテナブースターを接続してください。詳しくは、お近くの電器店などにご相談ください。

ACアダプタと電源ケーブルを接続する



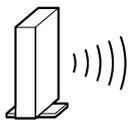
- 1 ACアダプタをAirTV本体背面のDCコネクタに接続する
- 2 電源ケーブルをACアダプタに接続する
- 3 ACプラグをコンセントに差し込む
AirTV本体の電源が入ります。ACプラグをコンセントから抜くと電源が切れます。

 チェック

- AirTV本体の電源は、たこ足配線などを避け、他の機器と別系統で取るようにしてください。必ず付属のACアダプタを使用し、AC100Vの電源コンセントに接続してください。それ以外のACアダプタやコンセントを使用すると、発熱による発火や感電の恐れがあります。
- AirTV本体には電源スイッチがありません。ACプラグを電源コンセントに接続した時点で、電源が入りますのでご注意ください。
- AirTVのACアダプタ、電源ケーブルはAC100V用(日本仕様)です。

AirTVをセットアップする

AirTVとパソコンが無線でつながるしくみ



テレビチューナ 192.168.0.110
無線LANアクセスポイント 192.168.0.111



無線LANアダプタ 192.168.0.123 など

AirTVには、テレビチューナと無線LANアクセスポイントが内蔵されています。AirTVで受信したテレビ番組は、デジタルデータに変換された後、無線LANアクセスポイントを経由して無線LAN、あるいは直接有線LANでパソコンに送られます。機器を識別するために、AirTVのテレビチューナと無線LANアクセスポイント、そしてパソコンの無線LANアダプタには、異なるIPアドレスが設定されている必要があります。購入時には、AirTVのテレビチューナとAirTVの無線LANアクセスポイントには、それぞれ「192.168.0.110」「192.168.0.111」という固定IPアドレスが割り振られています(上図参照)。

したがって、パソコンの無線LANアダプタのIPアドレスを「192.168.0.XXX」(XXXは、1から254までの任意の数字。ただしAirTVの2つのアドレスと重複しないもの)に設定すれば、テレビを視聴できるようになります。

◆メモ

IPアドレスとは

ネットワークに接続されている機器を識別するための番号で、「192.168.0.110」のように0～255の数字4つをドットで結合した表記をします。このアドレスは、更に「192.168.0」というネットワークアドレスと、「110」というホストアドレスに分けられます(ネットマスクが「255.255.255.0」の場合)。

ネットワークアドレスが異なる機器同士は、ルータを経由しなければ通信できません。

AirTVはルータを経由した接続ができませんので、AirTVのテレビチューナと無線LANアクセスポイント、そしてパソコンの無線LANアダプタのネットワークアドレスは、同一である必要があります。

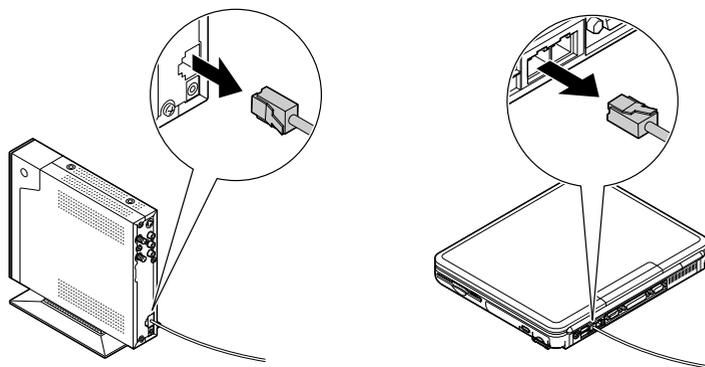
セットアップをはじめる前に

パソコンやAirTVにLANケーブルを接続しない

すでにインターネットなどのネットワークに接続しているときは、パソコンやAirTVからLANケーブルを取り外してください。AirTVのLANコネクタには、まだLANケーブルを接続しないでください。

パソコンやAirTVがネットワークに接続していると、この後の手順でAirTVを正しくセットアップできないことがあります。

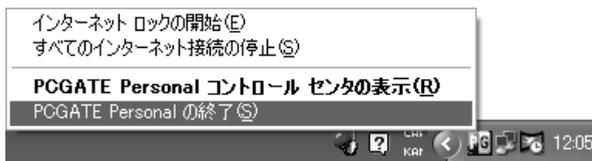
インターネットやネットワークには、AirTVのセットアップが終わってから接続します。詳しくは、「PART6 アクセスポイントを活用する (p.121)」をご覧ください。



ファイアウォール機能を無効にする

ファイアウォールソフトが動作しているなど、パソコンのファイアウォール機能が有効になっているときは、この後の手順でAirTVを正しくセットアップできないことがあります。AirTVのセットアップをはじめる前に、ファイアウォール機能を無効にしてください。このパソコンには、外部からの不正アクセスを防ぐことができる「PCGATE Personal」というソフトがインストールされています。「PCGATE Personal」を起動している場合は、終了させてください。

デスクトップ右下の通知領域に「PCGATE Personal」のアイコンが表示されている場合は、アイコンを右クリックし、表示されるメニューで「PCGATE Personalの終了」をクリックすると、「PCGATE Personal」は終了します(通知領域に「PCGATE Personal」のアイコンが表示されていない場合は、「PCGATE Personal」は起動していません)。





参照

「PCGATE Personal」について 電子マニュアル「ばそガイド」アプリケーションの紹介と説明」50音別目次」

セットアップをはじめる

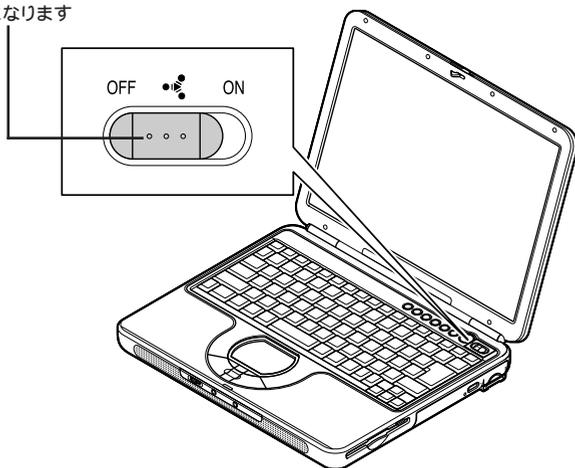
アンテナ線や電源ケーブルの接続が終わったら、パソコンでテレビを視聴できるように設定します。AirTVを使ってテレビ番組を視聴できるようになるまでには、お客様の環境によって15分～30分程度かかります。

無線LAN機能を有効にする

次の手順で、このパソコンの無線LAN機能を有効にできます。

1 ワイヤレススイッチをオンにして、パソコンを起動する

右にスライドさせると
オンになります



*イラストは、LaVie L(スタンダードオールインワンタイプ)のものです。お使いのモデルによって、ワイヤレススイッチの場所が異なります。添付のマニュアル『パソコン機能ガイド』をご覧ください。ワイヤレススイッチの場所を確認してください。

無線LANの設定を変更する

このパソコンに内蔵されている無線LANアダプタの設定を変更します。

- 1 「スタート」→「すべてのプログラム」→「ワイヤレスクライアントマネージャ」をクリックする
「ワイヤレスクライアントマネージャ」が起動します。
- 2 「アダプタの状態」の画面で、「ワイヤレスアダプタ」の「使用する」が☉になっていることを確認する



「使用する」が☉になっていることを確認する

- 3 「拡張設定」をクリックし、表示される画面で ~ の順に設定する



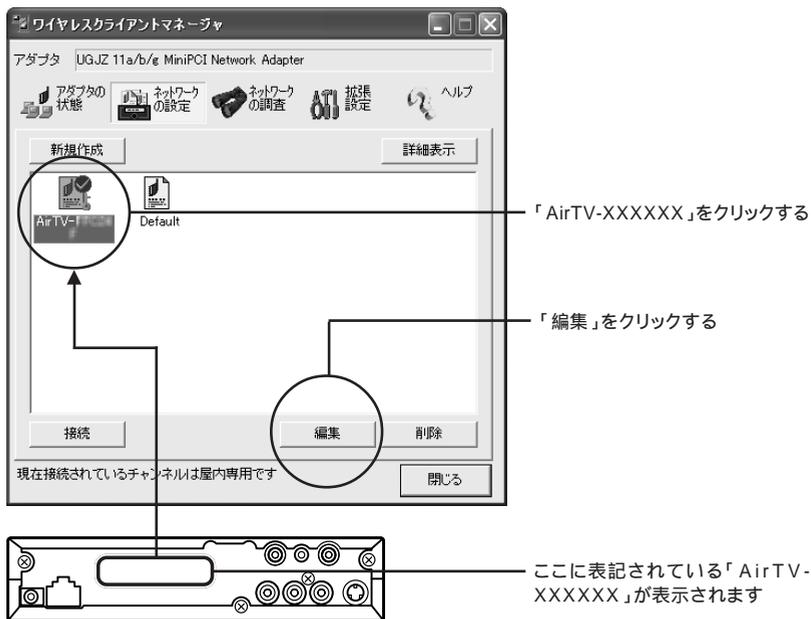
ここをクリックして☑にする

ここが☑になっていることを確認する

ここをクリックして☐にする

4 はじめてワイヤレスクライアントマネージャの設定をするときには、次の手順5へ進む

すでにプロファイル設定を行っていて、設定内容を変更したい場合は「ネットワークの設定」をクリックし、一覧から「AirTV-XXXXXX」(XXXXXXは、AirTV本体背面に貼り付けられているシールに表記された、ESS-ID(無線ネットワーク名))のアイコンをクリックして、「編集」をクリックする手順6へ進みます。



AirTVを横にして、背面から見たところ

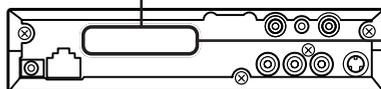
5 「ネットワークの調査」をクリックし、表示される画面で ~ の順に設定する



「表示するネットワークモード」の「アクセスポイント」を☑にする

一覧から「AirTV-XXXXXX」(XXXXXXは、AirTV本体背面に貼り付けられているシールに記載された、ESS-ID(無線ネットワーク名))をクリックする

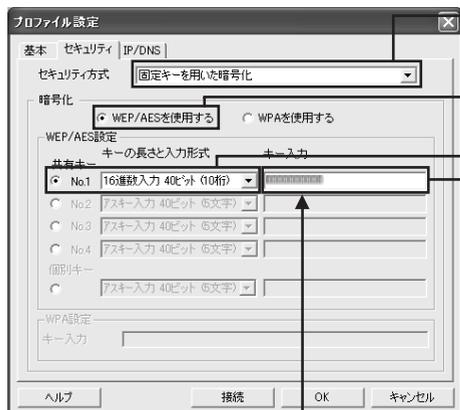
「追加」をクリックする



ここに表記されている「AirTV-XXXXXX」が表示されます

AirTVを横にして、背面から見たところ

6 「セキュリティ」タブをクリックし、表示される画面で ~ の順に設定する



「セキュリティ方式」欄で、▼をクリックして「固定キーを用いた暗号化」を選ぶ

「暗号化」で「WEP/AESを使用する」を☑にする

「共有キー」のNo.1の左が☑になっていることを確認し、▼をクリックして「キーの長さ」と入力形式「欄から「16進数入力 40ビット(10桁)」を選ぶ

「キー入力」欄に、AirTV本体背面のラベルに記載された、WEPの右隣にある10桁の値を半角英数字で入力する



ここに表記されている、WEPの右隣にある10桁の値を半角英数字で入力します

AirTVを横にして、背面から見たところ

チェック

すでにプロファイル設定を行っているときは、「同名のプロファイル名または、グループ名が存在しています。プロファイル名を変更してください」と表示されます。その場合は「OK」をクリックし、キャンセルした後やり直してください。

設定内容を変更するときは手順4での操作が必要となります。

メモ

WEPとは、暗号キーを使って通信内容を暗号化する機能のことです。詳しくは、PART6の「無線LANのセキュリティについて (p.156)」をご覧ください。

7 「IP/DNS」タブをクリックし、表示される画面で ~ の順に設定する

「自動取得」のをにする

「IPアドレス」欄に「192.168.0.XXX」(XXXは、1～254の間で110と111以外の数値)と入力する
例)192.168.0.123

「255.255.255.0」と入力する

「接続」をクリックする

8 「5GHzワイヤレスネットワークは屋内使用に限定されています。…」という「警告」画面が表示された場合は、「OK」をクリックする

「OK」をクリックする

しばらく待って、デスクトップ右下の通知領域に次のように表示されれば、パソコンがAirTVに無線で接続されています。



✕をクリックして、「ワイヤレス ネットワーク接続 に接続しました」を閉じてください。

9 「閉じる」をクリックする

これで、「ワイヤレスクライアントマネージャ」を使った、パソコンの無線LANアダプタの設定は終了です。

AirTV設定ツールで設定する

● チェック

- AirTVの設定をはじめる前に、AirTVの電源が入っていることと、AirTV本体とパソコンがネットワークで接続されていることを確認してください。
- 手順1で「有効なネットワークアダプタを検出できませんでした...」と表示された場合、または手順2で「次へ」をクリックした後、「AirTVが見つかりませんでした。」と表示された場合は、いったん「AirTV設定ツール」を終了して、「PART8 AirTV Q&A」の「AirTVとうまく通信できないときには」(p.190)で問題を解決した後、「AirTV設定ツール」を起動して設定を行ってください。

1 「スタート」「すべてのプログラム」「SmartVision」「AirTV設定ツール」をクリックする

AirTV設定ツールが起動します。



- 2 「次へ」をクリックする
「ポート番号の指定」画面になります。



チェック

はじめてAirTVをセットアップするときは、ポート番号を変更せずにそのまま「次へ」をクリックしてください。

チェック

AirTVとパソコンをLANケーブルで接続しているときには、手順2で「ポート番号の指定」画面が表示されずに、次の「ネットワークアダプタの設定」画面が表示されます。はじめてAirTVをセットアップするときは、「キャンセル」をクリックして「AirTV設定ツール」をいったん終了し、LANケーブルを取り外した後、手順1から設定をやり直してください。「ネットワークアダプタの設定」画面については、「PART8 AirTV Q&A」の「Q ネットワークアダプタの設定」画面が表示されたら（p.201）をご覧ください。



3 「次へ」をクリックする

AirTVの検索がはじまります。しばらくすると、「AirTVの選択」画面が表示されます。



メモ

次回以降「AirTV設定ツール」を起動したときには、手順3で「次へ」をクリックした後で、次の「パートナーの検出」画面が表示されます。



この画面では、パートナーPCの設定を解除したり、パートナーPCのパスワードを設定できます。特に設定を変更する必要がない場合は、そのまま「次へ」をクリックして手順7へ進んでください。

4 設定を行なうAirTVをクリックし、「パートナーとして使用」と表示されていることを確認する

5 「次へ」をクリックする

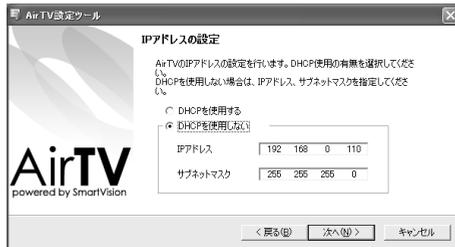
「パートナー設定を行います。よろしいですか?」と表示されます。



6 「はい」をクリックする

「IPアドレスの設定」画面が表示されます。

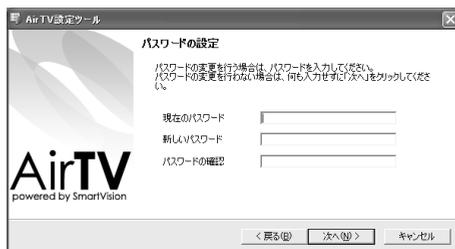
- 7 「DHCPを使用しない」が●になっていて、「IPアドレス」欄に「192.168.0.110」が、「サブネットマスク」欄に「255.255.255.0」が表示されていることを確認する



チェック

AirTVをはじめてセットアップするときには、「IPアドレス」欄と「サブネットマスク」欄は、変更しないでください。

- 8 「次へ」をクリックする
「ポート番号の設定」画面が表示されます。
- 9 手順2で表示されたポート番号が表示されているか確認する
ここでは、ポート番号は変更しないでください。
- 10 「次へ」をクリックする
「パスワードの設定」画面が表示されます。



- 11 必要に応じてパスワードを入力し、「次へ」をクリックする



メモ

ここでパスワードを設定すると、次回「AirTV設定ツール」を使ってパートナーPCやゲストPCの設定を変更したり、テレビチューナのIPアドレスの設定を変更するときに、ここで設定したパスワードの入力が必要になります。

チェック

- ・パスワードを設定する場合は、「新しいパスワード」欄と「パスワードの確認」欄に、同じ文字列を半角英数字で入力してください。
- ・購入時には、AirTVにパスワードは設定されていません。「現在のパスワード」欄は、空欄のままにしておいてください。
- ・パスワードを設定する必要がないときは、すべて空欄のまま「次へ」をクリックしてください。
- ・設定したパスワードは、忘れないようにしてください。
- ・ここで設定したパスワードは、セットアップが終わった後で「スタート」「すべてのプログラム」「SmartVision」「AirTV設定ツール」をクリックして、「AirTV設定ツール」で変更できます。このとき、手順11で設定したパスワードを「現在のパスワード」欄に入力し、「新しいパスワード」欄と「パスワードの確認」欄に新しいパスワードを入力してください。

「フレンドリネームの設定」画面が表示されます。



12 「次へ」をクリックする

「設定値の確認」画面が表示されます。



13 AirTVの設定を確認し、「次へ」をクリックする

AirTVの更新が行なわれます。しばらくすると「アクセスポイントの設定」画面が表示されます。



メモ

ここでは、アクセスポイントの設定は行いません。アクセスポイントの設定をする場合は、AirTVの設定が終わってから付録の「アクセスポイントの詳細設定 (p.204)」をご覧ください。

14 「次へ」をクリックする



15 「完了」をクリックする

AirTVの設定が完了です。



メモ

再度、AirTVの設定をしたい場合、「スタート」「すべてのプログラム」「SmartVision」「AirTV設定ツール」をクリックして、起動できます。

テレビを見るための準備をする

チャンネルと番組表の設定をする

はじめてSmartVisionを起動すると、SmartVisionを使うために必要な設定をするチャンネル設定ユーティリティが表示されます。画面に表示される質問に答えながら、受信するチャンネルの設定をしたり、テレビ電波からの時刻情報を受信してこのパソコンの時刻を調整したり、番組表を定期的に受信する設定を行います。ウィザードの指示にしたがって、各項目の設定を行ってください。

● チェック

- ・ 制限付きユーザーアカウントでログオンした場合は、チャンネル設定ユーティリティを起動できません。受信チャンネルと番組表の設定は、コンピュータの管理者権限を持ったユーザーアカウントでログオンして行ってください。
- ・ SmartVision起動中にマカフィー・ウイルススキャンでスキャンすると、コマ落ちが発生する場合があります。ご注意ください。

◆ メモ

- ・ テレビ番組表は、テレビ朝日系列の放送(ADAMS放送)の1コンテンツとして放送されています。まず、テレビ朝日系列の放送(ADAMS放送)を受信できることを確認してください。放送局は以下のとおりです(2003年11月現在)。
北海道テレビ放送、青森朝日放送、岩手朝日テレビ、東日本放送、秋田朝日放送、山形テレビ、福島放送、新潟テレビ21、長野朝日放送、静岡朝日テレビ、北陸朝日放送、メ～テレ、朝日放送(ABCテレビ)、広島ホームテレビ、山口朝日放送、瀬戸内海放送、愛媛朝日テレビ、九州朝日放送、長崎文化放送、熊本朝日放送、大分朝日放送、鹿児島放送、琉球朝日放送、テレビ朝日
- ・ ADAMS放送を受信できる場合は、p.28～p.33の手順を行ってください。ADAMS放送を受信できない地域でご利用の場合は、「テレビ番組表」を利用した操作はできません。「チャンネル設定ユーティリティで設定する」(p.34)の手順でチャンネル設定ユーティリティを起動し、「マニュアルブリセット」をクリックして手動で受信チャンネルを設定してください。

テレビ番組表は、インターネットから取得することもできます。インターネットから取得する方法については、PART4の「インターネットから番組表を取得する」(p.83)をご覧ください。

- 1 「ソフトナビゲーター」の「目的で探す」「映像」「テレビ・ビデオ」「テレビを見る・録画予約する」「SmartVision」アイコン、「起動する」をクリックする
「ソフトナビゲーター」は、デスクトップにある「ソフトが見つかるソフトナビゲーター」アイコンをダブルクリックして起動できます。
次の画面が表示されます。



◆メモ

画面右下の通知領域にある  を右クリックして表示されるメニューから「SmartVision起動」をクリックしても起動できます。
また、「スタート」「すべてのプログラム」「SmartVision」「SmartVision」をクリックしても起動できます。

- 2 「オートプリセット」をクリックする
- 3  をクリックし、表示される一覧から利用する地域をクリックして選ぶ
- 4 「次へ」をクリックする
指定した地域にあわせて自動的にチャンネルの調整がはじまります。
- 5 オートチューニングが終了したら、指定した地域の「CH」と「放送局」が正しく設定されているか確認する



CATVホームターミナルを接続してテレビを見る場合は、PART8の「CATV放送をうまく見ることができないときには」(p.185)をご覧ください。



- アンテナが接続されていない場合や電波の受信状況が悪い場合などは、「チャンネルがヒットしませんでした。アンテナの接続を確認してください。」というメッセージが表示されます。表示された内容とアンテナの接続状況などを確認のうえ、指示にしたがって操作してください。
- チャンネルの自動調整が完了しても、電波の状況や地域によっては「一致する放送局が見つかりませんでした。右のチャンネルから選んでください。」と表示され、放送局名が正しく表示されない場合があります。「放送局」の一覧から正しい放送局を選択してください。「放送局」の一覧に該当する放送局名がない場合は、手で放送局名を入力してください。(「放送局」の一覧に放送局名がある場合は手動で入力を行わず、一覧から選んでください。EPGの取得ができない場合があります。)
- プリセットするチャンネルを増やしたい場合は、「CH」欄の をクリックして にし、「CH」欄に受信したいチャンネルの番号を入力してください。正しく表示されない場合は、「微調整」のつまみを動かして調整してください。
- プリセットするチャンネルを減らしたい場合は、「CH」欄の をクリックして にしてください。

6 「次へ」をクリックする

「電子番組表データ取得/時刻修正」の画面が表示されます。



ADAMS-EPG+の利用方法について PART4の「インターネットから番組表を取得する」(p.83)

- 7 「ADAMS-EPGを使用する。」と「時刻修正を行う。」の左がになっていることを確認し、「次へ」をクリックする
「ADAMA-EPG受信設定」の画面が表示されます。



ADAMS放送を行っている放送局(p.27)が受信できていない場合は、ADAMS-EPGの受信や時刻修正はできません。その場合は、「ADAMS-EPGを使用する。」と「時刻修正を行う。」の左をクリックしてにして、「次へ」をクリックし、手順12へ進んでください。



番組表の受信について PART8の「番組表が受信できない」(p.179)

- 8 「受信チャンネル」欄でADAMS放送を行っている放送局の右がになっていることを確認して「番組表受信時刻の取得」をクリックする



テレビ番組表データ放送時刻の受信が始まります。受信にはしばらくかかります。

チェック

「テレビ番組表データ(ADAMS-EPG)の放送時刻一覧を取得できませんでした。…」と表示された場合は、ADAMS放送を受信できていません。チャンネルの設定やアンテナの接続を確認し、「はい」をクリックして手順1からやりなおしてください。

参照

番組表の受信について PART8の「番組表が受信できない」(p.179)

- 9 一覧からテレビ番組表データを受信する時刻をクリックする
クリックした時間帯が反転表示されます。

メモ

【Ctrl】を押しながらクリックすると複数の時間帯を選択できます。反転表示された時間帯を【Ctrl】を押しながらクリックすると、クリックした時間帯のみ削除できます。



時間帯は地域によって異なります。

設定した時刻になると、自動的にテレビ番組表を受信します。受信を開始すると画面右下の通知領域のがに変わり点滅します。番組表について詳しくは、「PART4 番組表を使いこなそう (p.79)」をご覧ください。

10 「次へ」をクリックする
「時刻修正」の画面が表示されます。

11 「今すぐに修正する」をクリックする



時刻が修正され、「時刻修正が完了しました。」と表示されます。

 チェック

- ・「時刻修正が完了しました。」と表示されたあと、画面右下の通知領域の時間が更新されるまでしばらくかかります。
- ・「時刻信号が受信できませんでした。…」と表示された場合は、ADAMS放送を受信できていません。チャンネルの設定やアンテナの接続を確認し、「はい」をクリックして手順1からやりなおしてください。

 メモ

時刻を修正するときはパソコンにログオン(省電力状態を含む)している必要があるため、「実行時刻」には、パソコンを起動している時間を設定することをおすすめします。

12 「完了」をクリックする**13** 「次へ」をクリックする

「設定完了」画面が表示されます。

14 「完了」をクリックする

これで、受信チャンネルと番組表の設定は完了です。

 メモ

- ・「本ソフトウェアを快適に使用するためには、…」の画面が表示された場合は、「OK」をクリックするかしばらく待つとSmartVisionが起動します。
- ・上記画面で「次回起動時、このダイアログを表示しない。」の左にあるをクリックしてにすると、次回起動時に表示されなくなります。

 チェック

番組表の受信はすべての設定が完了した後に行われます。受信時刻の5分前までに設定を完了させておく必要があります。

再度受信チャンネルと番組表の設定をする場合は、「チャンネル設定ユーティリティ」より設定を行ってください(詳しくは、この後の「チャンネル設定ユーティリティ」で設定する(p.34)をご覧ください)。

チャンネル設定ユーティリティで設定する

ADAMS放送を受信できない地域でご利用の場合や、一時的に別の場所でテレビ番組を見る場合、引越などにより、ご利用になる地域が変わったときなどは、「チャンネル設定ユーティリティ」を使ってもう一度チャンネルを設定してください。

チェック

SmartVisionなどのソフトが起動している場合は、すべてのソフトを終了させてから、チャンネル設定ユーティリティを起動してください。

- 1 「スタート」 「すべてのプログラム」 「SmartVision」 「チャンネル設定ユーティリティ」 をクリックする
「チャンネル設定ユーティリティ」が表示されます。

この後の操作はP28の手順2以降を見ながら操作してください。

チェック

- ・ アンテナが接続されていない場合や電波の受信状況が悪い場合などは、「チャンネルがヒットしませんでした。アンテナの接続を確認してください。」というメッセージが表示されます。表示された内容とアンテナの接続状況などを確認のうえ、指示にしたがって操作してください。
- ・ チャンネルの自動調整が完了しても、電波の状況や地域によっては「一致する放送局が見つかりませんでした。右のチャンネルから選んでください。」と表示され、放送局名が正しく表示されない場合があります。「放送局」の一覧から正しい放送局を選択してください。「放送局」の一覧に該当する放送局名がない場合は、手動で放送局名を入力してください。
- ・ プリセットするチャンネルを増やしたい場合は、「CH」欄の をクリックして にし、「CH」欄に受信したいチャンネルの番号を入力してください。正しく表示されない場合は、「微調整」のつまみを動かして調整してください。
- ・ プリセットするチャンネルを減らしたい場合は、「CH」欄の をクリックして にしてください。
- ・ おまかせ録画機能を使っているときに「チャンネル設定ユーティリティ」でチャンネルを設定し直したときは、お任せ録画機能の条件をすべて削除してから、もう一度設定をし直してください。

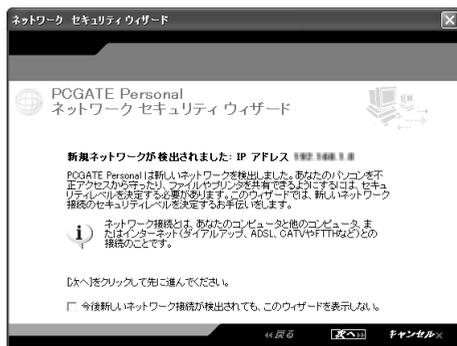
「PCGATE Personal」の設定を変更する

このパソコンには、外部からの不正アクセスを防ぐファイアウォールソフト「PCGATE Personal」が入っています。

「PCGATE Personal」を利用する場合は、次の手順で設定する必要があります。

- 1 「スタート」→「すべてのプログラム」→「PCGATE Personal」→「PCGATE Personal」をクリックする

「PCGATE Personalネットワークセキュリティウィザード」が表示されます。「PCGATE Personalネットワークセキュリティウィザード」が表示されなかった場合は、次ページの「「PCGATE Personalネットワークセキュリティウィザード」が表示されなかった場合」をご覧ください、手動で設定してください。



* : 接続しているネットワーク環境によって、画面が多少異なります。

- 2 「次へ」をクリックする
- 3 「このネットワークを信頼する。」を にし、「次へ」をクリックする
- 4 ネットワークに名前を付けて、「次へ」をクリックする
- 5 設定された内容を確認して、「終了」をクリックする
これで、「PCGATE Personal」の設定は終了です。

🔍 チェック

出荷状態では、「PCGATE Personal」は常駐していません(パソコンを起動するたびに、手動で「PCGATE Personal」を起動する必要があります)。パソコンを起動したときに自動的に「PCGATE Personal」を実行させる方法は、電子マニュアル「 ぱそガイド」→「インターネットと電子メール」→「インターネットを使いこなす」→「不正アクセスからパソコンを守るには」の「常にPCGATE Personalを使う」をご覧ください。

「PCGATE Personalネットワークセキュリティウィザード」が表示されなかった場合

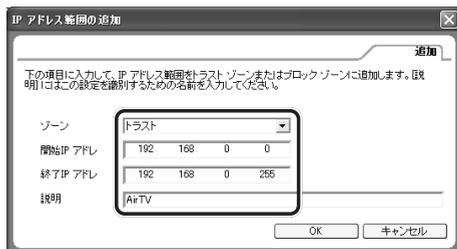
- 1 デスクトップ右下の通知領域に表示されているをダブルクリックする
PCGATE Personalコントロールセンタが表示されます。
- 2 「ファイアウォール」をクリックして、「ゾーン」タブをクリックする



- 3 「追加」をクリックして、表示されるメニューから「IP範囲」をクリックする



- 4 「ゾーン」は「トラスト」を選び、「開始IPアドレス」に「192.168.0.0」、「終了IPアドレス」に「192.168.0.255」を入力し、「説明」には設定を識別させるための名前(例:AirTV)を入力して、「OK」をクリックする



- 5 「適用」をクリックした後、**X**をクリックして画面を閉じる



これで、「PCGATE Personal」の設定は終了です。

なお、AirTVをインターネットなどに接続した場合は、IPアドレスなどのネットワーク環境が変更になることがあります。この場合、ここで設定した「PCGATE Personal」の設定を変更する必要があります。詳しくは、PART6の「PCGATE Personal」の設定をやり直す (p.145)をご覧ください。

PART

2

テレビを見よう

テレビ番組を見る

⚠ 注意



テレビを見る際には、周囲を十分に明るくしてご使用ください。
SmartVisionを起動する前に、音量を確認し、調整してください。

SmartVisionの起動と終了

SmartVisionを起動する

🔍 チェック

- SmartVisionは、コンピュータの管理者権限を持つユーザーアカウントまたは、制限付きユーザーアカウントでログオンしてご利用ください。ゲストアカウントでログオンした場合は利用できません。
- SmartVisionを起動する場合は、あらかじめ他のソフトを終了しておいてください。特に、WinDVDやVideoStudioなどの映像を扱うソフトは、必ず終了させておいてください。

- 1 「ソフトナビゲーター」の「目的で探す」>「映像」>「テレビ・ビデオ」>「テレビを見る・録画予約をする」>「SmartVision」をクリックして、「起動する」をクリックする
SmartVisionの画面が表示され、テレビ番組が表示されます。

📌 メモ

画面右下の通知領域にある  を右クリックして表示されるメニューから「SmartVision起動」をクリックしても起動できます。また、「スタート」>「すべてのプログラム」>「SmartVision」>「SmartVision」をクリックしても起動できます。

🔍 チェック

- SmartVision起動中は、省電力状態にはできません。
- SmartVision起動中はスクリーンセーバーは起動しません。

SmartVisionを終了する

「SmartVision」の画面右上のをクリックする

メモ

画面右下の通知領域にあるを右クリックして表示されるメニューから「SmartVision終了」をクリックしても終了できます。

画面を切り換える

SmartVisionには、ノーマルモード/アドバンスモード/スリムモード/フルスクリーンモードの4つの画面があります。

画面下にある「画面モード切り換えタブ」をクリックして、画面を切り換えます。



画面モード切り換えタブ

画面モードを切り換えます。

ノーマルモード

「 ノーマル」タブをクリックして表示される画面モードのことです。

切り換えタブ

TV/VIDEOを切り換えます。

プレイモードタブ

タイムシフトモードとライブモードを切り換えます。

ゲスト PC の場合は、SmartVision (Guest) と表示されます。

SmartVision のオンラインヘルプを表示します。



画面モード切り換えタブ

画面モードを切り換えます。

コントロールバー

チャンネル切替、音量調節、録画・再生など映像の操作をします。

テレビ表示部

テレビの映像が表示されます。テレビ表示部で右クリックするとメニューが表示されます。メニューで項目を選択し、クリックすることで、選択した項目の操作を実行できます。

リストウィンドウ表示ボタン

番組表、録画済みリスト、予約&結果リストを表示します。

ステータスバー

エラーなどの各種メッセージや日時を表示します。

設定ボタン

 SmartVision に関するいろいろな設定をします。

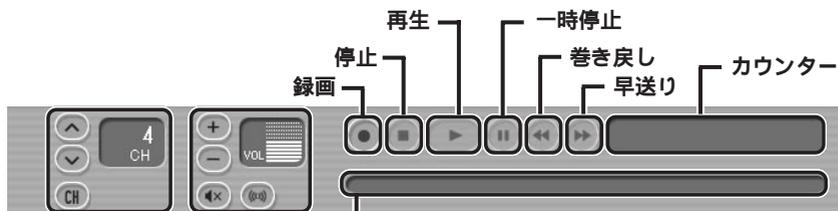
インフォメーションボタン

 インターネットを通じて SmartVision の情報を見ることができます。



メモ

SmartVisionの画面をドラッグして広げると、設定ボタン・インフォメーションボタン・リストウィンドウ表示ボタンには各機能名が表示されます。



プログレスバー

タイムシフトモード時: つまみの位置がリアルタイム放送との差を表します。つまみをドラッグしてタイムシフトの時間を調整できます。

録画番組再生時: つまみの位置が現在再生している位置を表します。つまみをドラッグして映像の巻き戻しや早送りができます。

ライブモード時: 何も表示されません。

音声コントロール (p. 53)

チャンネルコントロール (p. 51)



参照

SmartVisionの設定について SmartVisionのオンラインヘルプ



チェック

コピーガード信号の入った映像を入力すると、スクリーンガードに切り換わります。コピーガード信号が無くなるまで、コントロールバーの  (録画) と  (再生) は使用できなくなります。

アドバンスモード

「アドバンス」タブをクリックして表示される画面モードのことです。

アドバンスモード画面の左下には、「番組情報」タブと「シーン…」タブがあり、切り換えて操作します。

「番組情報」タブ



番組の開始、終了時刻を表示し、番組名を表示します。

録画可能時間と画質を表示します。

視聴中の放送局を表示します。

「詳細」をクリックして、番組の詳細情報を表示します。（番組情報がある場合のみ）

「シーン…」タブ

シーンインデックス



ブックマークの操作を行います。

表示映像の静止画をキャプチャします。

特殊再生を行います。

選択したサムネイルのブックマーク操作を行います。

スリムモード

「スリム」タブをクリックして表示される画面モードのことです。スリムモードにすると、シンプルな画面で番組を見ることができます。また、ノーマル/アドバンスモードよりも画面のサイズを小さくすることができます。



スリムモードからノーマルモードへの切り換えは【Fn】+【】、ノーマルモードからスリムモードへの切り換えは、【Fn】+【】でもできます。



フルスクリーンモード

「フルスクリーン」タブをクリックして表示される画面モードのことです。ディスプレイいっぱいに画面を表示します。NXパッドの左ボタンをクリックすると元に戻ります。



【Fn】+【】で切り換えることもできます。

また、ノーマルモード・スリムモード・アドバンスモード時に、テレビ表示部をダブルクリックすると、フルスクリーンモードに切り換わります。

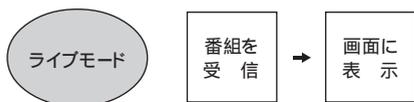
ライブモードとタイムシフトモード

SmartVisionの表示には、「ライブモード」と「タイムシフトモード」があります。

ライブモードとは

テレビの視聴に適したモードです。

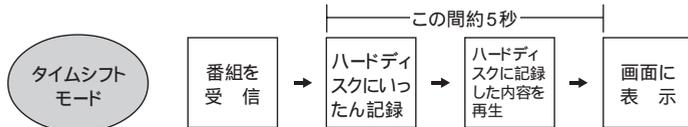
実際に放送されている番組をMPEG圧縮し、ネットワーク経由で表示するモードです。長時間の視聴でハードディスクに負担をかけないモードです。



タイムシフトモードとは

タイムシフトモードとは、受信した放送を実放送(リアルタイム放送)より遅れて再生するモードです。

タイムシフトモードでは、一時停止や早送り / 巻き戻しなどをしながらテレビを見ることができます。



チェック

- ・ライブモードでは、一時停止 / 早送り / 巻き戻しなどの機能は使用できません。
- ・タイムシフトモードでは、実際の放送よりも少し遅れて映像が表示されます。
- ・ライブモードでも、実際に放送されているものを一度符号化してパソコンに転送するため、実際の放送よりも少し遅れて映像が表示されます。
- ・タイムシフトモードの場合、ライブモードと比べるとパソコンの処理の負荷が大きくなります。
- ・タイムシフトモードで時間をさかのぼって視聴しているときに別のチャンネルに変更すると、リアルタイム(実際は約1~2秒の遅れ)に移行し、カウンター表示部には、- 00:00:00と表示されます。
- ・録画終了直後およびライブモードからタイムシフトへの切り換え直後から再びタイムシフト時間分のデータ蓄積を開始します。

モードの切り換えかた

画面右下にある「プレイモード」タブ(p.42)で切り換えます。

タイムシフトモード時の注意

- ・ SmartVision以外のソフトが起動している場合には、映像がコマ落ちしたり、動作が不安定になる場合があります。このような場合は、起動している他のソフトを終了してください。
- ・ チャンネルを切り換えると、映像が切り換わるのに約3秒かかります。
- ・ 週10時間以上の割合で頻繁にタイムシフトモード視聴を行う場合は、ハードディスクへの書き込みを効率的にするために、週1回程度はディスクデフラグを実行してデータを整理することをおすすめします。なお、大容量のハードディスクのディスクデフラグには時間がかかりかかります。十分な時間が取れるときに実施してください。



メモ

タイムシフトモードで実放送(リアルタイム放送)から最大何分間まで遅らせるかの範囲を設定することができます。設定ウィンドウの「録画/再生/予約」、「録画/タイムシフト」タブの「タイムシフト可能時間」で設定できます。なお、番組を予約している状態で「タイムシフト可能時間」を変更する場合は、予約している番組の録画に必要な容量を考慮して設定してください。

タイムシフトモードで一時停止・巻き戻し・早送りをする

タイムシフトモードの操作を行うには、「プレイモード」タブ (p.42) でタイムシフトモードに切り換えてください。

一時停止する

コントロールバーの  (一時停止) をクリックする。

カウンター表示部に、リアルタイムからどのくらい遅れているのか時間が表示されます。



チェック

- 一時停止できる時間は、購入時の状態では最長5分間です。5分を過ぎると一時停止は自動的に解除され、一時停止した場面から再生がはじまります。5分以上テレビの前を離れるときは、録画をおすすめします (p.61) 。
- 一時停止できる時間を長くしたい場合は、設定ウィンドウの「録画 / 再生 / 予約」 「録画 / タイムシフト」タブの「タイムシフト可能時間」で最大90分まで設定できます。

一時停止を解除する

コントロールバーの  (再生) をクリックする。

一時停止をしたところから再生がはじまります。

早送りする

実放送 (リアルタイム放送) に追いつきたいときなどに使用します。

コントロールバーの  (早送り) をクリックします。

メモ

- 再生中に  (早送り) をクリックするたびに3倍速、10倍速、50倍速の3段階で速さが変わります。
- 一時停止中に  (早送り) をクリックすると映像がコマ送りのように再生されます。
- リアルタイムに追いつくと、 (早送り) をクリックしても何も変わりません。
- アドバンスモードでは、タイムシフトで視聴中に「シーン…」タブの  (変速再生) をクリックすると、シーンを音声と同時に早送りします。詳しくは、PART5の「特殊再生について」 (p.97) をご覧ください。

巻き戻す

スポーツ番組の観戦中など、決定的瞬間を「もう一度見たい」と思ったら、巻き戻して見ることができます。

巻き戻すことができる時間は、購入時の状態で5分前までです。巻き戻し時間を長くしたい場合は、設定ウィンドウの「録画 / 再生 / 予約」 「録画 / タイムシフト」タブの「タイムシフト可能時間」で最大90分まで設定できます。

1 コントロールバーの⏮(巻き戻し)をクリックする

カウンター表示部に、リアルタイムからどのくらい巻き戻しているのか時間が表示されます。



◆メモ

コントロールバーで操作する場合、⏮(巻き戻し)をクリックするたびに3倍速、10倍速、50倍速の3段階で速さが変わります。

2 見たい場面で、コントロールバーの▶(再生)をクリックする

巻き戻したところから再生がはじまります。

実放送(リアルタイム放送)に追いつくには、「早送りする(p.48)をご覧ください。

◆メモ

一時停止中に、⏮(巻き戻し)をクリックすると映像がスローで巻き戻しされます。

字幕放送を見る

SmartVisionで「字幕放送」を見ることができます。

購入時の状態では、字幕を表示しない設定になっています。次の手順で設定してください。

◆メモ

- ・字幕はライブモード時のみ表示されます。
- ・字幕放送が始まると、自動的に字幕が表示されます。また、字幕放送が終わると、自動的に字幕も表示されなくなります。
- ・字幕が表示できる番組は、番組表で📺がついている番組のみです。
- ・字幕の表示と映像の表示のタイミングがずれることがあります。
- ・電波の受信状況が悪い環境では、字幕が表示できない場合があります。

設定のしかた

- 1 SmartVisionを起動する(p.40)
- 2  (設定) をクリックする
「設定ウィンドウ」が表示されます。
- 3 「TV詳細」アイコンをクリックし、「データ放送 / 字幕」タブをクリックする



- 4 「字幕放送(地上波データ放送)」欄の「字幕放送を受信する」の をクリックして にする

メモ

「字幕動作設定」欄で、字幕の表示方法を設定できます。また、「字幕表示設定」欄で、文字のフォントや背景色などの字幕表示を変更することができます。詳しくは「SmartVisionのオンラインヘルプ」をご覧ください。

- 5 「OK」をクリックする

SmartVisionをいったん終了した後、再度起動すると、画面右下の通知領域に  が表示されます。字幕放送が行われている番組にチャンネルを合わせると、画面下に字幕が表示されます。

チェック

上記の手順で設定しても、字幕が表示されない場合は、画面右下の  をクリックして表示されるメニューの「字幕表示」をクリックしてチェックをつけてください。

チャンネルを切り換える

チャンネルを切り換えて、いろいろな番組を見てみましょう。



チェック

チャンネルを切り換えるときは、少し間隔をあけて操作してください。

チャンネルコントロールで切り換える

チャンネルコントロール(p.43)を使って見たい番組を表示します。

チャンネル番号を入力する

1  をクリックする

2 キーボードからチャンネル番号を入力する
しばらくするとチャンネルが切り換わります。

チャンネルリストから選ぶ

1  をクリックする
チャンネル一覧が表示されます。

2 見たいチャンネルをクリックする
チャンネルが切り換わります。

チャンネルボタンで切り換える

 をクリックすると、次のチャンネル(数字が大きいチャンネル)に切り換わります。

 をクリックすると、前のチャンネル(数字が小さいチャンネル)に切り換わります。

キーボードやリモコンで切り換える

キーボードの【1】~【^】や、リモコンの〔1〕~〔12〕ボタンで、チャンネルを切り換えることができます。

キーボードで操作するときは、【Ctrl】を押しながら、【1】~【^】を押します。

メモ

- ・ キーボードの【Ctrl】+【】キー/【Ctrl】+【】キーや、リモコンの(チャンネル切替)ボタンでも同じように操作できます。
- ・ リモコンを使うときは、添付のリモコン用受信ユニットをパソコンのUSBコネクタに接続する必要があります。

参照

リモコンの使い方について 『リモコン取扱説明書』

番組表を使って切り換える

番組表が受信されていないと番組表で切り換えることができません。

番組表が受信できなかった場合は、PART8の「番組表が受信できない」(p.179)をご覧ください。

- 1  (番組表) をクリックする
番組表が表示されます。

- 2 青い線のかかった、見たい番組をダブルクリックする



現在の時刻が青い線で表示されます。

選択しているチャンネルは、ピンク色の枠で囲まれています。

メモ

- ・ 元の画面に戻るときは、もう一度  (番組表) をクリックします。
- ・ 放送開始前の番組を選んだときは、「予約設定」の画面 (p.67の手順5) が表示されます。
- ・ 放送局名をダブルクリックしてチャンネルを切り換えることもできます。

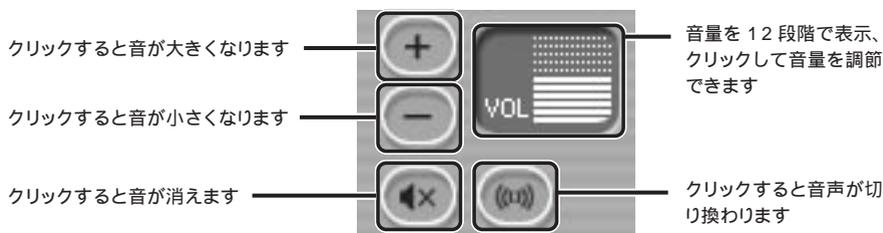
番組表の使い方については、「PART4 番組表を使いこなそう」(p.79)をご覧ください。

音量や音声を変える

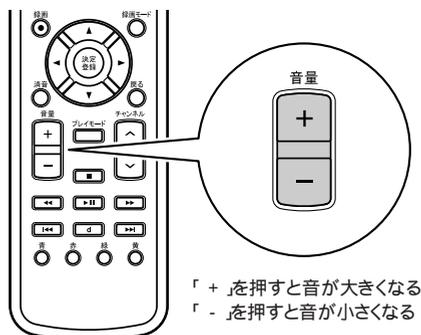
テレビの音量がうるさいときや、小さくて聞こえないときは、音量を調節します。また、音声多重放送(ステレオ放送、二ヶ国語放送など)の場合に、音声を切り換えることができます。

音声コントロールで音量を調節する

SmartVisionの「音声コントロール」(p.43)で音量を調節します。



リモコンの〔音量調節〕ボタンで音量を調節する



チェック

リモコンの〔音量調節〕ボタンは、Windowsの「ボリュームコントロール」と連動しています。SmartVisionの「音声コントロール」に表示されるVOLは変化しません。



参照

- ・「ボリュームコントロール」について 電子マニュアル『ばそガイド』「パソコンの設定」
「パソコンの機能」「サウンドの設定」
- ・リモコンの使い方について 『リモコン取扱説明書』

音声を切り換える

音声多重放送(ステレオ放送、二ヶ国語放送など)の場合に、音声を切り換えることができます。



メモ

- ・モノラル放送時ではを押しても出力される音声は変化しません。
- ・L(左音声)または、R(右音声)を指定すると、その音声は両方のスピーカから出力されます。

SmartVisionの「音声コントロール」ので音声を切り換えることができます。

- ・ステレオ放送のとき
 L(左音声)  R(右音声)  L-R(両音声)  L(左音声) …
- ・二ヶ国語放送のとき
 L(主音声)  R(副音声)  L-R(主+副音声)  L(主音声) …

3

テレビ番組の録画と再生をしよう

「SmartVision」では、テレビ番組を録画したり、録画中の番組を録画終了を待たずに再生したり、見ている番組を巻き戻したところから録画したりできます。今までのテレビではできなかった、便利な使い方がたくさんあります。

あなたがテレビ放送や録画物などから取り込んだ映像や音声は、個人として楽しむなどのほかは、著作権上、権利者に無断で使用できません。

テレビ番組を録画する

テレビ番組を動画のままパソコンに取り込みましょう。

テレビ番組を録画するための準備をする

チェック

- ・ コンピュータの管理者権限を持つユーザーアカウントでログオンして設定してください。制限付きユーザーアカウントまたはゲストアカウントでログオンした場合は一部設定を変更できない機能があります。
- ・ 複数のユーザーを設定してこのパソコンをお使いの場合は、すべてのユーザーアカウントにこの設定を行ってください。

Windowsのログオンパスワードを設定する

SmartVisionの録画予約機能を利用するために、ユーザーアカウントのパスワードを設定します。また、省電力状態やスクリーンセーバーからの復帰時にパスワード確認の画面を表示しないように設定を変更する必要があります。

すでにWindowsのログオンパスワードを設定している場合は、「省電力状態やスクリーンセーバーからの復帰時にパスワードの確認画面が表示されないように設定する (p.57)」に進んでください。

- 1 「スタート」>「コントロールパネル」>「ユーザー アカウント」>「ユーザーアカウント」をクリックする
「ユーザー アカウント」が表示されます。
- 2 「変更するアカウントを選びます」欄でパスワードを設定するアカウント(ユーザー名)をクリックする
- 3 「パスワードを作成する」をクリックする
- 4 「新しいパスワードの入力」欄と「新しいパスワードの確認入力」欄のそれぞれに同じパスワードを入力する
- 5 「パスワードのヒントとして使う単語や語句の入力」欄に、パスワードのヒントになるような言葉を入力する
- 6 「パスワードの作成」をクリックする

- 7 「ファイルやフォルダを個人用にしますか?」と表示されたら「はい、個人用にします」をクリックする

 チェック

- ・ パスワードは忘れないようにしてください。
- ・ パスワードはほかの人に知られないように管理してください。
- ・ 「SmartVisionにパスワードを設定する」(p.58)の手順5で、ここで設定したパスワードが必要となります。入力するパスワードを間違えると、省電力状態からの録画予約などの機能が使えません。

- 8 「ユーザー アカウント」の右上の をクリックする
これで、Windowsのログオンパスワードの設定は終了です。

省電力状態やスクリーンセーバーからの復帰時にパスワードの確認画面が表示されないように設定する

- 1 「スタート」「コントロールパネル」「パフォーマンスとメンテナンス」「電源オプション」をクリックする
「電源オプションのプロパティ」が表示されます。
- 2 「詳細設定」タブをクリックする
- 3 「スタンバイから回復するときにパスワードの入力を求める」の をクリックして にする
- 4 「OK」をクリックする
- 5 「パフォーマンスとメンテナンス」の右上の をクリックして、画面を閉じる
スクリーンセーバーを使用していない場合は、これで設定は完了です。
スクリーンセーバーを使用している場合は、引き続き以下の手順を行ってください。
- 6 「スタート」「コントロールパネル」「デスクトップの表示とテーマ」「スクリーンセーバーを選択する」をクリックする
「画面のプロパティ」が表示されます。
- 7 「スクリーンセーバー」タブの「スクリーンセーバー」欄で「パスワードによる保護」または「再開時によろ画面に戻る」が になっている場合は、クリックして にする
- 8 「OK」をクリックする

- 9 「デスクトップの表示とテーマ」の右上の **X** をクリックして、画面を閉じる
これで設定は終了です。

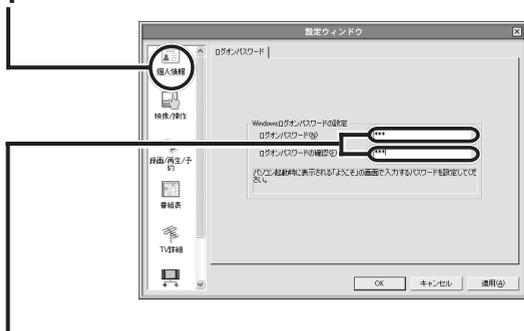
🔍 チェック

SmartVision、ADAMSナビ、チャンネル設定ユーティリティなどのソフトは、複数のユーザーで同時に使用することはできません。
ユーザーを切り換えて使用する場合は、切り換える前にこれらのソフトを終了させてください。

SmartVisionにパスワードを設定する

SmartVisionでテレビ番組の視聴予約や録画予約をするには、Windowsで設定しているログオンパスワード(p.56)と同じパスワードを設定しておく必要があります。

- 1 SmartVisionを起動する(p.40)
- 2  をクリックする
- 3  (設定) をクリックする
「設定ウィンドウ」が表示されます。
- 4 「個人情報」アイコンをクリックし、「ログオンパスワード」タブをクリックする



- 5 「ログオンパスワード」と「ログオンパスワードの確認」に、p.56で設定したログオンパスワードを入力する
- 6 「OK」をクリックする
「省電力モードから自動的に復帰するためには...」と表示された場合は、「OK」をクリックしてください。
以上で、テレビ番組を録画するための準備ができました。

録画について



チェック

あなたがテレビ放送や録画物などから取り込んだ映像や音声は、個人として楽しむなどのほかは、著作権上、権利者に無断で使用できません。

一般のビデオ機器でテレビ番組を録画するのと同じように、パソコンでもテレビ番組を録画することができます。ビデオテープに録画する代わりに、ハードディスクにファイルとして保存されます。

画質とハードディスク容量について

録画をするときは、画質を選択することができます。同じ番組でも画質によって録画に必要なハードディスク容量が違うので、注意してください。

設定ウィンドウの「録画/再生/予約」の「録画/タイムシフト」タブの「画質」欄で設定できます。

設定できる画質と、1時間録画するのに必要なハードディスク容量の目安は次の通りです。

画質	1時間の録画に必要なハードディスク容量	用途や特長
高画質	約3.9Gバイト	他の画質に比べ、ファイルサイズが大きいが、きれいな画質で録画できる。録画したテレビ番組をあとでVideoStudioで編集する場合向き。
標準画質	約2.0Gバイト	一般的な録画用。
長時間	約960Mバイト	高画質・標準画質に比べ画質は落ちるが、ファイルサイズを小さくできる。長時間の録画やちょっと録画しておきたいとき向き。
ユーザ設定	約600Mバイト～約4.8Gバイト (設定によって異なります)	MPEG2(CBR)、MPEG2(VBR)、VideoCDから選択可能。MPEG2(CBR)、MPEG2(VBR)では画質を数値で細かく設定でき、パソコンや動画について詳しい知識があるユーザー向け。また、VideoCDでは、CD-RにVideoCD方式で保存可能。

録画できる画質については、付録の「AirTV仕様一覧」の「画質モード仕様」(p.217)をご覧ください。

録画(動画キャプチャ)時の注意

- ・ 静止画や動画をパソコンに取り込むことを「キャプチャする」といいます。このため、録画のことを「動画キャプチャ」と呼ぶこともあります。
- ・ 購入時の状態では、「標準画質」で録画されます。録画する画質を変更したい場合は、設定ウィンドウの「録画 / 再生 / 予約」録画 / タイムシフト」タブの「画質」欄で設定できます。
- ・ 動画をハードディスクに記録するには、ハードディスクに十分な空き容量が必要です。ハードディスクの空き容量は、「マイコンピュータ」の画面でドライブをクリックし、左下の「詳細」欄で確認できます。ハードディスクの空き容量が少ないときは、録画中に録画が停止することがあります。記録した動画でハードディスクがいっぱいになる前に、こまめに不要な動画ファイルを削除するようにしましょう。
- ・ SmartVisionでの録画中に、ハードディスクの空き容量が、設定している容量(購入時の状態では「300Mバイト」)+「タイムシフトバッファ(購入時の状態では約150Mバイト)容量より少なくなると録画は自動的に終了します。設定を変更したい場合は、設定ウィンドウの「録画 / 再生 / 予約」録画 / タイムシフト」タブの「録画を停止する空き容量サイズ」で設定できます。
- ・ 週10時間以上の割合で頻繁に録画を行う場合は、ハードディスクへの書き込みを効率的にするために、週1回程度はディスクデフラグを実行してデータを整理することをおすすめします。定期的にディスクデフラグを行っておかないと、録画データに何らかの異常が発生し、再生できなくなる場合もあります。なお、大容量のハードディスクのディスクデフラグには時間がかかりかかります。十分な時間が取れるときに実施してください。
- ・ コピーガード信号の入った映像は視聴および録画ができません。コピーガード信号を検出した場合、強制的にスクリーンガードに切り換わります。
- ・ パソコンを長時間使用したあと予約録画をする場合は、一度パソコンを再起動させ、その後予約録画の設定を行ってください。また番組を再生するときも、パソコンを再起動させた後に再生することをおすすめします。
- ・ 録画中や再生中にエラーが発生した場合は、パソコンを再起動してください。
- ・ 録画する場合は、必ずパソコンにACアダプタを接続してコンセントから電源を供給してください。バッテリーのみで使用している場合は、正しく映像が録画されないことがあります。
- ・ 無線LAN環境で録画する場合は、録画を行う前に無線LANの通信状態が「強い」または「非常に強い」状態であることを確認してください(無線LANの通信状態は、デスクトップ右下の通知領域に表示されているにカーソルを合わせて確認できます)。

メモ

番組を予約している状態で「録画を停止する空き容量サイズ」を変更する場合は、予約している番組の録画に必要な容量を考慮して設定してください。

編集目的で録画するときの注意

- ・ SmartVisionで録画した映像を、あとでDVD MovieWriterやDVD-MovieAlbumSE(DVD-RAM/R/RW with DVD+R/RWモデル、DVD-RAM/R/RWモデルのみ)を使ってDVD-Video(DVD形式のビデオデータ)に加工する場合は、「高画質」「標準画質」「長時間」のいずれかの画質で録画することをおすすめします。
「ユーザ設定」の「MPEG2(CBR)」、「MPEG2(VBR)」で録画する場合は、以下のように設定してください。
 - MPEG2(CBR)の場合:ビットレート8Mbps以下
 - MPEG2(VBR)の場合:ビットレート4Mbps以下
- ・ SmartVisionで録画した映像を、あとでDVD MovieWriterを使ってVideoCDに加工する場合は、「ユーザ設定」の「VideoCD」の画質で録画することをおすすめします。
DVD-MovieAlbumSE(DVD-RAM/R/RW with DVD+R/RWモデル、DVD-RAM/R/RWモデルのみ)では、「VideoCD」の画質で録画したものを取り込むことはできません。
- ・ 市販の編集ソフトでは録画したデータを編集できない場合があります。必ず、お使いの編集ソフトで編集可能なデータをご確認ください。また、市販の編集ソフトでは長時間のMPEGデータを編集できません(4Gバイトを目安に録画してください)。

見ている番組を録画する

録画をはじめる

- 1 SmartVisionを起動する(p.40)
- 2 録画したい番組を表示する(見たい番組にチャンネルを切り換える)
チャンネルを切り換える方法は、PART2の「チャンネルを切り換える」(p.51)をご覧ください。
- 3 コントロールバーの (録画)をクリックする
録画がはじまります。
録画中は「カウンター」部分に録画時間または録画終了までの残り時間が表示されます。



録画時間を延長したい このPARTの「録画時間を延長する」(p.64)

チェック

- ・録画した番組の一覧は、 (VIDEOリスト)をクリックして見るができます。あらかじめテレビ番組表を受信しておく、録画した番組の名称は番組表の「番組情報」欄の《番組名》に表示されている番組名称がそのまま使われます。番組表を受信していない場合、録画した番組の名称は「番組名なし」、ジャンルは「なし」となります。
- ・録画した番組を再生するには「VIDEO リストから選んで再生する (p.75) をご覧ください。
- ・番組の録画を続けながら、録画し終わった部分を再生するには、「録画しながら再生する (p.64) をご覧ください。
- ・購入時の状態では、録画した番組は、「C:¥Documents and Settings¥All Users¥共有ドキュメント(Documents)¥SV Video」に保存されます。録画した番組の保存先を変更したい場合は、設定ウィンドウの「録画 / 再生 / 予約」 「録画 / タイムシフト」タブの「録画番組保存先」欄で設定できます。
- ・保存先でのファイル名は、録画した「年 / 月 / 日 / 時間」によって自動的に命名されます。
(例: 2003年4月1日の12時ちょうどに録画した番組のファイル名は「20030401_120000」)

録画を終了する

コントロールバーの  (停止) をクリックする

タイムシフト録画(巻き戻して録画する)

タイムシフトモードで視聴している場合に、その番組のシーンをさかのぼって録画を開始することができます。

SmartVisionには、一定時間の番組データをパソコンのハードディスクに登録しておく機能があり、このデータを巻き戻して録画保存します。

この機能を「タイムシフト録画機能」といいます。

番組の途中で「さっきのシーンから録画しておけばよかった」と思ったときに、この機能を使うと便利です。

 チェック

- ・ タイムシフト録画できるのは、それまでタイムシフトモードで視聴していた番組のみです。タイムシフトモードで視聴していなかった他のチャンネルの番組をタイムシフト録画することはできません。
- ・ タイムシフト録画では、通常の録画よりも多めのハードディスク容量が必要です。必要な容量は巻き戻す時間により異なりますが、巻き戻す時間が長いほど多くの容量が必要になります。
- ・ 画質が「VideoCD」に設定されている場合は、タイムシフトで巻き戻して録画することはできません。
- ・ タイムシフトモードで視聴しているときに録画画質の設定を変更すると、それまでのタイムシフトはクリアされます。

 メモ

- ・ 購入時の状態では、5分前まで巻き戻して録画することができます。
- ・ 巻き戻し時間は1分～90分の間で設定することができます。
- ・ 巻き戻し中に進行しているシーンもカットせずに録画することができます。

- 1 SmartVisionを起動する(p.40)
- 2 タイムシフトモードにする(p.46)
- 3 コントロールバーの (巻き戻し) をクリックする
- 4 録画をはじめたいシーンでコントロールバーの (再生) をクリックする
- 5 コントロールバーの (録画) をクリックする
録画ボタンを押したシーンから録画がはじまります。

 メモ

- ・ 実放送(リアルタイム放送)に追いつくにはp.48をご覧ください。
- ・ 録画の終了のしかたについてはp.62をご覧ください。

録画しながら再生する

SmartVisionでは、番組の録画終了を待たずに録画内容を再生することができます。

- 1 録画中にコントロールバーの (巻き戻し) をクリックする
- 2 見たいシーンでコントロールバーの (再生) をクリックする
録画終了を待たずに再生がはじまります。

◆メモ

- ・再生中の一時停止・巻き戻し・早送りの操作方法については、p.48をご覧ください。
- ・録画の終了のしかたについてはp.62をご覧ください。

その他の録画機能

シークレット録画について

シークレット録画とは、録画予約したユーザー以外では番組の再生などができない録画データのことで、予約リストや結果リスト、録画済みリストの番組名欄には「シークレット」と表示されます。

◆メモ

- ・予約する際に設定する場合は、「予約設定」の画面の「シークレット予約」の左の をクリックして にして設定します。詳しくは、p.67の手順5をご覧ください。
- ・録画後にシークレット録画設定に変更する場合は、VIDEO リスト(p.75)の (プロパティ) をクリックして表示される「プロパティ」の画面の「シークレット」の左の をクリックして にして設定します。

録画時間を延長する

録画中に (録画) を押すことによって録画終了時間を延長することができます。番組終了まで 15分 30分 60分 90分 120分 エンドレス( (停止) をクリックするまで録画) ...と変わります。

番組表を受信していない場合はエンドレスとなります。

◆チェック

予約録画の設定を行っている場合で、予約録画時間が延長時間と重なる場合は録画延長することができません。

テレビ番組を録画予約する

録画予約をする前に「録画について」(p.59～p.61)をご覧ください。
SmartVisionでは、録画の予約と同様に視聴の予約をすることができます。視聴の予約をすると、あらかじめ設定しておいた時間に自動的にSmartVisionが起動し、番組が表示されます。

予約するときの注意



チェック

あなたがテレビ放送や録画物などから取り込んだ映像や音声は、個人として楽しむなどのほかは、著作権上、権利者に無断で使用できません。

- ・ 予約は、番組表の受信を含め最大128件まで行うことができます。
- ・ 録画に必要な空き容量が残っていないときは、予約しようとするエラーメッセージが表示されます。保存場所は、設定ウィンドウの「録画 / 再生 / 予約」「録画 / タイムシフト」タブの「録画番組保存先」欄で設定できます。
- ・ 番組表や番組検索画面で、プリセットチャンネルとして設定されていない放送局の番組を選択した場合は、外部入力の予約となります。



参照

ハードディスクの空き容量の確認方法について 電子マニュアル「ばそガイド」『トラブル解決』「Step 2 カテゴリー別Q&A」『ハードディスク』の「Q ハードディスクの空き容量がどれくらい残っているのを知りたい」

チェック

- ・パスワードが設定されていない場合は、予約実行時刻になっても正しく予約が実行されないことがあります。p.56～p.58の手順でパスワードを設定しておいてください。
- ・予約したいテレビ番組の時刻に、すでに「テレビ番組表」の受信予約がされている場合、テレビ番組の予約をしようとする、予約が重複していることを示すメッセージが表示されます。その時間に番組表の受信を取りやめる場合は「はい」をクリックしてください。
- ・予約したいテレビ番組の時刻に、すでに別のテレビ番組の予約が入っている場合は、先に予約している方が優先されます。
- ・予約時、「予約設定」画面の「実行モード」欄でモード（録画または視聴）を選択できます。
同じモードで複数の番組を予約する場合は、間隔をあけずに予約できます。異なるモードで複数の番組を予約する場合は、すでに予約済の番組の開始2分前から終了1分後までの時間帯に重なる別の番組の予約はできません。
- ・録画準備のために、実際の録画開始時刻は予約設定した開始時刻よりも数秒遅くなります。
- ・予約設定した開始時刻ちょうどに録画を開始したい場合は、「設定ウィンドウ」の「予約」欄で録画開始時刻を微調整してください。
- ・実際の録画終了時刻は、予約設定した終了時刻よりも数秒早くなります。
- ・予約を行う場合は、システムスタンバイの設定を5分以上に設定してください。

録画予約の設定をする

予約実行後のパソコンの動作の設定手順

- 1 SmartVisionを起動する(p.40)
- 2  (設定) をクリックする
「設定ウィンドウ」が表示されます。
- 3  「録画 / 再生 / 予約」をクリックし、「予約」タブをクリックする
- 4 「予約録画 / 予約視聴後の電源設定」欄で動作を選択する



- ・「省電力モードに移行しない。」の場合は、予約録画 / 予約視聴が終了しても SmartVision は終了しません。
- ・「スタンバイへ移行する。」の場合は予約録画 / 予約視聴が終了するとスタンバイ状態になります。
- ・「休止状態へ移行する。」の場合は、予約録画 / 予約視聴が終了すると休止状態になります。

5 「OK」をクリックする

番組を予約する(手動で予約)

録画予約したい時刻までに番組表が受信できない場合など、番組表を使った予約ができないときは、手動で予約できます。

- 1 SmartVision を起動する(p.40)
- 2 (予約 & 結果リスト) をクリックする
- 3 (新規予約) をクリックする
「予約設定」の画面が表示されます。
- 4 「チャンネル」「日時」「開始時刻」「終了時刻」を設定する
- 5 必要に応じて「番組名」「繰り返し」「実行モード」「画質」「シークレット予約」のそれぞれの項目を設定する

繰り返し

一回のみ: 1 回だけ録画します。
毎日: この時間、放送局の番組を毎日録画します。
毎週・曜日指定: この時間、放送局の番組を毎週録画します。

実行モード

録画: 番組を録画します。
視聴: 番組を録画せずに視聴します。

画質

「標準画質」、「高画質」、「長時間」、「ユーザ設定」があります。詳しくは、「画質とハードディスク容量について」(p.59) をご覧ください。

シークレット予約

録画したユーザー以外では番組の再生をすることはできなくなります。
予約リストの番組欄には「シークレット」と表示されます。

6 「OK」をクリックする



参照

予約の確認や変更について このPARTの「予約の確認や変更または取消をする」(p.72)

録画予約を実行する

予約を実行するまでパソコンを使用しない場合

視聴・録画予約をした後、パソコンを使用しないときは、パソコンを省電力状態(スタンバイ状態または休止状態)にしておきます。予約した時間になると、パソコンは自動的に復帰し録画を始めます。



参照

『パソコン機能ガイド』PART1の「省電力機能」



チェック

- ・ SmartVisionが起動している場合は、省電力状態にできません。
- ・ 予約が実行されるまでの間パソコンを省電力状態にする場合は、省電力状態から復帰したときにパスワード入力が不要になるよう、あらかじめ設定しておいてください。詳しくはp.56～58をご覧ください。



メモ

予約実行後の動作確認については、p.74をご覧ください。

パソコンを使用している場合

録画予約の開始時刻が近づき、予約開始5分前になると、次の画面が表示されます。



パソコンを使用中の場合は、SmartVision以外のソフトを終了して録画できる状態にしてください。

また、予約開始5分前から、デスクトップ右下の通知領域のがと (5分前のアイコンの状態です)に点滅し、もうすぐ視聴や録画が始まることを知らせます。

予約実行中の画面

録画が始まると、画面右下の通知領域のがとに点滅します。録画が終了するとの表示に戻ります。

チェック

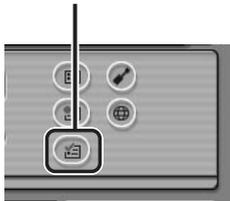
WinDVDやVideoStudioなどのSmartVision以外の映像を表示するソフトを使用中はSmartVisionを使うことはできません。予約開始5分前には、これらの映像を表示するソフトを終了させてください。

おまかせ録画機能で録画する

キーワードやジャンルなどをあらかじめ決めておいて、番組表の情報から条件にあった番組を録画することができる機能です。

おまかせ録画機能を使うには、あらかじめ条件を登録しておく必要があります。

1 「予約&結果リスト」をクリックする



2 「おまかせ」(おまかせ)をクリックする

「おまかせ録画条件リスト」が表示されます。

3 「おまかせ録画条件リスト」で「新規追加」をクリックする



4 「条件入力」が表示されたら、選びたい条件を選び、クリックする

選びたい条件をクリックして、をにします。

キーワードとなる文字を3種類まで入力することができます。

番組のジャンルを選びます。

放送局を選びます。

条件を検索する期間を選びます。

曜日を選択します。

条件を検索する時間帯を選びます。

クリックすると、再放送の番組も検索の対象になります。



録画の設定を変更できます。

5 「検索」をクリックする

条件に合致した番組が番組リストに表示されます。

6 「OK」をクリックする

◆メモ

- ・ 下記の条件では、おまかせ機能を使って録画することができません。
 - 同じ時間帯に条件が一致する番組が複数存在する場合
(重なっている番組のうちどれか1つが録画されます)
 - すでに設定してある予約録画番組と時間帯が重なっている場合
 - 番組表の受信時刻と時間帯が重なっている場合
 - 除外番組リストに登録されている番組の場合
(「除外番組リスト」をクリックするとおまかせ録画から除外されている番組のリストを見ることができます)
- ・ 画面左上のキーワード入力欄に、前のキーワードの後ろに空白を1文字分空けて別のキーワードを入力し、「検索」をクリックすると、いずれかのキーワードに合致した番組を検索できます。
例えば、「英語」と入力して、後ろに空白を1文字分空けて「英会話」と入力し、「検索」をクリックすると、「英語」と「英会話」のどちらかに一方に合致した番組が、画面右側の番組リストに表示されます。

7 「閉じる」をクリックする

これでおまかせ録画の設定は終了です。

チェック

おまかせ録画機能を使っているときに「チャンネル設定ユーティリティ」でチャンネルを設定し直したときは、お任せ録画機能の条件をすべて削除してから、もう一度設定をし直してください。

メモ

おまかせ録画機能をご利用になる場合には、SmartVisionのオンラインヘルプもあわせてご覧ください。

予約の確認や変更または取消をする

- 1 SmartVisionを起動する(p.40)
- 2  (予約&結果リスト)をクリックする
- 3 「予約」リストをクリックする
「予約一覧」が表示されます。



選択した番組の詳細情報が表示されます。

変更ボタン
予約内容を変更できます。

取り消しボタン
予約を取り消せます。

拡大ボタン
予約内容を拡大して表示します。

予約している番組が表示されます。

新規予約ボタン
手で録画予約ができます。

おまかせ録画ボタン
おまかせ録画予約ができます。

日付	予約時間	チャンネル	放送局	番組名	実行モード	高さ	予約
2005/04/12	19:00 ~ 19:30	TV 8CH	テレビ朝日	11時	標準	1700 V	予約済
2005/04/13	17:30 ~ 18:00	TV 10CH	テレビ朝日	11時	標準	1700 V	予約済

この画面で予約を確認することができます。

変更または取り消しを行いたい場合は次ページ以降の手順が必要です。

予約を変更したい場合

4 変更したい番組をクリックする

5 **変更** (変更) をクリックする

「予約設定」が表示されます。

6 変更した項目を修正する



録画中でも、終了時刻の変更ができます。

7 「OK」をクリックする

予約を取り消したい場合

4 取り消したい番組をクリックする

5 **取消** (取消) をクリックする

「予約を取り消します。よろしいですか?」と表示されます。

6 「はい」をクリックする



おまかせ録画の場合、「今後、この番組を「おまかせ録画」の対象から外しますか?」と表示されますので、「はい」をクリックしてください。

予約を中断する

実行中の予約録画を中断することができます。

1 画面右下の通知領域の を右クリックする
 と **REC** に点滅しています。

2 「予約録画終了」をクリックする
実行中の録画が終了しました。

予約した録画が成功したか確認する

- 1 SmartVisionを起動する(p.40)
- 2  (予約&結果リスト)をクリックする
- 3 「結果リスト」タブをクリックする
「結果リスト」が表示されます。
- 4 結果を確認する



メモ

結果の記号の意味は以下の通りです。

○成功 : 録画に成功したことを意味します。

●失敗 : 録画に失敗したことを意味します。

録画したテレビ番組を再生する

VIDEO リストから選んで再生する

- 1 SmartVisionを起動する(p.40)
- 2  (VIDEO リスト)をクリックする
「VIDEO リスト」が表示されます。
- 3 再生したい録画番組のフォルダを指定する

再生ボタン

選択した番組を再生します。

削除ボタン

選択した番組を削除します。

エクスポートボタン

「エクスポート」の画面を表示し、選択した番組の保存方法を選択できます。

プロパティボタン

詳細内容を表示します。

プレビュー領域

選択した番組の先頭画面が表示されます。

選択した番組の詳細情報が表示されます。



フォルダ

録画番組選択エリア



メモ

保存先に指定したフォルダ(購入時の状態では「C:¥Documents and Settings¥All Users¥共有ドキュメント(Documents)¥SV Video」が表示されます。変更する場合は「フォルダ」欄に表示されているフォルダを指定するか、「追加」をクリックして番組が保存されているフォルダを指定してください。



チェック

予約録画をしたのに、一覧に番組のタイトルが表示されていない場合は、「結果リスト」で予約結果を確認してください。

4 再生したい番組をクリックする

番組を選択すると、選択した番組は反転表示になります。



メモ

- ・水色で表示されている番組は未視聴番組です。
- ・番組名に「シークレット録画」と表示されている番組は、再生できません。録画したユーザーアカウントでログオンしてください。

5 (再生) をクリックする



メモ

- ・再生中に、一時停止・巻き戻し・早送りの操作を行いたい場合は、p.48をご覧ください。
- ・再生を終了するには、コントロールバーの (停止) をクリックしてください。購入時の状態では、録画済みの番組を再生中に他の番組の再生に切り換えたり、SmartVisionを終了した場合でも、次に再生するときにはその場所から再生されます。ただし (停止) をもう一度クリックすると番組の先頭に戻ります。また、設定ウィンドウ「録画 / 再生 / 予約」 「再生 / 編集」の「録画済み番組の再生を、前回停止した位置から開始する。」が されていない場合は、1回の停止で番組の先頭に戻ります。

不要な録画ファイルを削除する

- 1 SmartVisionを起動する(p.40)
- 2  (VIDEO リスト)をクリックする
「VIDEO リスト」が表示されます。
- 3 削除したい録画番組をクリックする
選択した録画番組が反転表示されます。【Ctrl】を押したままクリックすると複数の録画番組を選択できます。
- 4  (削除)をクリックする
- 5 「はい」をクリックする
これで録画ファイルが削除されました。

P A R T

4

番組表を使いこなそう

番組表を使う

番組表を見る

SmartVisionでは、テレビの番組表を受信して画面上に表示できます。表示した番組表から録画予約をしたり、番組の詳細情報を見たりと便利な使い方ができます。



チェック

画面右下の通知領域のがに変わり点滅しているときや、SmartVisionの画面下に「番組表受信中」と表示されているときは、番組表を受信中です。まだ番組表が受信できていないときは、 (番組表) をクリックしても、完全な番組表は表示できません。受信が終了するまでお待ちください。

番組表を表示する

1 SmartVisionを起動する(p.40)

2  (番組表) をクリックする
番組表が表示されます。



メモ

- ・ 番組表の受信設定の変更は、設定ウィンドウの「番組表」「TV番組表データ」タブで行えます。
- ・ AirTVは、パソコンの電源が入っていないときでも番組表の受信を行います。パソコンでSmartVisionを起動したときに、AirTVに蓄積された番組表データがパソコンのハードディスクに蓄積された番組表データよりも新しくなっている場合は、新しい番組表データが自動的にAirTVからパソコンにダウンロードされます(このとき、SmartVisionの画面右下に「番組表データ読込中」と表示されます)。ダウンロードを行っている途中、CPUの負荷条件などにより視聴している映像のコマ落ちが発生することがありますが、録画番組に影響はありません。

番組表の画面について



番組表を自動受信できるようにする

- 1 SmartVisionを起動する(p.40)
- 2  (設定) をクリックする
「設定ウィンドウ」が表示されます。
- 3 「番組表」アイコンをクリックし、「TV番組表データ」タブをクリックする



- 4 「ADAMS-EPGを使用する。」欄の「設定」をクリックする「ADAMS-EPG受信設定」の画面が表示されます。
- 5 「受信チャンネル」欄でADAMS放送を行っているチャンネルに設定する
ADAMS放送を行っているチャンネルは、p.27のメモで紹介しています。
- 6 「受信時刻」欄から番組表データを受信する時刻をクリックする
クリックした時間帯が反転表示されます。【Ctrl】を押したままクリックすると、複数の時間帯を選択できます。
- 7 「完了」をクリックする
これで設定が終了しました。
次回以降SmartVisionを起動したときに、設定した時刻になると、自動的に番組表の受信が行われます。

◆メモ

- ・ スタンバイ状態または休止状態の場合でも、受信時刻になると自動的に番組表の受信が行われます。
- ・ 「視聴中に番組表受信を行う。」の左の をクリックして にすると、受信時刻になると自動的に受信チャンネルに切り換わります。

インターネットから番組表を取得する

ADAMS-EPG+を使うと、インターネットから好きなときに番組表を取得できます。

チェック

ADAMS-EPG+を利用するには、ユーザー登録が必要です。また、インターネットに接続するための電話料金およびプロバイダ料金はおお客様の負担となります。

ADAMS-EPG+への登録

- 1 SmartVisionを起動する(p.40)
- 2  (設定) をクリックする
「設定ウィンドウ」が表示されます。
- 3 「番組表」アイコンをクリックし、「TV番組表データ」タブをクリックする



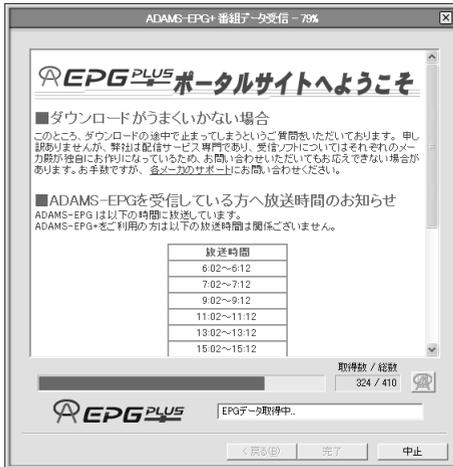
- 4 「ADAMS-EPG+を使用する。」の左を にして、「設定」をクリックする
- 5 インターネットへの接続方法を設定する
- 6 「次へ」をクリックする
- 7 「サーバ上の全データ」が選択されていることを確認して、「ADAMS-EPG+登録サイトに接続」をクリックする

自動的にインターネットに接続し、ADAMS-EPG+の登録サイトを表示します。以降は画面の指示を見ながら登録をしてください。

番組表の受信

受信する前に、ADAMS-EPG+への登録(p.83)をすませておいてください。

- 1  (番組表) をクリックする
- 2  (番組表取得) をクリックする



「ADAMS-EPG+番組データ受信」の画面が表示され、番組表が受信されます。

番組を検索する

番組表のデータから出演者などのキーワードを指定して番組を検索することができます。また、検索した番組を予約することもできます。

- 1  (番組表) をクリックする
- 2  (検索) をクリックする
次の画面が表示されます。



「キーワード」欄に出演者名や番組タイトルなどを入力するか、「日付」欄、「ジャンル」欄からそれぞれ検索したい内容を選択して検索開始ボタンをクリックすると、番組を検索できます。

- 3 「キーワード欄」にキーワードを入力する
キーワードには、出演者名や番組タイトルなどを入力してください。



チェック

複数のキーワードを入力したいときは、キーワードとキーワードの間にスペースを入力します。



メモ

「検索結果」欄には、プリセットチャンネルで設定していないチャンネルの検索結果が表示されることがあります。また一部の地区では、同一の放送が複数の局で行われていることがあり、同一の内容が検索結果として複数表示されます（例：北海道や関西地区のNHK総合）。その場合は、「チャンネル」に数字が表示されているものを選択して予約を行ってください。

4 検索する日付の範囲や検索する番組のジャンルを選択する

5 (検索開始) をクリックする

次の画面が表示されます。



6 「OK」をクリックする

検索結果が表示されます。

検索した結果の中から予約したい場合は以下の手順を行ってください。

7 予約したい番組をクリックする

「番組情報」欄に、番組表の詳細情報が表示されます。

8 (予約) をクリックする

9 p.87の手順6以降を行ってください。

番組を視聴/録画予約する

番組表を使って視聴/録画予約する

PART3の「録画について」(p.59)と「予約するときの注意」(p.65)と「録画予約の設定をする」(p.66)で予約のための設定をすませてから、受信した番組表を使って番組を予約しましょう。

チェック

- ・「番組表」の受信が予約されている時刻に、番組の予約をしようとすると、「予約が重複しています。」というメッセージが表示されます。そのまま番組を予約するには、「OK」をクリックしてください。
- ・予約したい番組の時刻に、別の番組の予約が入っている場合は、先に予約している方が優先され、予約できません。

メモ

番組の視聴/録画予約を行う前に、パソコンの時刻が正しく設定されていることを確認してください。

時刻修正機能(p.181)を使って、パソコンの時刻を設定することもできます。時刻修正機能を使うときは、コンピュータの管理者権限を持つユーザーでログインして行ってください(制限付きユーザーアカウントでは、時刻修正機能を使ってパソコンの時刻を設定できません。また、ゲストPCの場合も時刻修正機能は利用できません)。

- 1  (番組表) をクリックする
- 2 予約したい日付の放送日付をクリックする
予約したい日付の放送内容にかかります。
- 3 番組表を上下左右にスクロールして、予約したい番組を表示する
- 4 予約したい番組をクリックする
「番組情報」欄に、番組の詳細情報が表示されます。
- 5  (予約) をクリックする
「予約設定」が表示されます。
- 6 予約内容が正しいかを確認する

- 7 必要に応じて「番組名」「繰り返し」「実行モード」「画質」「シークレット予約」のそれぞれの項目を設定する(p.67の手順5)



チェック

- ・ 予約の内容が正しくない場合は「キャンセル」をクリックして手順4からやりなおしてください。
- ・ 番組によっては録画できないものもあります。

- 8 「OK」をクリックする

これで番組が予約できました。



参照

- ・ 予約の確認や変更について PART3の「予約の確認や変更または取消をする」(p.72)
- ・ 予約の実行について PART3の「録画予約を実行する」(p.68)
- ・ 録画の確認について PART3の「予約した録画が成功したか確認する」(p.74)

P A R T

5

便利な機能

外出先から録画予約しよう

こんなことができます

「SmartVision TV録画予約サービス」を利用すると、携帯電話やパソコンでインターネットを利用し、外出先からでも録画予約をすることができます。

こんなときに便利です

- ・ 外出してから録画予約しておくのを忘れたことに気が付いたとき
- ・ 友だちから面白そうな番組があることを聞いたり、新聞や雑誌で興味ある番組を見つけたけれどもその時間にテレビを見ることができないとき
- ・ 急な用事で見たい番組が見られなくなってしまったとき

こんなときは、本サービスを利用して外出先から録画予約をすれば、見たい番組を見逃すことがなくなります。

サービスの種類について

「SmartVision TV録画予約サービス」は、携帯電話や、インターネットのできるパソコンからテレビ番組の録画予約をするサービスです。次の2つの方法があります。

BIGLOBE のサービスを利用する方法 (p.91)

主な利用条件は次のとおりです。

- BIGLOBE会員の方
 - 携帯電話をお使いの方
 - 省電力でパソコンを使いたい方
 - 必要に応じてインターネットに接続している方(常時接続していない方)
- この方法では、1日数回、設定した時間にしか予約が反映されません。

ドット・ゲートサービスを利用する方法 (p.93)

主な利用条件は次のとおりです。

- ドット・ゲートサービスを利用できる環境にある方
- この方法では、いつでも予約を反映することができます。ただし、インターネットに常時接続しておく必要があります。



「ドット・ゲートサービス」について 電子マニュアル「ぼさガイド」「アプリケーションの紹介と説明」p.50音別目次

SmartVision TV録画予約サービスクライアント(BIGLOBE用)

「SmartVision TV録画予約サービスクライアント(BIGLOBE用)」は、随時新しいサービスを提供していく予定です。その際には、「SmartVision TV録画予約サービス」のホームページから最新のソフトウェアや説明書などをダウンロードしてご利用ください。

● チェック

- ・ 予約するためにはコンピュータの管理者権限を持つユーザーアカウントでログオンする必要があります。
- ・ 予約が実行されるまでの間パソコンを省電力状態にする場合は、省電力状態から復帰したときにパスワード入力が不要になるよう、あらかじめ設定しておいてください。詳しくは「省電力状態やスクリーンセーバーからの復帰時にパスワードの確認画面が表示されないように設定する」(p.57)をご覧ください。
- ・ パスワードが設定されていない場合は、予約が正しく実行されません。あらかじめ、p.56～p.58の手順でパスワードを設定しておいてください。
- ・ 複数のユーザーでパソコンをご利用の場合でも、「SmartVision TV録画予約サービスクライアント(BIGLOBE用)」で予約設定できるのは、現在ログオンしているユーザーアカウントのみです。

BIGLOBEに入会する

「SmartVision TV録画予約サービス」を利用するには、BIGLOBEに入会する必要があります。

サービスの申し込みをする

BIGLOBEへのサービスご利用申し込み(ユーザ登録)は、インターネットで行います(無料)。「SmartVision TV録画予約サービス」(<http://wakeup.cplaza.ne.jp/wapi/info/index.html>)にアクセスし、説明をよくお読みになったうえで、お申し込みを済ませてください。

インストールをする

「ソフトナビゲーター」の「名前を選ぶ」・「映像」・「ネットワークでテレビを楽しむ」・「TV録画予約(BIGLOBE)」・「このソフトを使う」をクリックすると、SmartVision TV録画予約サービスクライアントのBIGLOBE用がインストールされます。インストールの手順は、画面の指示に従ってください。

パソコンの設定を行う

パソコンが定期的に自動起動して、BIGLOBEのサーバと予約情報のやり取りをするように、パソコンを設定する必要があります。

設定は「TV録画予約クライアント設定」で行います。詳しくは、「スタート」-「すべてのプログラム」-「SmartVision TV録画予約サービスクライアント」から「SmartVision TV録画予約サービス取扱説明書」をご覧ください。これで設定は完了です。

パソコンを省電力状態にして外出する

サービスを利用するには、パソコンを省電力状態にしておく必要があります。

外出先で録画予約のページにアクセスする

携帯電話やパソコンを使って、外出先で「SmartVision TV録画予約 ユーザ認証」のページ(利用申し込み時に発行される、お客様専用のURL)にアクセスします。あなたのアクセスキーを入力するとメインメニューが表示されます。録画予約はそこで行います。

「TV録画予約クライアント設定」で設定した時刻になると...

あなたが外出先から録画予約をしたかどうか、パソコンが自動的にBIGLOBEのサーバに接続し、チェックします。予約が入っていた場合、予約内容のとおりパソコンが番組を録画します。

🔍 チェック

- ・ 法人会員の方は利用できません
- ・ BIGLOBEにアクセスするための電話料金、プロバイダ料金およびiモード携帯電話のポケット通信料は、お客様のご負担となります。
- ・ すでにBIGLOBE以外のインターネットプロバイダーとご契約されている場合は、月額基本料金無料のBIGLOBE「コンテンツコース」でご利用可能です。

SmartVision TV録画予約サービスクライアント(ドット・ゲートサービス用)

「SmartVision TV録画予約サービスクライアント(ドット・ゲートサービス用)」は携帯電話や外出先のパソコンからテレビ番組の録画予約を行うサービスです。このサービスを利用すると、自宅のパソコンのSmartVisionを利用して、いつでも録画予約ができます。

SmartVision TV録画予約サービスクライアント(ドット・ゲートサービス用)を利用する場合は、ドット・ゲートサービスをご利用になれる環境が必要です。次のことに注意してください。

- コンピュータの管理者権限を持つユーザーアカウントでログオンしていること
- ADSL回線などで、インターネットへ常時接続していること
- 常時パソコンの電源をオンにしておくこと など

ドット・ゲートサービスについて詳しくは、「ドット・ゲートサービス設定ツール」をご覧ください。



参照

「ドット・ゲートサービス設定ツール」について 電子マニュアル  「ばそガイド」「アプリケーションの紹介と説明」「50音別目次」「ドット・ゲートサービス」



チェック

複数のユーザーでパソコンをご利用の場合でも、ドット・ゲートサービスで予約設定できるのは、現在ログインしているユーザーのみです。

ドット・ゲートサービスを起動する

「ソフトナビゲーター」の「写真」-「ネットワークで楽しむ」-「ドット・ゲートサービスを準備する」-「このソフトを使う」をクリックすると、ドット・ゲートサービスが起動します。

パソコンの設定を行う

パソコンをドット・ゲートサービスが利用できるように設定します。詳しくは、「ドット・ゲートサービス設定ツール」をご覧ください。

ドット・ゲートサービスが利用できる状態にして外出する
サービスを利用するには、ドット・ゲートサービスが利用できる状態にしておく
必要があります。

外出先から自宅のパソコンにドット・ゲートサービスを利用してアクセスする
携帯電話やパソコンを使って、外出先から自宅のパソコンにドット・ゲートサー
ビスを利用してアクセスします。「TV録画予約」を選択して、録画予約を行いま
す。



設定した時刻になると...
予約した時間になると、予約内容のとおりパソコンが番組を録画します。

シーンインデックス機能

SmartVisionには、番組の録画中に、場面の変わり目を自動的に記録する機能があります。

また、番組の視聴中 / 録画中 / 録画番組の再生中に、自分のお気に入りのシーンを指定して記録させておくこともできます。

記録されたシーンを一覧表示して見たい場面を検索したり、好きな映像を静止画や動画にしてパソコンに取り込むことなどができます。

ブックマークについて

ブックマークとは「しおり」の意味です。

SmartVisionでは、映像の中のシーンにしおりをつけることを「ブックマークをつける」といいます。

ブックマークの種類

ブックマークには次の2種類があります。

シーンチェンジ位置のブックマーク

番組の録画終了後、場面の変化が大きいシーンで自動的にブックマークが記録されます。



チェック

シーンチェンジ位置のブックマークは、必ずしも場面の変わり目で作成されるとは限りません。

自分で作成するブックマーク

タイムシフトモードでの視聴中 / 録画中 / 録画番組の再生中に、アドバンスモードの「シーン…」タブに切り換えて、指定したシーンがブックマークとして登録されます。作成方法については「ブックマークのつくりかたと操作方法」(p.96)をご覧ください。

チェック

- ・ タイムシフトモードでの視聴中には、ブックマークを最大50個まで登録することができます。
- ・ タイムシフトモードでの視聴中にタイムシフト可能時間(p.47のメモ)を超過した場合、タイムシフト可能時間より古いブックマークは無効なブックマークとなり、ジャンプができなくなります。
- ・ タイムシフトモードでの視聴中にタイムシフト可能時間(p.47のメモ)を超過した場合、50個以上ブックマークを登録しようとする、タイムシフト可能時間より古いブックマークがすべて削除されます。
- ・ 録画中 / 録画番組再生中には、シーンチェンジ位置のブックマークと自分で作成するブックマークをそれぞれ50個ずつ、あわせて最大100個まで登録することができます。規定の数を超えてブックマークを登録することはできません。

ブックマークのつくりかたと操作方法

画面右上の  をクリックして表示される「SmartVision2.2nオンラインマニュアル」の「3.ボタンと使い方」 「アドバンスモード」 「アドバンスモード-シーン…」をご覧ください。

シーンインデックスについて

ブックマークとして登録されているシーンを、帯状のサムネイル表示に一覧表示することができます。

この一覧を「シーンインデックス」といいます。

シーンインデックスを表示するには

シーンインデックスは、番組の視聴中 / 録画中 / 録画番組の再生中のいずれでも表示させることができます。

シーンインデックスを表示するには、アドバンスモードの「シーン…」タブをクリックする。

シーンインデックスの使いかた

画面右上の  をクリックして表示される「SmartVision2.2nオンラインマニュアル」の「3.ボタンと使い方」 「アドバンスモード」 「アドバンスモード-シーン…」をご覧ください。

🔍 チェック

パソコンに取り込むことができる静止画のサイズは、SmartVisionのモードや録画した番組の画質によって異なります。また、取り込んだ静止画は実際のテレビ画面との縦横比率も異なりますが、「ペイント」などのビットマップ編集ソフトを使って縦横比率を編集することができます。

各モードと画質における静止画の詳しいサイズは、次のとおりです。

	ライブモード		320×240ドット
タイム シフト モード	標準画質、高画質、長時間 録画データ		720×480ドット
	ユーザ 設定	Mpeg2(CBR)、Mpeg2 (VBR)録画データ	設定により異なる
		VideoCD録画データ	352×240ドット

特殊再生について

録画した画像や音声を自動抽出してダイジェスト版で再生することができます。特殊再生には、次の3つのモードがあります。

- **変速再生** (変速再生)

シーンはカットせず、すべてのシーンの再生速度を自由に調節して再生する方法。音声の出力速度も調節できます。倍率を「0.X」(Xには任意の数値が入る)に設定することで、スロー再生もできます。

メモ

設定ウィンドウの「録画 / 再生 / 予約」再生 / 編集」タブの「特殊再生」欄で設定できます。

- **短縮再生** (短縮再生)

会話や字幕のあるシーンだけを通常スピードで再生する方法。ニュース番組を短時間で見る場合などに便利です。録画番組再生時のみ使用できます。



チェック

短縮再生機能は、画面上部3分の2に表示される映像の切り換わりや、画面下部3分の1に表示されるテロップなどを参考に画像検出を行っています。したがって、映像の表示内容によっては、期待した抽出効果が得られない場合があります。



メモ

設定ウィンドウの「録画 / 再生 / 予約」 「再生 / 編集」タブの「短縮再生の短縮率」欄で短縮率を変更すると、録画時間に対する短縮の割合を設定できます。

・ (リピート)

録画した番組を自動で繰り返し再生します。

操作方法は、画面右上のをクリックして表示される「SmartVision2.2nオンラインマニュアル」の「5.使ってみよう(導入編)SmartVision2.2nで見よう!」 「録画した番組をいろいろな方法で再生しよう」をご覧ください。

簡易編集機能について

SmartVisionには、再生中の番組のシーンを切り抜いたり、つなげたりする簡易編集機能があります。編集したデータは、一つの番組として保存できます。

録画した番組を再生すると、アドバンスモード画面に「簡易編集」タブが表示されます。



チェック

- ・ 複数の番組にまたがった編集はできません。
- ・ 編集したシーンの先頭は、タイミングによって少しずれることがあります。



参照

- ・ 簡易編集機能について 「SmartVision2.2nオンラインマニュアル」の「5.使ってみよう(導入編)SmartVision2.2nで見よう!」 「見えないシーンは切り取って欲しいとこだけ残そう」
- ・ 簡易編集の操作方法について 「SmartVision2.2nオンラインマニュアル」の「3.ボタンと使い方」 「アドバンスモード」 「アドバンスモード-簡易編集」

エクスポート機能

エクスポート機能には、「録画番組のコピー」、「MPEGファイルの分割／変換」、「DVD直接書き込み」、「DVDメニューつき書き込み」の4種類の方法があります。

エクスポート画面を起動する

- 1 SmartVisionを起動する(p.40)
- 2  (VIDEO リスト) をクリックする
録画した番組の一覧が表示されます。
- 3 保存したい番組をクリックする
- 4  (エクスポート) をクリックする
「エクスポート」の画面が表示されます。



録画番組のコピー

- 1 「エクスポート」の画面を起動する(p.99)
- 2 「録画番組のコピー」をクリックする
次の画面が表示されます。



◆メモ

...をクリックすると、データの保存先をあらかじめ設定しておくことができます。

特に指定がない場合は「C:¥Documents and Settings¥All Users¥共有ドキュメント(Documents)¥SV Video¥SVExport」に保存されます。

- 3 「出力モード」を設定する
コピーした録画番組を再生するパソコンでSmartVisionのバージョンが異なる
ときや、容量の大きなMPEGファイルを分割したいときなどには、ここで指定し
ます。
- 4 「実行」をクリックする
エクスポートが完了すると「エクスポートが終了しました。」と表示されます。
- 5 「OK」をクリックする

MPEGファイルの分割 / 変換

- 1 「エクスポート」の画面を起動する(p.99)
- 2 「MPEGファイルの分割 / 変換」をクリックする
次の画面が表示されます。



メモ

「」をクリックすると、データの保存先をあらかじめ設定しておくことができます。
特に指定がない場合は「C:\Documents and Settings\All Users\共有ドキュメント (Documents) \SV Video\SVExport」に保存されます。

- 3 「出力モード」を設定する
「元データの映像フォーマット(MPEG1/MPEG2)で出力する」の左の☐をクリックして●にしたあと、「分割サイズを指定する」の左の☐をクリックして☑にし、分割サイズを指定してください。

メモ

「WMVフォーマットへ変換する」の「拡張設定」については、SmartVisionのオンラインヘルプをご覧ください。

- 4 「実行」をクリックする
エクスポートが完了すると「エクスポートが終了しました。」と表示されます。
- 5 「OK」をクリックする



メモ

DVD-MovieAlbumSE添付モデルでDVD-MovieAlbumSEをインストールしている場合は、「出力モード」欄で、「DVD-MovieAlbumSEで使用可能にする」を選ぶようになります。

この場合、エクスポート完了後「出力先」欄の「フォルダ」で指定された場所に、*****.mtv(*****は手順2で指定したファイル名)で保存されます。これをDVD-MovieAlbumSEで取り込むには、UDF2.0でフォーマットされたDVD-RAMディスクをCD/DVDドライブにセットし、DVD-MovieAlbumSEを起動して「補助機能」『ファイルからの画像取り込み』で上記ファイルを選択し、DVD-RAMへ「書き込み」してください。

DVD直接書き込み

録画したテレビ番組は、DVD-R、DVD-RWまたはCD-R、CD-RWに保存しておくこともできます。ここでは、番組を一つだけ選択して直接書き込みしたときの手順を説明します。

チェック

- DVD-Rに書き込めるのはDVD-RAM/R/RW with DVD+R/RWモデル、DVD-RAM/R/RWモデルまたはDVD-R/RWモデルのみです。
- 書き込みに失敗したDVD-Rは、再生できなくなります。書き損じによるDVD-Rの保証はできませんのでご注意ください。
- 作成が完了すると、自動的にドライブからディスクトレイが出てきます。その後「操作を完了しました。」のメッセージが表示されるまで、10秒程度かかる場合があります。
- 作成したDVD-R/RWは、WinDVDなどで再生できます。
- CD-R/RW with DVD-ROMモデルの場合、録画したテレビ番組はVideoCDに変換されます。

- 1 「エクスポート」の画面を起動する(p.99)
- 2 「DVD直接書き込み」をクリックする
DVD MovieWriterが起動します。



- 3 CD/DVDドライブにデータを書き込んでいないDVD-RまたはDVD-RWをセットし、「作成開始」をクリックする
ディスクの作成が始まります。以下の手順は画面の指示にしたがって操作してください。



参照

DVD MovieWriterについて DVD MovieWriterの「ユーザーマニュアル」または、電子マニュアル「ばそガイド」「アプリケーションの紹介と説明」「50音別目次」

DVDメニューつき書き込み



チェック

- DVD-Rに書き込めるのはDVD-RAM/R/RW with DVD+R/RWモデル、DVD-RAM/R/RWモデルまたはDVD-R/RWモデルのみです。
- 書き込みに失敗したCD-RやDVD-Rは、再生できなくなります。書き損じによるCD-RやDVD-Rの保証はできませんのでご注意ください。
- 作成が完了すると、自動的にドライブからディスクトレイが出てきます。その後「操作を完了しました。」のメッセージが表示されるまで、10秒程度かかる場合があります。
- 作成したCD-R/RWやDVD-R/RWは、WinDVDなどで再生できます。
- CD-R/RW with DVD-ROMモデルの場合、録画したテレビ番組はVideoCDに変換されます。

1 「エクスポート」の画面を起動する(p.99)

2 「DVDメニューつき書き込み」をクリックする

DVD MovieWriter が起動します。以下の手順は画面の指示にしたがって操作してください。



参照

DVD MovieWriterについて DVD MovieWriterの「ユーザーマニュアル」または、電子マニュアル「ばそガイド」「アプリケーションの紹介と説明」「50音別目次」

録画したデータをVideoStudioで編集する

SmartVisionで録画した映像は、エクスポートしてVideoStudioで編集できます。DVD MovieWriterを使っても編集できますが、VideoStudioを使うとより高度な編集ができます。

VideoStudioは、「ソフトナビゲーター」の「名前で選ぶ」 「映像」 「映像の編集」 「VideoStudio」 「このソフトを使う」をクリックすると起動します。



参照

- ・ VideoStudioの詳しい使い方 VideoStudioのユーザーズガイド
- ・ エクスポートの方法 このPARTの「エクスポート機能」(p.99)

DVD MovieWriterでDVD-Video、VideoCDを作成する

編集した映像をもとに、DVD MovieWriterを使って、オリジナルのDVD-Video、VideoCDを作成できます。

DVD MovieWriterは、「ソフトナビゲーター」の「名前を選ぶ」「映像」「映像の編集」「DVD MovieWriter for NEC」「このソフトを使う」をクリックすると起動します。



参照

DVD-Video、VideoCDの作成のしかたについて DVD MovieWriterの「ユーザーマニュアル」

ビデオデッキやアナログビデオカメラを接続する

ここでは、ビデオデッキやアナログビデオカメラなどの外部機器と接続したり、外部機器の映像を録画する方法について説明します。

❗ チェック

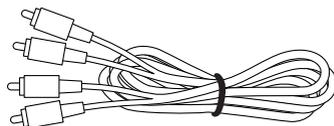
コピー防止信号が含まれている映像を視聴したり録画することはできません。コピー防止信号が検出された場合、スクリーンガードに切り換わります。

用意するもの

AirTVに接続する機器によって必要なものが異なります。市販のS映像用ケーブル(または映像用ケーブル)と市販の音声用ケーブル(ステレオピンプラグ-ピンプラグなど)を使って接続します。



S映像用ケーブル
(または映像用ケーブル)



音声用ケーブル

❗ チェック

接続する機器にS映像出力端子がついていない場合は、通常の映像用ケーブルを用意してください。詳しくは、次のページの「こんなときは」で説明しています。

接続する

AirTVとビデオデッキなどの外部機器を接続します。

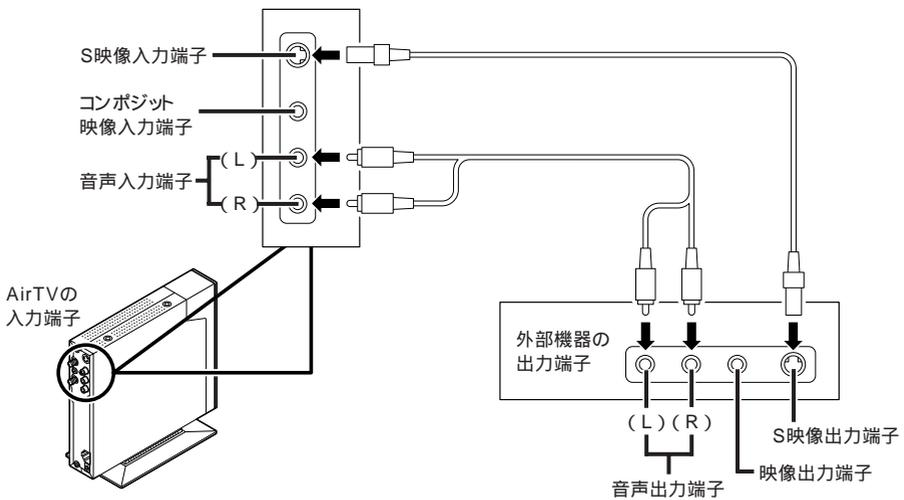
AirTVとビデオデッキやアナログビデオカメラを接続する

AirTVの入力端子と外部機器の出力端子を接続して、外部機器の映像をSmartVisionで録画します。SmartVisionの映像を外部機器に録画することはできません。



参照

外部機器の接続について詳しくは、各機器に添付のマニュアルをご覧ください。



こんなときは

S映像出力端子のない外部機器につなぎたい

市販の映像用ケーブルを使って、AirTVのコンポジット映像入力端子と外部機器の映像出力端子を接続します。

AirTVのコンポジット
映像入力端子へ



外部機器の
映像出力端子へ

ビデオの映像をSmartVisionで録画する

ここでは例として、ビデオデッキの映像をSmartVisionで録画する方法を説明します。

① チェック

コピー防止信号が入っている外部入力(ビデオ)からの映像を視聴および録画することはできません。

コピー防止信号が検出された場合、録画やタイムシフトを中止し、自動的にスクリーンガードに切り換わります。

1 SmartVisionを起動して、「TV」タブをクリックする



2 [CH] をクリックする チャンネル一覧が表示されます。

3 「Line1」をクリックする

録画したデータを後で編集する場合は、録画する画質の確認が必要です。設定ウィンドウの「録画/再生/予約」「録画/タイムシフト」タブで画質を選択してください。

4 ビデオデッキで、ビデオを再生する ビデオの映像がパソコンに表示されます。

5 [録画] をクリックする ビデオの録画が始まります。

6 録画を終了するときは (停止) をクリックする

ビデオの映像を録画するときも、テレビと同じようにタイムシフト機能が使えます。ここで録画したデータは、SmartVisionで録画した番組と同じように編集できます。録画したデータの編集方法については、このPARTの「録画したデータをVideoStudioで編集する」(p.105)で確認してください。

メモ

ビデオデッキなどの外部機器から録画してDVD等に出力したとき、画面下に画像の乱れが発生することがあります。これは、ビデオデッキのスイッチングノイズによるものです。SmartVisionやご家庭のDVDで再生する場合は、問題ありません。

MediaGarageを使う

SmartVisionのほかに、このパソコンでは「MediaGarage」というソフトでテレビを見たり録画予約、録画した番組の視聴などができます。

MediaGarageでは、リモコンを使って離れたところから操作を行うことができます。また、MediaGarageではテレビやビデオなどの映像の他にも、パソコンやホームネットワーク上の写真・音楽を、マウスやリモコンでメニューから手軽に操作し楽しむことができます。MediaGarageの使い方について詳しくは、MediaGarageのオンラインヘルプをご覧ください。

チェック

「MediaGarage」でテレビを見るには、あらかじめSmartVisionの設定などが終了している必要があります。

まずはSmartVisionでテレビ視聴、録画予約などができるようにしてください。

参照

MediaGarageの使い方について MediaGarageのオンラインヘルプ

リモコンでMediaGarageを使う方法について 『リモコン取扱説明書』の「MediaGarageでマルチメディアを楽しむ」

MediaGarageの設定をする

- 1 リモコンの[MG]ボタンを押す
画面が表示されます。



- 2 リモコンの[▲][▼]ボタンで「Setting」を選んで[決定登録]ボタンを押す（または、マウスで「Setting」をクリックする）

- 3 「TVチューナーサーバー」の右が「(Local)MediaGarage Server xxx(xxxにはこのパソコンのコンピュータ名が表示されます)」になっていることを確認する

「使用しない」になっているときは、「使用しない」をクリックして出てくる
で「(Local)MediaGarage Server xxx(xxxにはこのパソコンのコンピュータ名が表示されます)」を表示してください。



- 4 「OK」をクリックする
確認の画面が表示されます。
- 5 「OK」をクリックする
次の画面が表示されます。
- 6 「OK」をクリックする
メインメニューに戻ります。
- 7 「Exit」をクリックする
「MediaGarage」が終了します。

これで設定は終了です。

チェック

- ・ TVチューナーサーバーの設定を変更したときや、はじめてMediaGarageを使用するときは、かならず一度MediaGarageを終了してください。終了しないと、設定が反映されません。
- ・ 「ソフトナビゲーター」の「目的で探す」映像」「テレビ・ビデオ」「テレビを見る・録画予約する」MediaGarageアイコン「起動する」をクリックしてもMediaGarageを起動できます。

MediaGarageでテレビを見る

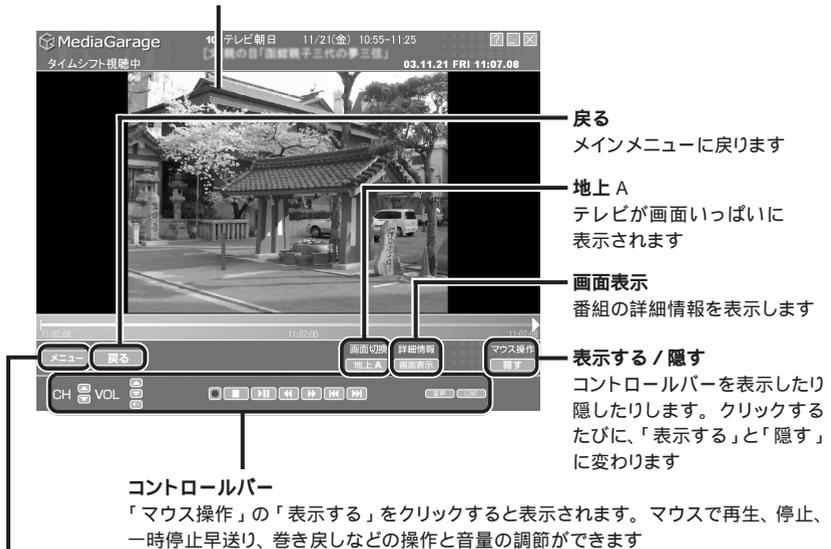
- 1 MediaGarageを起動する
- 2 リモコンの[▲][▼]ボタンで「TV」を選んで[決定登録]ボタンを押す(または、マウスで「TV」をクリックする)
テレビ画面が表示されます。

3 画面をクリックする

MediaGarageフレームが表示されます。

ビュー

画面をクリックすると、フルスクリーン表示とMediaGarageフレーム表示に交互に変わります



メニュー

メインメニューに戻ります



チェック

フルスクリーン表示の状態でも、リモコンを使って操作できます。

録画予約をする

1 MediaGarageを起動する

2 リモコンの[▲][▼]ボタンで「EPG」を選んで[決定登録]ボタンを押す(または、マウスで「EPG」をクリックする)

番組表画面が表示されます。

録画予約したい番組をクリックすると「予約設定」画面が表示されます

MediaGarage -番組表(チャンネル別)- 03.11.21 FRI 11:08.05

EPG

12 テレビ東京 1 NHK総合 3 NHK教育

ソート: 時間昇

日時	番組名	ジャンル
11/21(金) 11:00-12:00	趣味/教育	趣味/教育
11/21(金) 12:00-12:45	趣味/教育	趣味/教育
11/21(金) 12:45-13:00	ドラマ	ドラマ
11/21(金) 13:00-14:00	バラエティ	バラエティ
11/21(金) 14:00-15:00	趣味/教育	趣味/教育
11/21(金) 15:00-18:00	スポーツ	スポーツ
11/21(金) 18:00-19:00	ニュース/報道	ニュース/報道
11/21(金) 19:00-19:30	ニュース/報道	ニュース/報道
11/21(金) 19:30-20:00	ニュース/報道	ニュース/報道
11/21(金) 20:00-20:45	音楽	音楽
11/21(金) 20:45-21:00	ニュース/報道	ニュース/報道

予約リスト
予約リストを表示します

画面表示
番組の詳細情報を表示します

アンクル
番組の並び順番を変えます

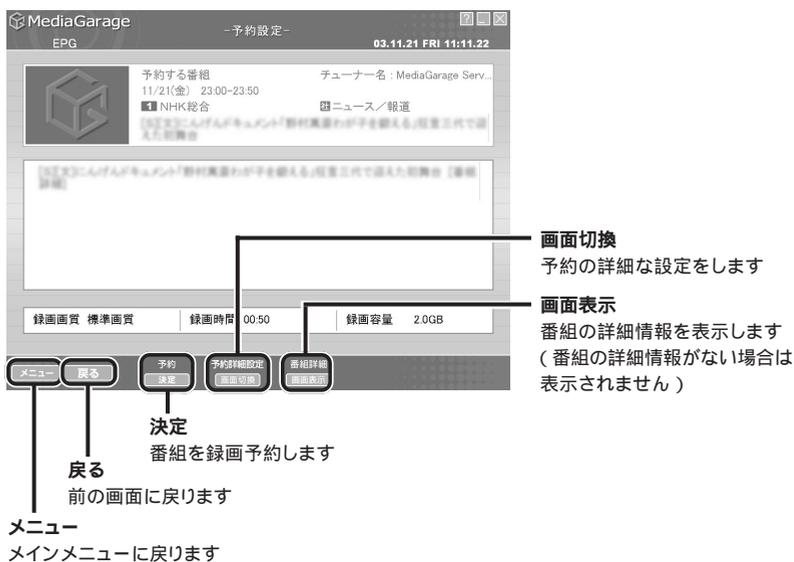
日付切換
表示する番組表の日付を変えます

番組表
番組表を「チャンネル別」と「ジャンル別」に切り換えます

戻る
メインメニューに戻ります

メニュー
メインメニューに戻ります

「予約設定」画面



録画した番組を再生する

- 1 MediaGarageを起動する
- 2 リモコンの[▲][▼]ボタンで「VIDEO」を選んで[決定登録]ボタンを押す(または、マウスで「VIDEO」をクリックする)
ビデオの一覧が表示されます。
- 3 再生したいコンテンツをクリックする
再生が始まります。
- 4 画面をクリックする
MediaGarageフレームが表示されます。

ビュー

画面をクリックすると、映像のみの表示と MediaGarage フレーム表示に交互に変わります



チェック

映像のみが表示された状態でも、リモコンを使って操作できます。

メモ

MediaGarageでは、SmartVisionで録画した番組の他に、SmartHobbyのコンテンツも見られます。SmartHobbyのコンテンツを見るには、SmartHobbyでの設定が必要です。詳しくはSmartHobbyのオンラインヘルプをご覧ください。

ホームネットワークに接続した他のパソコンからテレビを見る

ホームネットワークを通じて他のパソコン(ゲストPC)でテレビ機能を使うには、あらかじめ次の2つを行っておいてください。

- ・ ゲストPCとパートナーPCの設定
- ・ ゲストPCへの「MediaGarage」のインストールと設定



参照

- ・ ゲストPCとパートナーPCの設定 「PART7 ネットワークでテレビを見る」(p.157)
- ・ 「MediaGarage」のインストールと設定について 「MediaGarage」のオンラインヘルプ

ゲストPCからは、次の操作ができます。

- ・ パートナーPCで録画した番組の再生
- ・ タイムシフトモードの番組の視聴

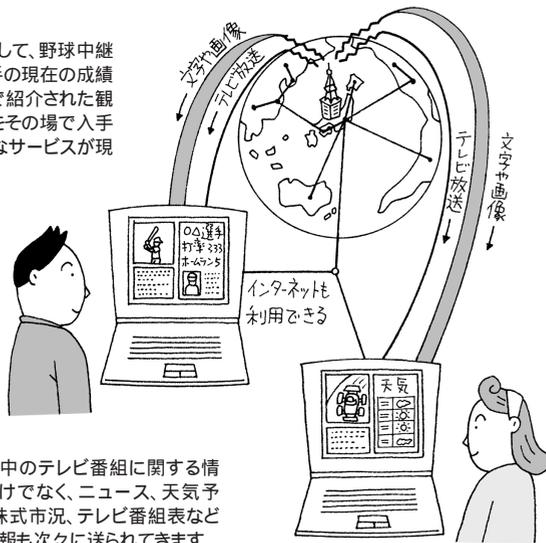
操作方法について詳しくは、MediaGarageのオンラインヘルプをご覧ください。

地上アナログデータ放送とは

ふだん見慣れているテレビ放送は、テレビ放送局が電波を利用して映像と音声を送信していますが、この電波には、まだいくらかの情報をのせることができる電波のすきまのようなものがあります。そのすきまに文字や画像の情報をのせて、テレビ放送と一緒に電波で送信するのが「地上アナログデータ放送」です。この文字や画像などのデータは、このパソコンで、それぞれ専用の受信ソフトを使って表示することができます。

また、このパソコンでインターネットが利用できる状況であれば、受信した地上アナログデータ放送から、そのままインターネット上の関連ホームページを表示させることもできます。

放送中の番組と連動して、野球中継を観戦しながら各選手の現在の成績を見たり、旅行番組で紹介された観光スポットの案内図をその場で入手したり、といった便利なサービスが現実のものとなります。



放送中のテレビ番組に関する情報だけでなく、ニュース、天気予報、株式市況、テレビ番組表などの情報も次々に送られてきます。

放送内容は、テレビ局によって異なります。放送される番組などについては、各テレビ局にお問い合わせください。

チェック

- ・「地上アナログテレビ放送以外のテレビ放送(ケーブルテレビ会社のテレビ放送中継サービス)」では、地上アナログデータ放送の対応を行っていない場合があります。受信できないことや、ソフトが正常に動作しなくなることがあります。ケーブルテレビをご利用の場合は、ADAMS放送を受信できるかどうか、ご利用のケーブルテレビ会社にご確認ください。
- ・複数の放送局を同時に受信することはできません。

ADAMS放送について

ADAMS放送を受信すると、ニュースや天気予報からテレビ番組に関連した内容まで、さまざまな情報が、インターネットのホームページと同じ形式で次々に送信されてきます。

ADAMS放送を見るには、「ADAMSナビ」というソフトを使います。

メモ

- ・インターネットを利用する場合は、インターネットに接続できる環境が必要です。
- ・ADAMS放送についての詳細は、株式会社テレビ朝日データビジョンのURL(<http://tadv.jp/>)をご覧ください。

参照

「ADAMSナビ」について ADAMSナビの「ヘルプ」「NEC ADAMSナビ オンラインマニュアル」

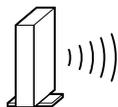
6

アクセスポイントを 活用する

ここでは、AirTVを使用している環境でインターネットに接続したり、AirTVを経由して無線でプリンタなどの周辺機器やファイルを共有する方法を説明します。

AirTVとパソコンが無線でつながるしくみ

テレビチューナ
192.168.0.110
無線LANアクセスポイント
192.168.0.111



無線LANアダプタ
192.168.0.123 など

AirTVには、テレビチューナと無線LANアクセスポイントが内蔵されています。AirTVで受信したテレビ番組は、デジタルデータに変換された後、無線LANアクセスポイントを経由して無線LAN、あるいは直接有線LANでパソコンに送られます。機器を識別するために、AirTVのテレビチューナと無線LANアクセスポイント、そしてパソコンの無線LANアダプタには、異なるIPアドレスが設定されている必要があります。

購入時には、AirTVのテレビチューナとAirTVの無線LANアクセスポイントには、それぞれ「192.168.0.110」、「192.168.0.111」という固定IPアドレスが割り振られています(上図参照)。

したがって、パソコンの無線LANアダプタのIPアドレスを「192.168.0.XXX」(XXXは、1から254までの任意の数字。ただしAirTVの2つのアドレスと重複しないもの)に設定すれば、テレビを視聴できるようになります。

AirTVを使用している環境でインターネットに接続するときは、プロバイダやインターネットに接続する環境などによって、設定方法が異なります。詳しくは、この後の「インターネットに接続する」(p.126)をご覧ください。インターネットを利用する環境と設定方法を確認してください。

◆メモ

IPアドレスとは

ネットワークに接続されている機器を識別するための番号で、「192.168.0.110」のように0～255の数字4つをドットで結合した表記をします。このアドレスは、更に「192.168.0」というネットワークアドレスと、「110」というホストアドレスに分けられます(ネットマスクが「255.255.255.0」の場合)。

ネットワークアドレスが異なる機器同士は、ルータを経由しなければ通信できません。

AirTVはルータを経由した接続ができませんので、AirTVのテレビチューナと無線LANアクセスポイント、そしてパソコンの無線LANアダプタのネットワークアドレスは、同一である必要があります。



動的IPアドレスと固定IPアドレス

通常、インターネットに接続するときは、接続するたびにプロバイダからIPアドレスが自動的に割り当てられます。

そのため、接続するたびにIPアドレスが変わります。これを「動的IPアドレス」と呼びます。

しかし、「固定IPアドレス」を利用すれば、いつでも同じIPアドレスが割り当てられます。

このため、インターネット上のあらゆる機器から自分のパソコンを特定できます。

個人でサーバーなどを設置する際に利用できますが、通常、インターネットなどを利用する場合には固定IPアドレスは必要ありません。

また、固定IPアドレスを利用するときには、通常以上にセキュリティに注意する必要があります。

「固定IPアドレス」が利用できるかどうかについては、各プロバイダにお問い合わせください。



ルータ機能とは

ネットワークアドレス(p.122)の異なる複数のネットワーク間でデータをやり取りするときに、IPアドレスを変換する機能です。ルータを導入すれば、インターネット(WAN)側をプロバイダの設定値に合わせるだけで、LAN側に接続する機器に任意のネットワークアドレスを設定して、インターネットへ接続できます。

また、1つのインターネット(WAN)側IPアドレスだけで、LAN側に接続する複数の機器をインターネットに接続できるようになります。AirTVにはルータ機能はありません。

なお、プロバイダによってはルータの使用を禁止している場合がありますので、ルータの使用に関してはプロバイダにお問い合わせ下さい。ルータの設置を禁止されていて、1つのIPアドレスだけが割り当てられる場合は、「パソコンにケーブルをつないでインターネットに接続するとき(p.146)の方法で接続してください。



DHCP(Dynamic Host Configuration Protocol)とは

LANに接続している機器に、IPアドレスを自動的に割り当てるしくみです。

ルータなどにこの機能があり、ルータのLANコネクタに接続した機器にIPアドレスを自動的に割り当てることができます。

プロバイダがDHCPをサポートしている場合は、AirTVのテレビチューナとパソコンの無線LANアダプタのIPアドレスをDHCPモードに変更する必要があります。ただし、AirTVの無線LANアクセスポイントは、DHCPモードに対応していないため、パソコンの無線LANアダプタに割り当てられるIPアドレスを参考にして同一のネットワークアドレスになるようなIPアドレスを設定しなければなりません。

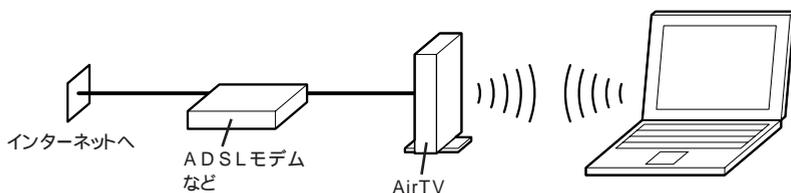
AirTVのテレビチューナをDHCPモードに設定した場合、AirTVの電源を入れたときにIPアドレスが割り当てられますので、ルータのDHCPサーバ機能が有効になっているなど、必ずDHCPサーバ機能が有効なネットワークに接続した環境でAirTVの電源を入れてください。DHCPサーバ機能によって割り振られたAirTVのテレビチューナのIPアドレスは、「AirTV設定ツール(p.21)を使って確認できます。

なお、DHCPサーバ機能などのネットワーク設定を変更した場合は、AirTVの電源をいったん切り、約2～3分経過後、ふたたび電源を入れる必要があります。

無線LANアクセスポイントについて

AirTVには無線LANアクセスポイントが内蔵されています。アクセスポイント機能を使うと、次のようなことができます。

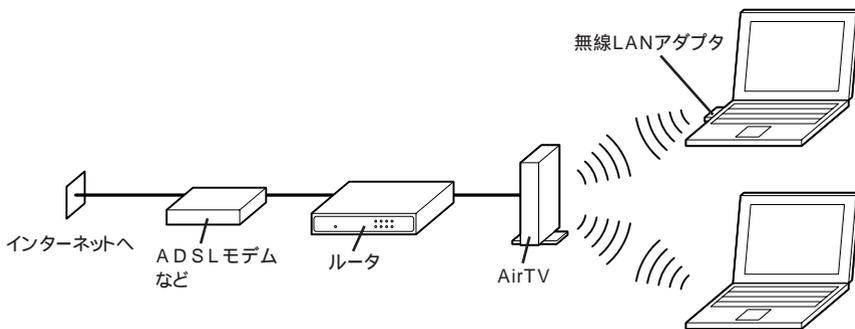
添付のLANケーブル¹でAirTVをインターネット機器(またはインターネット回線)に接続すれば、AirTVを経由して無線でインターネットに接続できる²



- 1: 添付のLANケーブルでは長さが足りない場合は、市販のストレートタイプのLANケーブルを用意してください。
- 2: 上記の図で、AirTVを接続する相手側は、プロバイダやモデムの種類などによって異なります。詳しくは、この後の「インターネットに接続する」(p.126)をご覧ください。

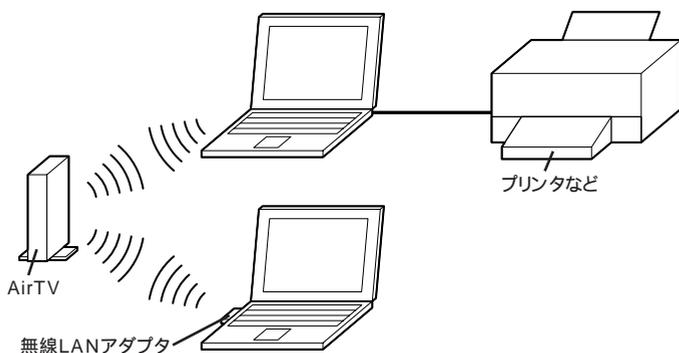
ルータ¹を使えば、2台目以降のパソコン(他のパソコン)²でも、AirTVの無線LANアクセスポイントを使って無線でインターネットに接続できます。

- 1: ルータタイプのADSLモデムも含まれます。ルータタイプのADSLモデムの場合、ルータ機能が内蔵されているため、市販のルータを用意する必要はありません。
- 2: パソコンが「IEEE802.11a」規格に対応している(またはパソコンに「IEEE802.11a」規格に対応している無線LANアダプタを取り付ける)必要があります。

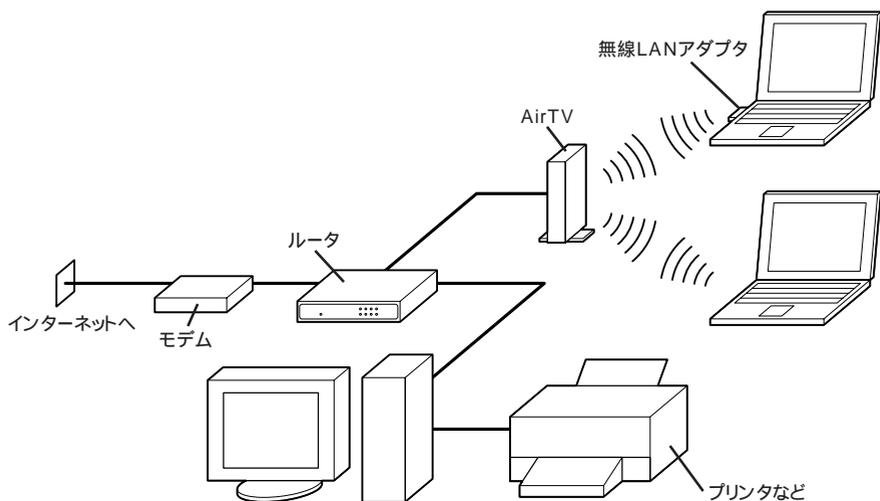


無線LAN機能があるパソコン 同士で、AirTVを経由して、無線でプリンタなどの周辺機器やファイルを共有できる(p.153)

: パソコンが「IEEE802.11a」規格に対応している(またはパソコンに「IEEE802.11a」規格に対応している無線LANアダプタを取り付ける)必要があります。



なお、すでに有線LANにプリンタなどの周辺機器を接続しているときは、添付のストレートタイプのLANケーブルを使ってルータにAirTVを接続することで、無線LAN機能を持つパソコンでもプリンタなどの周辺機器を共有できます(ルータに空いているLANコネクタがない場合は、市販のハブをルータとAirTVの間に接続することで、LANコネクタの数を増やすことができます)。



インターネットに接続する

ここでは、AirTVを使用している環境でインターネットに接続する方法を説明します。

AirTVを使用している環境でインターネットに接続するには、AirTVの無線LANアクセスポイントを使う方法とパソコンにケーブルをつなぐ方法があります。

次のようなときは、AirTVの無線LANアクセスポイントを使って無線でインターネットに接続できます。

インターネット接続の環境	インターネット接続サービスの例	参照ページ
ルータを使っている	-	p.127
ルータタイプのADSLモデムを使っている	アッカ・ネットワークス、イーアクセス など	p.130
ブリッジタイプのADSLモデムを使っている		
DHCPサーバーによって1つのIPアドレス(または固定IPアドレス)が付与されるインターネット接続サービス	Yahoo!BB、CATV など	p.131
PPPoEによるユーザー認証が必要なインターネット接続サービス	フレックス・ADSL、Bフレックス、TEPCOひかり など	p.133
会社内LANやインターネットマンションを使っている		
接続先(プロバイダなど)のDHCPサーバーから3つ以上のIPアドレスを割り当ててもらえる	-	p.135
固定IPアドレスを3つ以上割り当てられる	-	p.136

あらかじめ、ネットワーク管理者に条件に対応しているかどうかお問い合わせください。対応していない場合は、この後の「パソコンにケーブルをつないでインターネットに接続するとき」(p.146)をご覧ください。添付のLANケーブルでモデムとパソコンを接続すれば、インターネットは有線で、テレビ番組は無線で楽しめるようになります。複数のアドレスを割り当てることができる環境であっても、設定によってはルータが別途必要になることがあります(特殊なネットマスク設定になっている場合など)。

なお、次のようなときは、パソコンにケーブルをつないでインターネットに接続します。詳しくは、「パソコンにケーブルをつないでインターネットに接続するとき」(p.146)をご覧ください。

- ・パソコンの内蔵モデムを使ってインターネットにダイヤルアップ接続しているとき
- ・ISDN回線でTA(ターミナルアダプタ)を使ってインターネットに接続しているとき
- ・ADSL回線でLANコネクタがないモデム(USBタイプのADSLモデムなど)を使ってインターネットに接続しているとき

インターネットに接続できるまでのステップ

1 つなぎ方と設定のポイントを確認する(p.127)



2 インターネットに接続できるようにする(p.138)



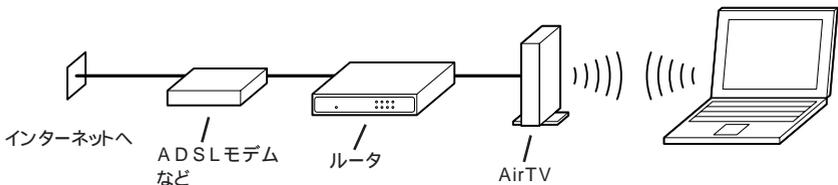
3 インターネットに接続できるか確認する

つなぎ方と設定のポイントを確認する

すでにルータを使ってインターネットに接続しているとき

すでにルータを使ってインターネットに接続しているときは、添付のLANケーブルを使ってルータにAirTVを接続することで、AirTVの無線LANアクセスポイントを使って無線でインターネットに接続できるようになります。

添付のLANケーブルはストレートタイプです。添付のLANケーブルで長さが足りないときは、市販のストレートタイプのLANケーブルを用意してください。



チェック

ここでは、まだAirTVをルータに接続しないでください。

設定をはじめる前の準備

AirTVの無線LANアクセスポイントを使って無線でインターネットに接続できるよう設定する前には、次の準備が必要になります。

(1) AirTVのセットアップを完了させておく

PART1の「AirTVをセットアップする」(p.14)をご覧ください、AirTVのセットアップを完了させて、AirTVの無線LANアクセスポイントと無線で通信できるようにしておいてください。

- (2) インターネット接続の設定を完了させておく
『はじめにお読みください』や電子マニュアル^①「パソコンガイド」^②「インターネットと電子メール」^③「インターネットの設定をする」をご覧になり、インターネット接続の設定を完了させておいてください。
- (3) AirTVの電源を入れておく
PART 1の「ACアダプタと電源ケーブルを接続する」(p.13)をご覧になり、AirTVの電源を入れておいてください。
- (4) パソコンやAirTVからLANケーブルを外しておく
パソコンやAirTVのLANコネクタにLANケーブルを接続している場合は、必ず外しておいてください。
- (5) ファイアウォール機能を無効にしておく
「PCGATE Personal」などのファイアウォールソフトが動作しているなど、パソコンのファイアウォール機能が有効になっているときは、この後の手順で設定が正しく行われないことがあります。設定をはじめる前に、必ずファイアウォールソフトを終了するか、ファイアウォール機能を無効にしてください。「PCGATE Personal」を起動している場合は、終了させてください。詳しくは、PART 1の「ファイアウォール機能を無効にする」(p.15)をご覧ください。

設定のステップ

詳しくは、この後の「インターネットに接続できるようにする」の「ルータを使ってインターネットに接続するときの設定方法」(p.138)をご覧ください。

1

「AirTV設定ツール」で、AirTVのテレビチューナのIPアドレスを自動取得できるように設定する



2

AirTVの無線LANアクセスポイントのIPアドレスの設定を変更する



3

AirTVのACプラグをコンセントから外して、AirTVの電源を切る



4 添付のLANケーブルを使って、ルータにAirTVを接続する



5 AirTVのACプラグをコンセントに差し込んで、AirTVの電源を入れる



6 パソコンの無線LANアダプタのIPアドレスを自動取得できるように設定する



7 ルータの設定を行う



8 インターネットに接続できるか確認する



9 「PCGATE Personal」を起動して、設定をやり直す
(「PCGATE Personal」を使用する場合のみ)

詳しくは、この後の「PCGATE Personal」の設定をやり直す (p.145) をご覧ください。

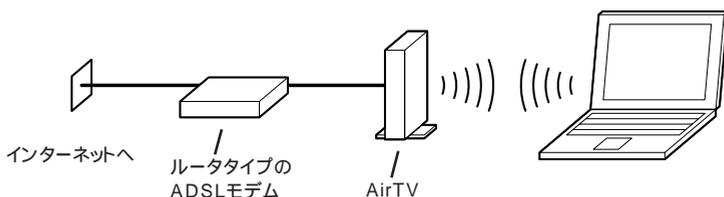
2台目以降のパソコン(他のパソコン)を無線でインターネットに接続できるようにする

「2台目以降のパソコンをインターネットに接続できるようにする」の「1台目のパソコン(このパソコン)でAirTVの無線LANアクセスポイントを使って無線でインターネットに接続している場合 (p.147) の手順で設定します。

ルータタイプのADSLモデムを使ってインターネットに接続しているとき(アッカ・ネットワークスやイー・アクセスなど)

ルータタイプのADSLモデムを使ってインターネットに接続するときは、添付のLANケーブルを使ってルータタイプのADSLモデムにAirTVを接続することで、AirTVの無線LANアクセスポイントを使って無線でインターネットに接続できるようになります。

：添付のLANケーブルはストレートタイプです。添付のLANケーブルで長さが足りないときは、市販のストレートタイプのLANケーブルを用意してください。



チェック

ここでは、まだAirTVをルータタイプのADSLモデムに接続しないでください。

設定をはじめる前の準備

「すでにルータを使ってインターネットに接続しているとき」の「設定をはじめる前の準備 (p.127)と同じ準備が必要になります。

設定のステップ

「ルータを使ってインターネットに接続するときの設定方法 (p.138)の操作を行います(説明文中のルータは、ルータタイプのADSLモデムに読み換えてください)。

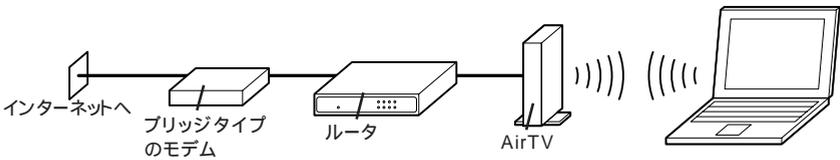
2台目以降のパソコン(他のパソコン)を無線でインターネットに接続できるようにする

「2台目以降のパソコンをインターネットに接続できるようにする」の「1台目のパソコン(このパソコン)でAirTVの無線LANアクセスポイントを使って無線でインターネットに接続している場合 (p.147)の手順で設定します。

DHCPサーバーによって1つのIPアドレス(または固定IPアドレス)が付与されるインターネット接続サービス(Yahoo!BBやCATVなど)を利用しているとき

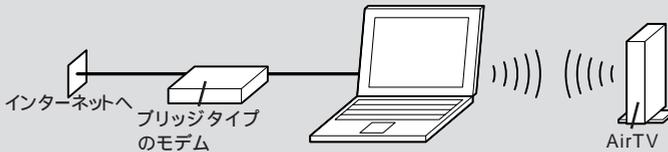
DHCPサーバーによって1つのIPアドレス(または固定IPアドレス)が付与されるインターネット接続サービス(Yahoo!BBやCATVなど)を利用しているときは、ブリッジタイプのADSLモデム(またはケーブルモデム)に市販のルータを接続¹し、添付のLANケーブル²を使ってルータにAirTVを接続することで、AirTVの無線LANアクセスポイントを使って無線でインターネットに接続できるようになります。

- 1: ストレートタイプのLANケーブルを用意してください。
- 2: 添付のLANケーブルはストレートタイプです。添付のLANケーブルで長さが足りないときは、市販のストレートタイプのLANケーブルを用意してください。



チェック

- ここでは、まだブリッジタイプのADSLモデム(またはケーブルモデム)とルータ、ルータとAirTVを接続しないでください。
- プロバイダによってはルータの使用を禁止していることがあります。あらかじめプロバイダにルータを使用できるかどうかお問い合わせください。ルータを使用できない場合は、この後の「パソコンにケーブルをつないでインターネットに接続するとき」(p.146)をご覧ください。添付のLANケーブルでブリッジタイプのモデムとパソコンを接続すれば、インターネットは有線で、テレビ番組は無線で楽しめるようになります。



設定をはじめる前の準備

「すでにルータを使ってインターネットに接続しているとき」の「設定をはじめる前の準備」(p.127)と同じ準備が必要になります。また、市販のルータとLANケーブル1本を用意する必要があります。

:ブリッジタイプのADSLモデム(またはケーブルモデム)とルータを接続するためのものです。ストレートタイプのLANケーブルを用意してください。

チェック

Yahoo!BBやCATVで、パソコンとブリッジタイプのADSLモデム(またはケーブルモデム)を直接接続してインターネットに接続していた場合は、パソコンからLANケーブルを外す前に、パソコンとブリッジタイプのADSLモデム(またはケーブルモデム)を直接接続した状態でパソコンのIPアドレスを解放する(プロバイダへIPアドレスを返す)必要があります(この操作を行わないと、ルータを接続した後プロバイダからIPアドレスを自動取得できません)。IPアドレスの解放のしかたは、PART8の「A ルータを接続する前に、パソコンに割り当てられているIPアドレスを解放しましたか?」(p.196)をご覧ください。

また、CATVの場合は、ケーブルモデムに記憶されたMACアドレス(ネットワーク機器に割り当てられている固有のアドレス番号)を消去するために、Windowsを終了してパソコンの電源を切った後、ケーブルモデムの電源を切って、30分程度放置しておく必要もあります(放置する時間は、ケーブルモデムの種類によって異なります)。

設定のステップ

「ルータを使ってインターネットに接続するときの設定方法」(p.138)の操作を行います。

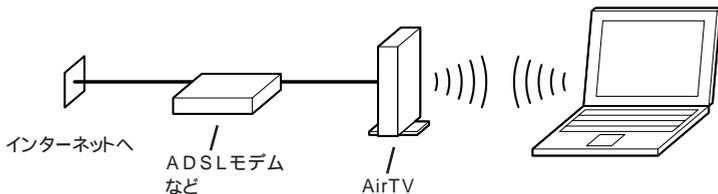
2台目以降のパソコン(他のパソコン)を無線でインターネットに接続できるようにする

「2台目以降のパソコンをインターネットに接続できるようにする」の「1台目のパソコン(このパソコン)でAirTVの無線LANアクセスポイントを使って無線でインターネットに接続している場合」(p.147)の手順で設定します。

PPPoEによるユーザー認証が必要なインターネット接続サービス(フレッツ・ADSLやBフレッツ、TEPCOひかりなど)を利用しているとき

PPPoEによるユーザー認証が必要なインターネット接続サービスを利用しているときは、添付のLANケーブルを使ってADSLモデムなどにAirTVを接続することで、AirTVの無線LANアクセスポイントを使って無線でインターネットに接続できるようになります。

: 添付のLANケーブルはストレートタイプです。添付のLANケーブルで長さが足りないときは、市販のストレートタイプのLANケーブルを用意してください。



チェック

ここでは、まだAirTVをADSLモデムなどに接続しないでください。

設定をはじめる前の準備

「すでにルータを使ってインターネットに接続しているとき」の 設定をはじめる前の準備 (p.127)と同じ準備が必要になります。

パソコン1台(このパソコン)のみでご使用の場合は、AirTVの設定を変更する必要はありません。

設定のステップ

1 添付のLANケーブルでAirTVをADSLモデムなどに接続する



2 パソコン側でPPPoE設定を行う

PPPoEによるユーザー認証が必要なプロバイダに接続する場合は、プロバイダから提供されるPPPoEツール(フレッツ接続ツールやFTTH接続ツールなど)をパソコンにインストールして(またはWindows XPのPPPoE機能を使って)プロバイダから通知されるユーザーIDやパスワード、ネームサーバー(DNSサーバー)アドレスなどを設定する必要があります(接続方法によって、設定する必要がない情報もあります)。設定を行う前にプロバイダの設定資料を用意してください。PPPoE設定のしかたは、モデムまたはPPPoEツールに付属のマニュアル、またはWindows XPのヘルプをご覧ください。



3 インターネットに接続できるか確認する

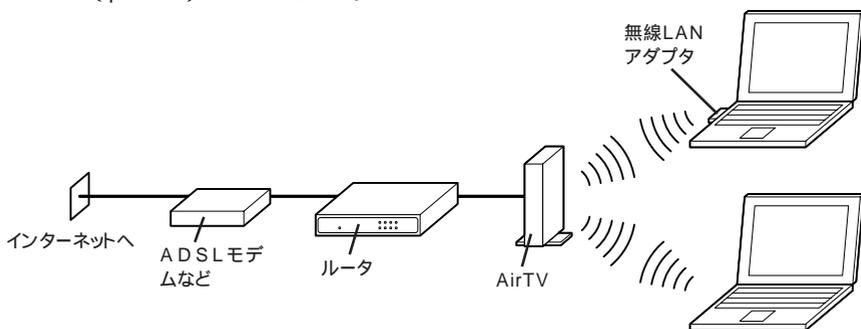


4 「PCGATE Personal」を起動して、設定をやり直す (「PCGATE Personal」を使用する場合のみ)

詳しくは、この後の「PCGATE Personal」の設定をやり直す (p.145) をご覧ください。

2台目以降のパソコン(他のパソコン)を無線でインターネットに接続できるようにする

2台目以降のパソコン(他のパソコン)をインターネットに接続できるようにするには、市販のルータが必要になります。詳しくは、この後の「2台目以降のパソコンをインターネットに接続できるようにする」の「1台目のパソコン(このパソコン)でAirTVの無線LANアクセスポイントを使って無線でインターネットに接続している場合 (p.147) をご覧ください。



1 AirTVのLANコネクタからLANケーブルを外し、市販のストレートタイプのLANケーブルでADSLモデムなどと市販のルータを接続する

市販のルータを用意するときは、ルータにPPPoEクライアント機能があることを確認してください。



2 1台目のパソコン(このパソコン)で、「ルータを使ってインターネットに接続するときの設定方法 (p.138) の操作を行う



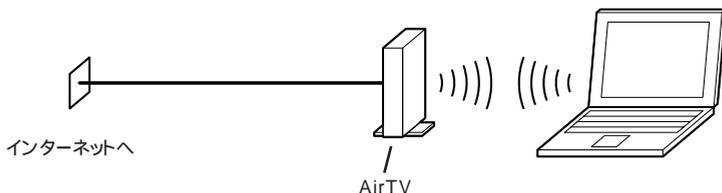
2台目以降のパソコン(他のパソコン)を無線でインターネットに接続できるように設定する

「2台目以降のパソコンをインターネットに接続できるようにする」の「1台目のパソコン(このパソコン)でAirTVの無線LANアクセスポイントを使って無線でインターネットに接続している場合(p.147)の手順で設定します。

接続先(プロバイダなど)のDHCPサーバーから3つ以上のIPアドレスを割り当ててもらえるとき

接続先(プロバイダなど)のDHCPサーバーから3つ以上のIPアドレスを割り当ててもらえるときは、添付のLANケーブルを使って壁などのLANコネクタにAirTVを接続することで、AirTVの無線LANアクセスポイントを使って無線でインターネットに接続できるようになります。

: 添付のLANケーブルはストレートタイプです。添付のLANケーブルで長さが足りないときは、市販のストレートタイプのLANケーブルを用意してください。



チェック

ここでは、まだAirTVを壁などのLANコネクタに接続しないでください。

設定をはじめる前の準備

「すでにルータを使ってインターネットに接続しているとき」の「設定をはじめる前の準備(p.127)と同じ準備が必要になります。

設定のステップ

「ルータを使ってインターネットに接続するときの設定方法(p.138)の操作を行います。

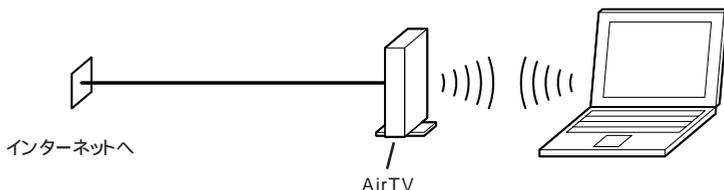
2台目以降のパソコン(他のパソコン)を無線でインターネットに接続できるようにする

「2台目以降のパソコンをインターネットに接続できるようにする」の「1台目のパソコン(このパソコン)でAirTVの無線LANアクセスポイントを使って無線でインターネットに接続している場合(p.147)の手順で設定します。

固定IPアドレスを3つ以上割り当てることができるとき

固定IPアドレス¹を3つ以上割り当てることができるときは、添付のLANケーブル²を使って壁などのLANコネクタまたはモデムにAirTVを接続することで、AirTVの無線LANアクセスポイントを使って無線でインターネットに接続できるようになります。

- 1: 固定IPアドレスについては、プロバイダまたはネットワーク管理者にお問い合わせください。
- 2: 添付のLANケーブルはストレートタイプです。添付のLANケーブルで長さが足りないときは、市販のストレートタイプのLANケーブルを用意してください。



チェック

ここでは、まだAirTVを壁などのLANコネクタに接続しないでください。

設定をはじめる前の準備

「すでにルータを使ってインターネットに接続しているとき」の「設定をはじめる前の準備」(p.127)と同じ準備が必要になります。

設定のステップ

詳しくは、この後の「インターネットに接続できるようにする」の「固定IPアドレスを割り当てることができる時の設定方法」(p.142)をご覧ください。

1 「AirTV設定ツール」で、AirTVのテレビチューナのIPアドレスを、接続先(プロバイダなど)から割り当てられた固定IPアドレスの1つに設定する



2 「AirTVアクセスポイント設定ツール」を起動し、AirTVの無線LANアクセスポイントのIPアドレスを、接続先(プロバイダなど)から割り当てられた固定IPアドレスの1つ(AirTVのテレビチューナとは重複しないIPアドレス)に設定する

設定のしかたは、付録の「AirTVの無線LANアクセスポイントの設定を変更する」(p.212)をご覧ください。



3

添付のLANケーブルで、壁などのLANコネクタまたはモデムにAirTVを接続する



4

パソコンの無線LANアダプタのIPアドレスを、接続先(プロバイダなど)から割り当てられた固定IPアドレスの1つ(AirTVのテレビチューナ、無線LANアクセスポイントと重複しないIPアドレス)に設定する



5

インターネットに接続できるか確認する



6

「PCGATE Personal」を起動して、設定をやり直す
(「PCGATE Personal」を使用する場合のみ)

詳しくは、この後の「PCGATE Personal」の設定をやり直す(p.145)をご覧ください。

2台目以降のパソコン(他のパソコン)を無線でインターネットに接続できるようにする

「2台目以降のパソコンをインターネットに接続できるようにする」の「1台目のパソコン(このパソコン)でAirTVの無線LANアクセスポイントを使って無線でインターネットに接続している場合(p.147)の手順で設定します。

さらにパソコンの無線LANアダプタや、AirTVごとに割り当てることができる固定IPアドレスをプロバイダなどから取得できる環境以外は、市販のルータが必要になります。

インターネットに接続できるようにする

ルータを使ってインターネットに接続するときの設定方法

- 1 「AirTV設定ツールで設定する (p.21) の手順1 ~ 手順6までを行う
- 2 「IPアドレスの設定」画面で、 ~ の順に設定する



「DHCPを使用する」の○をクリックして●にする

「次へ」をクリックする

- 3 「AirTV設定ツールで設定する (p.21) の手順9 ~ 手順15までを行う
- 4 付録の「AirTVの無線LANアクセスポイントの設定を変更する (p.212) の操作を行う

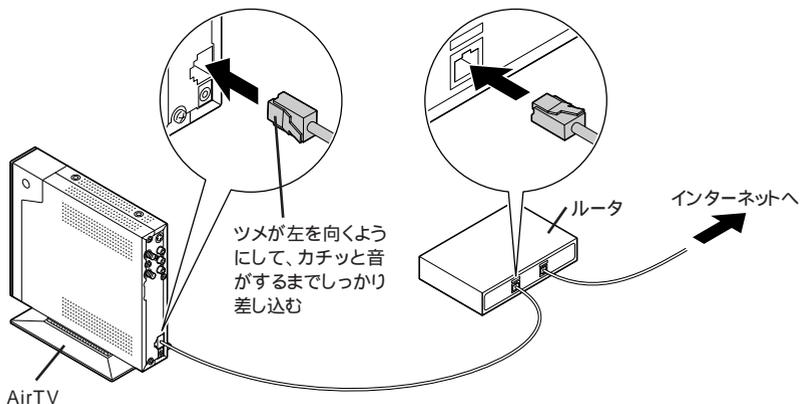
このとき、ルータのLAN側IPアドレスのネットワークアドレスが「192.168.0」以外(例「192.168.1」など)に設定されている場合は、付録の「AirTVの無線LANアクセスポイントの設定を変更する (p.212) の手順7で、AirTVの無線LANアクセスポイントに割り当てるIPアドレスを「192.168.1.XXX」(「192.168.1.111」など。XXXはルータに接続している他のパソコンなどと重複しない数値)に設定する必要があります。

◆メモ

ネットワークアドレスについて

IPアドレスは、ネットワークアドレスとホストアドレスで構成されています。例えば、IPアドレスが「192.168.0.1」の場合は、ネットワークアドレスは「192.168.0」となり、ホストアドレスは「1」になります。このとき、ネットワークアドレスが同じで、ホストアドレスが異なるIPアドレスを持つ機器同士(「192.168.0.123」と「192.168.0.124」、「192.168.1.123」と「192.168.1.124」など)は通信できます。

- 5 AirTVのACプラグをコンセントから外して、AirTVの電源を切る
ACプラグをコンセントから抜くと、AirTVの電源が切れます。
- 6 添付のLANケーブルを使って、ルータにAirTVを接続する



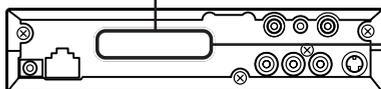
- 7 AirTVのACプラグをコンセントに差し込んで、AirTVの電源を入れる
ACプラグをコンセントに差し込むと、AirTVの電源が入り、AirTV本体右側面のPOWランプが点灯します。電源を入れてからAirTVの設定が有効になるまで約2～3分かかります。約2～3分経過した後、パソコンの無線LANアダプタに、IPアドレスが自動的に割り当てられるように設定します。
- 8 「スタート」「すべてのプログラム」「ワイヤレスクライアントマネージャ」をクリックする
「ワイヤレスクライアントマネージャ」が起動します。

- 9 「ネットワークの設定」をクリックし、一覧から「AirTV-XXXXXX」(XXXXXXは、AirTV本体背面に貼り付けられているシールに表記された、ESS-ID(無線ネットワーク名))のアイコンをクリックして、「編集」をクリックする



「AirTV-XXXXXX」をクリックする

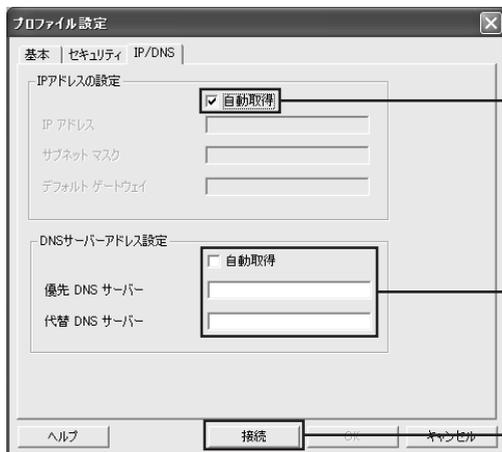
「編集」をクリックする



ここに表記されている「AirTV-XXXXXX」が表示されます

AirTVを横にして、背面から見たところ

- 10 「IP/DNS」タブをクリックして、表示される画面で ~ の順に設定する



「自動取得」の を にする

プロバイダあるいはネットワーク管理者からの指示にしたがって、「自動取得」をチェックするか、手動で設定値を入力する

「接続」をクリックする

11 ルータの設定を行う

利用するインターネット接続サービスにあわせて、次の機能を有効にして、ルータのインターネット(WAN)側のIPアドレスをプロバイダから自動取得できるように設定する必要があります。

- ・ DHCPサーバによってIPアドレス等を付与しているインターネット接続サービス(Yahoo!BBやCATVなど)を利用している場合「DHCPクライアント機能」を有効にする
- ・ PPPoEによるユーザー認証が必要なインターネット接続サービス(フレッツ・ADSLやBフレッツ、TEPCOひかりなど)を利用している場合「PPPoEクライアント機能」を有効にする

設定のしかたは、ルータに添付のマニュアルをご覧ください。

12 インターネットに接続できるか確認する

13 「PCGATE Personal」の設定を変更する(「PCGATE Personal」を使用する場合のみ)

詳しくは、この後の「PCGATE Personal」の設定をやり直す(p.145)をご覧ください。

固定IPアドレスを割り当てることができる時の設定方法

プロバイダから固定IPアドレスを割り当てられているときは、次の手順で設定を行います。

- 1 「AirTV設定ツールで設定する (p.21) の手順1～手順6までを行う
- 2 「IPアドレスの設定」画面で、～ の順に設定する

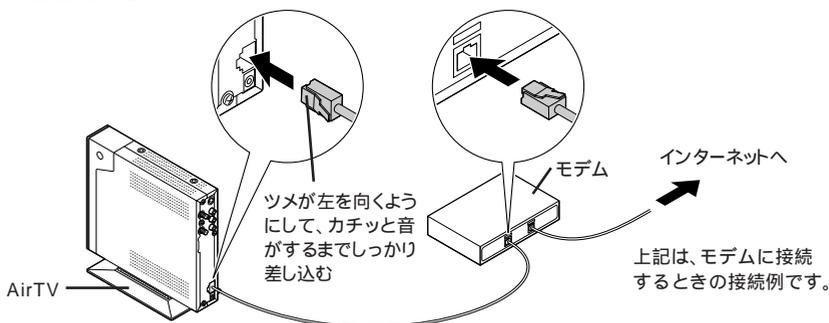


「DHCPを使用しない」の をクリックして にする

プロバイダから割り当てられた固定IPアドレスを入力する

「次へ」をクリックする

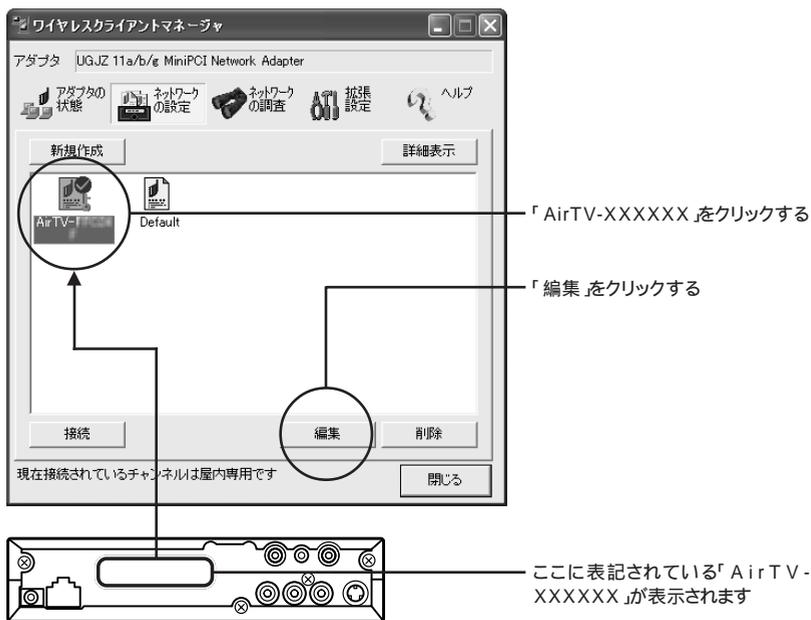
- 3 「AirTV設定ツールで設定する (p.21) の手順9～手順15までを行う
- 4 付録の「AirTVの無線LANアクセスポイントの設定を変更する (p.212) の操作を行う
このとき、AirTVの無線LANアクセスポイントのIPアドレスは、手順2で設定したAirTVのテレビチューナのIPアドレスと重複しないように設定する必要があります。
- 5 AirTVのACプラグをコンセントから外して、AirTVの電源を切る
ACプラグをコンセントから抜くと、AirTVの電源が切れます。
- 6 添付のLANケーブルを使って、壁などのLANコネクタまたはモデムにAirTVを接続する



ツメが左を向くようにして、カチッと音がするまでしっかり差し込む

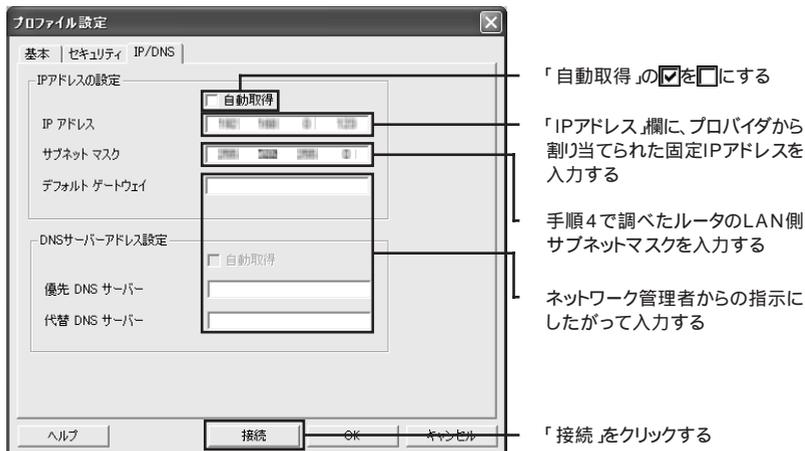
上記は、モデムに接続するときの接続例です。

- 7 AirTVのACプラグをコンセントに差し込んで、AirTVの電源を入れる
ACプラグをコンセントに差し込むと、AirTVの電源が入り、AirTV本体右側面のPOWランプが点灯します。電源を入れてからAirTVの設定が有効になるまで約2～3分かかります。約2～3分経過した後、パソコンの無線LANアダプタに、プロバイダから割り当てられた固定IPアドレスを手動で設定します。
- 8 「スタート」→「すべてのプログラム」→「ワイヤレスクライアントマネージャ」をクリックする
「ワイヤレスクライアントマネージャ」が起動します。
- 9 「ネットワークの設定」をクリックし、一覧から「AirTV-XXXXXX」(XXXXXXは、AirTV本体背面に貼り付けられているシールに表記された、ESS-ID(無線ネットワーク名))のアイコンをクリックし、「編集」をクリックする



AirTVを横にして、背面から見たところ

10 「IP/DNS」タブをクリックして、表示される画面で ~ の順に設定する



これで、パソコンの無線LANアダプタの設定は終了です。

11 インターネットに接続できるか確認する

12 「PCGATE Personal」の設定を変更する(「PCGATE Personal」を使用する場合のみ)

詳しくは、この後の「PCGATE Personal」の設定をやり直す (p.145)をご覧ください。

「PCGATE Personal」の設定をやり直す

この手順は、「PCGATE Personal」を使用する場合のみ行ってください。

インターネットに接続できることを確認したら、「PCGATE Personal」を起動して、ファイアウォール機能を有効にします。このとき、ルータにAirTVを接続して、ルータの設定に合わせてAirTVやパソコンの無線LANアダプタのIPアドレスの設定を変更した場合は、次の手順にしたがって、「PCGATE Personal」の設定をやり直す必要があります（AirTVやパソコンの無線LANアダプタのIPアドレスの設定を変更していない場合は、「PCGATE Personal」を起動するだけでファイアウォール機能が有効になります）。

ここでは、AirTVに接続している無線LANアダプタのIPアドレスが「192.168.1.123」となっている場合の設定方法を説明します。無線LANアダプタのIPアドレスの調べ方は、PART 8の「Q パソコンの無線LANアダプタのIPアドレスを知りたい」（p.198）をご覧ください。

1 「スタート」「すべてのプログラム」「PCGATE Personal」「PCGATE Personal」をクリックする

ここで「PCGATE Personalネットワークセキュリティウィザード」が表示された場合は、PART 1の「「PCGATE Personal」の設定を変更する」（p.35）の手順2～手順5を行うことで、「PCGATE Personal」の設定を完了できます。「PCGATE Personalネットワークセキュリティウィザード」が表示されなかった場合は、次の手順2以降の操作を行ってください。

2 PART 1の「「PCGATE Personal」の設定を変更する」の「「PCGATE Personalネットワークセキュリティウィザード」が表示されなかった場合」（p.36）の手順1～手順3を行い、手順4の「IPアドレス範囲の追加」画面で～の順に設定する

ゾーン	トラスト
開始IP アドレス	192 168 1 0
終了IP アドレス	192 168 1 255
説明	AirTV2

「ゾーン」欄が「トラスト」になっていることを確認する

「開始IP アドレス」欄に p.198 で調べたIPアドレスのホストアドレス（p.122）を「0」とした値を入力する

「終了IP アドレス」欄に p.198 で調べたIPアドレスのホストアドレス（p.122）を「255」とした値を入力する

「説明」欄に設定を識別させるための名前を入力する

「OK」をクリックする

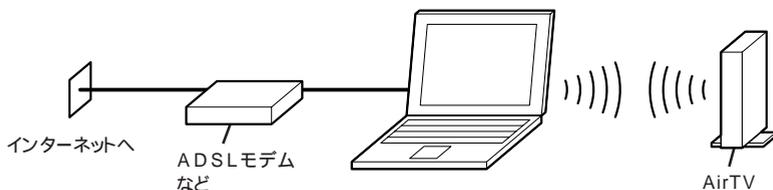
3 「適用」をクリックした後、をクリックして画面を閉じる これで「PCGATE Personal」の設定は終了です。

チェック

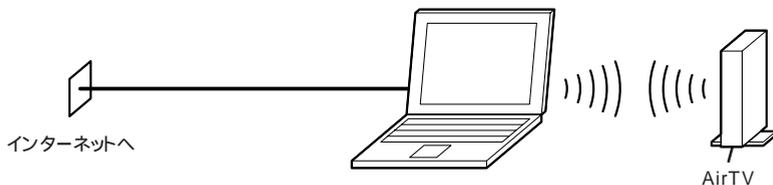
出荷状態では、「PCGATE Personal」は常駐していません(パソコンを起動するたびに、手動で「PCGATE Personal」を起動する必要があります)。パソコンを起動したときに自動的に「PCGATE Personal」を実行させる方法は、電子マニュアル「[ばそガイド](#)」インターネットと電子メール」「インターネットを使いこなす」「不正アクセスからパソコンを守るには」の「常にPCGATE Personalを使う」をご覧ください。

パソコンにケーブルをつないでインターネットに接続するとき

ADSL回線でLANコネクタがないADSLモデム(USBタイプのADSLモデムなど)を使ってインターネットに接続するときや、ISDN回線でTA(ターミナルアダプタ)を使ってインターネットに接続するときは、次のようにモデムやTA(ターミナルアダプタ)などにパソコンを接続します。



また、パソコン内蔵のモデムを使ってインターネットにダイヤルアップ接続するときや、インターネットマンションなどで壁などにLANコネクタがあるときは、次のようにパソコンをモジュラーコネクタやLANコネクタに直接接続します(壁などのLANコネクタには、添付のLANケーブルで接続します)。



このとき、インターネット接続にAirTVは使いません。インターネット接続の設定が完了していれば、そのままインターネットに接続できます。

ただし、ネットワークが正しく設定できていないと、テレビ番組を視聴できなくなったり、インターネットに接続できなくなることがあります。

モデムやTA(ターミナルアダプタ)をつないでインターネットに接続する場合は、モデムやTA(ターミナルアダプタ)とパソコン側で、インターネット接続に必要な設定を行います。詳しくは、モデムやTA(ターミナルアダプタ)、パソコンのマニュアルをご覧ください。

このパソコンのインターネット接続の設定方法については、電子マニュアル『パソコンガイド』「インターネットと電子メール」「インターネットの設定をする」をご覧ください。

2台目以降のパソコンをインターネットに接続できるようにする

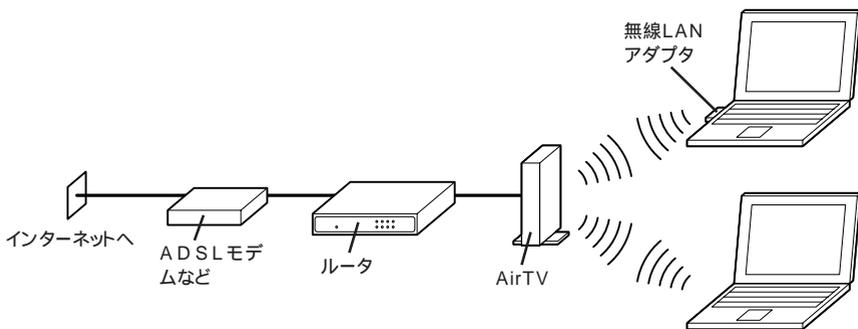
ここでは、AirTVを使っている環境で、2台目以降のパソコン(他のパソコン)をインターネットに接続できるようにする方法を説明します。

1台目のパソコン(このパソコン)のインターネットへの接続のしかたによって、2台目以降のパソコン(他のパソコン)をインターネットに接続できるようにするために必要な機器や設定は異なります。

1台目のパソコン(このパソコン)でAirTVの無線LANアクセスポイントを使って無線でインターネットに接続している場合

AirTVにルータ機能はないため、AirTVとADSLモデムとの間に、市販のルータが必要になります。

：ルータタイプのADSLモデムの場合、ルータ機能が内蔵されているため、市販のルータを用意する必要はありません。



ルータの用意ができたなら、次の手順で、2台目以降のパソコン(他のパソコン)を無線でインターネットに接続できるように設定します。

◆メモ

設定を行う前に、「ルータを使ってインターネットに接続するときの設定方法」(p.138)をご覧ください、あらかじめ1台目のパソコン(このパソコン)を無線でインターネットに接続できるようにしておいてください。



メモ

ここでは、2台目以降のパソコン(他のパソコン)で、AirTVの無線LANアクセスポイントを使って無線でテレビ番組を楽しむ方法は説明していません。2台目以降のパソコン(他のパソコン)でAirTVの無線LANアクセスポイントを使って無線でテレビ番組を楽しむ方法は、この後の「PART7 ネットワークでテレビを見る」(p.157)をご覧ください。

- 1 2台目以降のパソコン(他のパソコン)の無線LAN機能を有効にする
2台目以降のパソコン(他のパソコン)に無線LAN機能がない場合は、「IEEE802.11a」規格に対応した無線LANアダプタを取り付ける必要があります。「IEEE802.11b」規格または「IEEE802.11g」規格に対応した無線LANアダプタでは、AirTVと無線通信できません。
- 2 2台目以降のパソコン(他のパソコン)の無線LANアダプタのIPアドレスを自動取得できるように設定する
2台目以降のパソコン(他のパソコン)の無線LANアダプタのIPアドレスを自動取得できるように設定する方法は、お使いの無線LANアダプタやパソコンに添付のマニュアルなどをご覧ください。
- 3 2台目以降のパソコンの無線LANアダプタの暗号化(WEP)機能を有効にする
通常、暗号化(WEP)機能の設定は、無線LANアダプタに添付のソフトで行います。詳しくは、無線LANアダプタに添付のマニュアルをご覧ください。
AirTV本体背面に記載されている、WEPの右隣にある10桁の値を半角英数字で入力します。
- 4 2台目以降のパソコン(他のパソコン)でインターネットに接続できるか確認する

1台目のパソコン(このパソコン)でケーブルを接続してインターネットに接続している場合

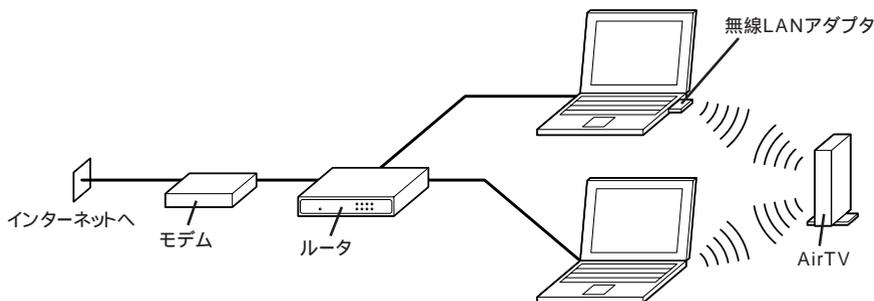
1台目のパソコン(このパソコン)で、ケーブルを接続してインターネットに接続しているときに、2台目以降のパソコン(他のパソコン)でインターネットに接続できるようにするには、次の2つの方法があります。

モデムと1台目のパソコン(このパソコン)の間に市販のルータを接続して、ルータに2台目以降のパソコン(他のパソコン)を接続する

ルータがある場合は、こちらの方法をおすすめします。このように接続することで、インターネットは有線で、テレビ番組は無線で楽しめるようになります。

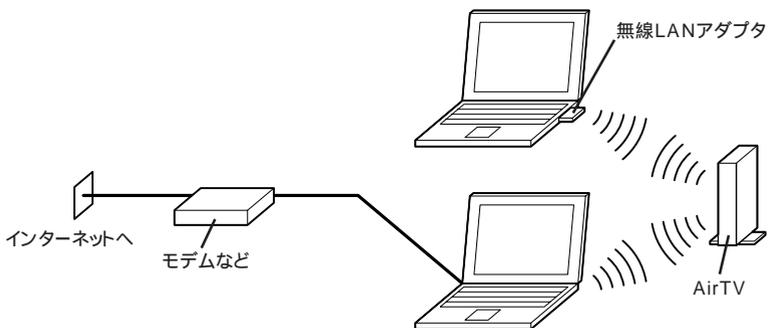
なお、あらかじめモデムとルータ、ルータとパソコンを接続するために、不足している分のストレートタイプのLANケーブルを用意しておく必要があります(パソコン2台でインターネットに接続するときには、3本のストレートタイプのLANケーブルが必要になります。添付のLANケーブルはストレートタイプであるため、残り2本のストレートタイプのLANケーブルが必要になります。

設定のしかたは、ルータに添付のマニュアルをご覧ください。



1台目のパソコン(このパソコン)でインターネット接続を共有できるように設定する

ルータがない場合は、Windows XPの「インターネット接続の共有」機能を使えば、2台目以降のパソコン(他のパソコン)でインターネットとテレビ番組を無線で楽しむようになります。



次の手順で、2台目以降のパソコン(他のパソコン)を無線でインターネットに接続できるように設定します。



メモ

ここでは、2台目以降のパソコン(他のパソコン)で、AirTVの無線LANアクセスポイントを使って無線でテレビ番組を楽しむ方法は説明していません。2台目以降のパソコン(他のパソコン)でAirTVの無線LANアクセスポイントを使って無線でテレビ番組を楽しむ方法は、この後の「PART7 ネットワークでテレビを見る」(p.157)をご覧ください。

- 1 1台目のパソコン(このパソコン)でインターネット接続を共有できるように設定する
詳しくは、この後の「インターネット接続を共有できるように設定する」(p.150)をご覧ください。
- 2 「1台目のパソコン(このパソコン)でAirTVの無線LANアクセスポイントを使って無線でインターネットに接続している場合」(p.147)の手順1～手順4の操作を行う
2台目以降のパソコン(他のパソコン)をインターネットに接続するときは、必ず1台目のパソコン(このパソコン)の電源を入れたままにしておいてください。また、2台目以降のパソコン(他のパソコン)を、インターネットに接続しているときにAirTV経由でテレビ番組を視聴すると、映像がスムーズに再生されなくなることがあります。この場合は、インターネット接続を終了することで改善されることがあります。

インターネット接続を共有できるように設定する

インターネット接続を共有するパソコン(このパソコン)の設定

- 1 「AirTVとパソコンを直接接続する」(p.155)の手順1～手順3を行い、パートナーPCの設定を解除する
このとき、「ネットワークアダプタの設定」画面が表示されますので、AirTVと接続しているネットワークアダプタ「UGJZ 11a/b/g～」を選びます。
- 2 「スタート」 「マイネットワーク」をクリックする
「スタート」メニューに「マイネットワーク」が表示されていない場合は、「スタート」ボタンを右クリックして「プロパティ」をクリックし、「カスタマイズ」をクリックし、「詳細設定」タブをクリックし、「[スタート]メニュー項目」欄の「マイネットワーク」をチェックしてください。
- 3 「マイネットワーク」画面左の「ホーム / 小規模オフィスのネットワークをセットアップする」をクリックする

- 4 説明を読んだら、「次へ」をクリックする
- 5 説明を読んだら、「次へ」をクリックする
- 6 「インターネットに直接接続している。ネットワークのほかのコンピュータはこのコンピュータ経由でインターネットに接続している」を  にし、「次へ」をクリックする
- 7 ADSLまたはCATVモデムからLANケーブルを接続しているLANアダプタを選び、「次へ」をクリックする
PPPoE接続を使用している場合は、「WANミニポート(PPPoE)」と表示されている接続を選んでください。
- 8 「使用しているコンピュータには複数の接続があります」と表示された場合は、「ネットワークへの接続を選択する」にチェックをし、「次へ」をクリックする
- 9 「ワイヤレスネットワーク接続」のみチェックし、他の接続のチェックをすべて外して、「次へ」をクリックする
- 10 「コンピュータの説明」と「コンピュータ名」を確認して「次へ」をクリックする
- 11 ワークグループ名を「WORKGROUP」と入力して「次へ」をクリックする
- 12 設定を確認して、「次へ」をクリックする
ここで設定のためしばらく時間がかかります。
- 13 「ほかのコンピュータでウィザードを実行する必要はない(ウィザード終了)」を  にし、「次へ」をクリックする
- 14 「完了」をクリックする
- 15 「AirTV設定ツールで設定する (p.21) の操作を行い、パートナPCの設定をする

インターネット接続の共有を利用するパソコン(他のパソコン)の設定

チェック

PART7で2台目以降のパソコン(他のパソコン)でテレビ機能を使う説明をしますが、Windows XP以外のパソコンで利用できるのはアクセスポイントの機能のみで、テレビ機能は使えません。

Windows XP/Me/98の場合

- 1 「スタート」メニューの「マイネットワーク」を右クリックし、「プロパティ」をクリックする
「スタート」メニューに「マイネットワーク」が表示されていない場合は、「スタート」ボタンを右クリックして「プロパティ」をクリックし、「カスタマイズ」をクリックし、「詳細設定」タブをクリックし、「[スタート]メニュー項目」欄の「マイネットワーク」をチェックしてください。
- 2 「ローカルエリア接続」アイコンを右クリックして、「プロパティ」をクリックする(Windows XPのみ)
- 3 「インターネットプロトコル(TCP/IP)」または「TCP/IP」をクリックして選び、「プロパティ」をクリックする
- 4 「全般」タブで「IPアドレスを自動的に取得する」(Windows Me/98の場合は、「IPアドレス」タブで「IPアドレスを自動的に取得」)を☑にし、「OK」をクリックする
- 5 Windowsを再起動する(Windows Me/98のみ)
これで、設定は完了です。なお、以前にダイヤルアップでインターネットに接続していた場合は、エクスプローラの設定を変更しておく必要があります。「エクスプローラ」を右クリックして「インターネットのプロパティ」をクリックし、「接続」タブの「ダイヤルしない」を☑にしてください。
- 6 インターネットに接続できるか確認する

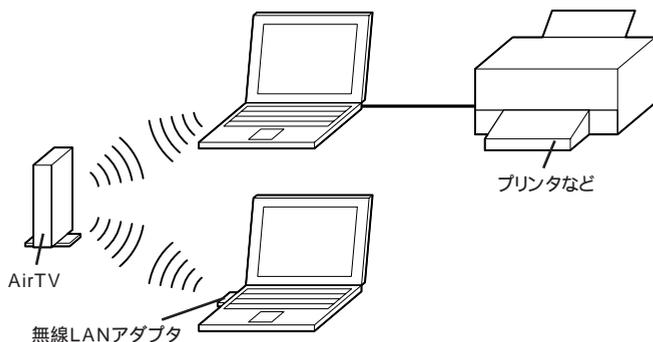
Windows 2000の場合

- 1 「マイネットワーク」アイコンを右クリックし、「プロパティ」をクリックする
- 2 「ローカルエリア接続」アイコンを右クリックして、「プロパティ」をクリックする
- 3 「インターネットプロトコル(TCP/IP)」をクリックして選び、「プロパティ」をクリックする
- 4 「全般」タブで「IPアドレスを自動的に取得する」を☑にし、「OK」をクリックする
- 5 以前にダイヤルアップでインターネットに接続していた場合は、デスクトップにある「Internet Explorer」アイコンを右クリックして「プロパティ」をクリックし、「接続」タブの「ダイヤルしない」を☑にする
- 6 Windowsを再起動する
- 7 インターネットに接続できるか確認する

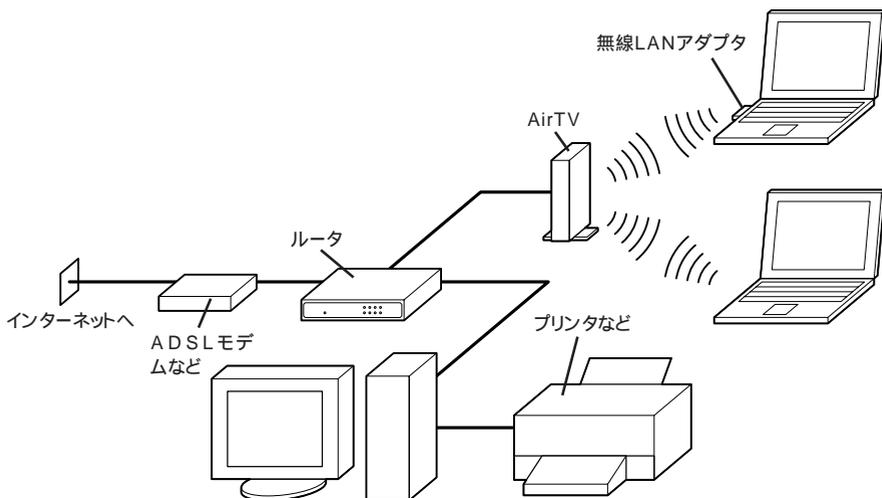
無線でプリンタやファイルを共有する

ここでは、無線LAN機能があるパソコン同士で、AirTVを経由して、無線でプリンタなどの周辺機器やファイルを共有する方法を説明します。

:パソコンが「IEEE802.11a」規格に対応している(またはパソコンに「IEEE802.11a」規格に対応した無線LANアダプタを取り付ける)必要があります。



なお、すでに有線LANにプリンタなどの周辺機器を接続しているときは、ルータにAirTVを接続することで共有できます。



無線でプリンタなどの周辺機器やファイルを共有できるようにする

1 パソコンの無線LAN機能を有効にする

パソコンに無線LAN機能がない場合は、市販の無線LANアダプタを取り付ける必要があります。このとき、パソコンまたは無線LANアダプタは「IEEE 802.11a」規格に対応している必要があります（「IEEE 802.11b」規格または「IEEE 802.11g」規格に対応した無線LANアダプタでは、AirTVと無線通信できません）。



2 AirTVの無線LANアクセスポイントに無線で接続できるように設定する

設定のしかたは、お使いの無線LANアダプタや、パソコンに添付のマニュアルなどで確認してください。このとき、次の順番と内容で設定してください。

パソコンの無線LANアダプタのIPアドレスを、AirTVに割り当てられているIPアドレス（購入時の状態では、テレビチューナに「192.168.0.110」、無線LANアクセスポイントに「192.168.0.111」と重複しない数値（「192.168.0.124」など）に設定する（AirTVをルータに接続していて、ルータのDHCPサーバ機能が有効になっているときは、この作業を行う必要はありません）。

ESSID（ネットワーク名）とWEP（暗号化）を、AirTVと同じ設定にする



3 プリンタなどの周辺機器やファイルを共有できるようにする

ファイルを共有するには、無線LANに接続しているいずれかのパソコンに共有フォルダを作り、共有したいファイルを共有フォルダに置きます。また、プリンタなどの周辺機器を共有したい場合は、プリンタなどの周辺機器を接続しているパソコンで共有できるように設定します。

このパソコンに共有フォルダを作ったり、このパソコンにプリンタをつないで共有するときは、電子マニュアル  『パソコンガイド』 『パソコンの設定』 『パソコンの機能』 『LANの設定』 をご覧になり、設定を行ってください。プリンタなどの周辺機器を共有するときは、あらかじめ周辺機器の電源を入れておきます。

AirTVとパソコンを直接接続する

AirTV経由でテレビ番組を視聴するときはAirTVの無線LANアクセスポイントに無線で接続しますが、AirTVのLANコネクタにLANケーブルを接続してもテレビ番組を視聴できます。

通常、添付のLANケーブルを使って市販のハブにAirTVを接続し、市販のストレートタイプのLANケーブルを使って、ハブとパソコンを接続しますが、パソコンとAirTVを直接接続するには、市販のクロスタイプのLANケーブルを使います。

このとき、すでにPART1の「AirTV設定ツールで設定する (p.21)」でパートナPCに設定している場合は、次の手順にしたがって、今まで利用していたネットワークに接続した状態でいったんパートナPCの設定を解除した後、新しいネットワークに接続し、パートナPCの設定を行う必要があります。

- 1 今まで利用していたネットワークにAirTVを接続した状態で、「AirTV設定ツールで設定する (p.21)」の手順3までを行う
- 2 「パートナの検出」画面で「パートナ登録」のをにして、「次へ」をクリックする
- 3 「はい」をクリックし、「パートナ登録の解除」画面で「完了」をクリックする
これでパートナPCの設定は解除されました。
- 4 今まで利用していたネットワークからAirTVを切り離れた(LANケーブルを外した)後、市販のクロスタイプのLANケーブルでAirTVとパートナPCの設定を解除したパソコンを接続する
- 5 「AirTV設定ツールで設定する (p.21)」の手順2までを行う
- 6 「ネットワークアダプタの設定」画面で「Inte(R)PRO/100 ~」をクリックして選び、「次へ」をクリックする
- 7 「AirTV設定ツールで設定する (p.21)」の手順3以降を行う
これでパートナPCの設定は完了です。

無線LANのセキュリティについて

無線LANでは、電波の届く範囲であればどこからでも第三者にデータを盗聴(傍受)されたり、「なりすまし」によりネットワークに不正アクセスされたりする危険性があります。こうした危険を回避するため、次のセキュリティ対策を組み合わせることをおすすめします。



メモ

- これらの設定は危険性をより低くするための手段であり、安全性を100%保証するものではありません。
- AirTVのアクセスポイントのセキュリティ設定は、「AirTVアクセスポイント設定ツール」を使って行います。詳しくは、付録の「アクセスポイントの詳細設定(p.204)をご覧ください。
- 無線LAN機器のセキュリティ設定は、無線LAN機器に添付のマニュアルで確認してください。

通信内容を暗号化して盗聴を防ぐWEP機能

WEP機能を使用して暗号キーを設定すると、同じ暗号キーを使用している無線LAN機器との通信内容を暗号化できます。ただし、暗号キーを設定していても、暗号キー自体を第三者に知られたり、暗号を解読されたりする可能性があるため、設定した暗号キーは定期的に変更することをおすすめします。AirTVの無線LANアクセスポイントは、「64bit WEP機能」、「128bit WEP機能」と「152bit WEP機能」に対応しています。購入時には、「64bit WEP機能」が有効になっています。

WEP機能の設定変更には、「AirTVアクセスポイント設定ツール」を使います。詳しくは、付録の「アクセスポイントの詳細設定(p.204)をご覧ください。

接続相手を限定するESSIDとMACアドレスフィルタリング

無線LANに接続している機器にネットワーク名(ESSID)を設定しておけば、同じESSIDを設定している機器とだけ接続されるようになります。どのようなESSIDを使用しているかは、他のパソコンからもそのままでは検出できてしまいます。これを回避するには、ESSIDを検出されないようにAirTVの設定をする必要があります。このほかに、無線LAN機器のMACアドレス(ネットワークアダプタに割り当てられる固有のアドレス)をAirTVにあらかじめ登録しておけば、接続できる機器を限定できます。これをMACアドレスフィルタリング機能といいます。

ESSIDを検出できないように設定したり、MACアドレスフィルタリングの設定をしたりするには、「AirTVアクセスポイント設定ツール」を使います。詳しくは、付録の「アクセスポイントの詳細設定(p.204)をご覧ください。

この他にも、使わないときは無線LAN機能をオフにすることで、セキュリティ効果が高まります。

P A R T

7

**ネットワークで
テレビを見る**

ゲストPC(他のパソコン)で テレビ番組を見るには

「パートナPC」と「ゲストPC」について

AirTVを経由してSmartVisionを使うパソコンには、「パートナPC」または「ゲストPC」の2種類があります。「パートナPC」と「ゲストPC」の違いは、次の通りです。

「パートナPC」とは

- ・ このパソコンのことを「パートナPC」と呼びます。
- ・ 「パートナPC」は、SmartVisionのすべての機能を利用できます。
- ・ 「パートナPC」の設定や操作については、PART1～6で説明しています。

「ゲストPC」とは

- ・ このパソコン以外でAirTVから映像配信を受けるパソコンのことを「ゲストPC」と呼びます。
- ・ 「ゲストPC」に設定できるパソコンは、AirTV1台に対して最大2台までです。
- ・ 「ゲストPC」は、SmartVisionの一部の機能のみ利用できます。利用できる機能については、この後の「ゲストPCで利用できるSmartVisionの機能」(p.165)をご覧ください。

「パートナPC」、「ゲストPC」の設定は、「AirTV設定ツール」(p.21)で行います。

ゲストPCの条件

ゲストPCは、次の条件を満たす必要があります。

- ・ CPU
インテル® Pentium® 4 およびPentium® 933MHz 以上
インテル® Celeron® 1.1GHz 以上、AMD Athlon™ 1.1GHz 以上
AMD Duron™ 1.1GHz 以上
- ・ メモリ
256Mバイト以上推奨
- ・ DirectX
Ver.8.X、Ver.9.0
- ・ VRAM容量
8Mバイト(16Mバイト以上推奨)
- ・ Webブラウザ(日本語版)
Microsoft® Internet Explorer5.01日本語版以降

- ・ 対象OS
Windows[®] XP Home Edition
Windows[®] XP Professional
- ・ LAN環境
LAN(100BASE-TX)
ワイヤレスLAN(IEEE802.11aでインフラストラクチャ接続)

チェック

- ・ このパソコンに添付されている「SmartVision 2.2n」以外の「Smart Visionソフトウェア(Ver2.1や2.0など)」ではAirTVのゲストPCとして利用できません。ゲストPCとして使う場合は、現在のSmartVisionをアンインストールしてから次ページの手順でインストールしてください。
なお、市販のSmartVisionのTVボードを装着しているまたはTVモデルパソコンの場合は、ゲストPCとしてインストールを行うと、内蔵のTVボードは利用できなくなります。
- ・ 100BASE-TX規格やIEEE802.11a規格の高速なLAN環境で利用してください。10BASE-T規格などの低速なLAN環境では、映像が乱れて視聴できません。
- ・ パートナPCで画質を「高画質」に設定していたり、「ユーザ設定」でビットレートを高く設定している場合はさらに高性能なCPUが必要となる場合があります。

ゲストPCでテレビを楽しむまでのステップ

「PART6 アクセスポイントを活用する (p.121)」で設定したネットワークに接続している他のパソコン(ゲストPC)でテレビ番組を視聴したり、録画したテレビ番組を再生したりできるようにするには、ゲストPCで次の準備が必要になります。

1 ゲストPCの無線LANの設定をする

PART6の「1台目のパソコン(このパソコン)でAirTVの無線LANアクセスポイントを使って無線でインターネットに接続している場合 (p.147)」の手順1～手順3の操作を行います。

同じネットワークであれば有線LANでもご利用いただけます。



2 ゲストPCの設定をする

ゲストPCに設定するパソコンに、このパソコンのハードディスクに入っている「SmartVision2.2n」をインストールして、「AirTV設定ツール」を使ってゲストPCに設定します。詳しくは、この後の「ゲストPCの設定をする (p.161)」をご覧ください。



3 SmartVisionを起動して、受信チャンネルの設定を行う

設定のしかたについては、PART1の「チャンネルと番組表の設定をする (p.27)」をご覧ください。ゲストPCでは、「チャンネルと番組表の設定をする (p.27)」の手順7～手順10の操作は行いません。

設定が終わったら

- ・ ゲストPCで、テレビ番組を視聴する
必要に応じて、画質調整を行ってください。設定方法は、SmartVisionのオンラインヘルプを参照してください。
- ・ パートナPCで録画したテレビ番組を、ゲストPCで再生する(p.165)
- ・ ゲストPCからパートナPCに録画予約する(p.170)

ゲストPCの設定をする



SmartVision以外のソフトが起動している場合は、インストールを行う前にそれらのソフトを終了させてください。

次の手順でゲストPCに設定します。

パートナPC(このパソコン)で行う設定

まず、このパソコンのハードディスクに入っている「SmartVision」のプログラムファイルを、ゲストPCに設定するパソコン(他のパソコン)から見られるように共有を行います。

- 1 「スタート」 「ファイル名を指定して実行」をクリックする
- 2 「名前」欄に「C:\¥APSETUP」と入力して、「OK」をクリックする
- 3 「AirTV」フォルダを右クリックし、表示されるメニューから「共有とセキュリティ」をクリックする
ここで、画面に「危険を認識した上で、ウィザードを使わないでファイルを共有する場合はここをクリックしてください。」と表示された場合は、この文字をクリックして、表示される画面で「ファイル共有を有効にする」を にして「OK」をクリックします。
- 4 「ネットワーク上でこのフォルダを共有する」を にして、「OK」をクリックする
「AirTV」フォルダのかたちが から に変わります。
- 5 「MGSERVER」フォルダも同様の手順で共有する
「MGSERVER」フォルダを共有するときは、手順4で「ネットワークユーザーによるファイルの変更を許可する」も にしてください。
パートナPC(このパソコン)で行う設定は、これで完了です。引き続きゲストPCで設定を行います。

ゲストPC(他のパソコン)で行う設定

続いて、ゲストPCに設定するパソコン(他のパソコン)で設定を行います。

- 6 「スタート」 「接続」 「すべての接続の表示」をクリックする
- 7 「ワイヤレスネットワーク接続」アイコンを右クリックし、「プロパティ」をクリックする
「ワイヤレスネットワーク接続のプロパティ」画面が表示されます。

- 8 「全般」タブをクリックし、「Microsoft ネットワーク用ファイルとプリンタ共有」がになっていることを確認して、「OK」をクリックする



ここがになっていることを確認する

「OK」をクリックする

「Microsoft ネットワーク用ファイルとプリンタ共有」が表示されていない場合は、「インストール」をクリックし、表示される画面で「サービス」をクリックして「追加」をクリックし、「Microsoft ネットワーク用ファイルとプリンタ共有」をクリックして「OK」をクリックすると、「Microsoft ネットワーク用ファイルとプリンタ共有」が表示されるようになります。表示されていることを確認した後、「閉じる」をクリックします。

- 9 ゲストPCに設定するパソコンで「スタート」の「マイコンピュータ」をクリックして、画面左の「マイネットワーク」をクリックする
- 10 画面左の「ワークグループのコンピュータを表示する」をクリックし、パートナーPCのアイコンをダブルクリックする

チェック

手順9で、パートナーPCとゲストPCに設定するパソコンでコンピュータ名が同じになっていると、パートナーPCのアイコンが表示されません。パートナーPCのコンピュータ名と別の名前に変更する必要があります。詳しくは、「PART8 AirTV Q&A」の「A コンピュータ名が他のパソコンと重複していませんか？または、ワークグループ名が他のパソコンと異なっていませんか？」(p.193)をご覧ください。

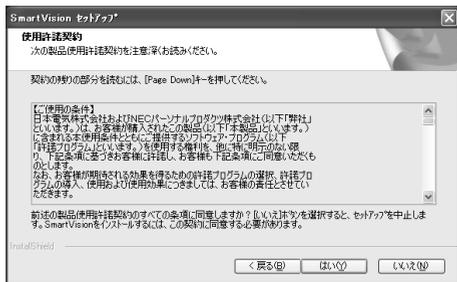
- 11 「AirTV」フォルダをダブルクリックし、「setup.exe」アイコンをダブルクリックする
 「SmartVisionのセットアップ」画面が表示されます。



チェック

ゲストPCのセットアップ中は、パートナPQ(このパソコン)で「SmartVision」を終了させておいてください。パートナPCで「SmartVision」が起動していると、ゲストPCのセットアップが正常に行えません。

- 12 「次へ」をクリックする
 使用許諾契約が表示されるので、必ずお読みください。



- 13 記載内容に同意する場合は、「はい」をクリックする
 「インストール先の選択」画面が表示されます。
- 14 「次へ」をクリックする
 「SmartVisionデータフォルダの指定」画面が表示されます。
- 15 「次へ」をクリックする
 問い合わせダイアログが表示されます。

16 「はい」をクリックする

インストールが実行されます。しばらくすると、次の画面が表示されます。



17 「完了」をクリックする

これで、「SmartVision」のインストールは完了です。しばらくすると、「AirTV設定ツール」が起動します。

18 「AirTV設定ツールで設定する (p.21) の手順3までの操作を行い、「AirTVの選択」画面で「ゲストPCとして使用」と表示されていることを確認して「次へ」をクリックし、「使用するAirTVに設定します。よろしいですか？」と表示されたら「はい」をクリックする

19 SmartVisionを起動して、受信チャンネルの設定を行う

SmartVisionをはじめて起動したときには、受信チャンネルの設定を行う必要があります。詳しくは、PART1の「チャンネルと番組表の設定をする (p.27) の手順1～手順5をご覧ください。

なお、ゲストPCでは、テレビ番組表データ(ADAMS-EPG)の設定は行いません。これで、ゲストPCの設定は終了です。

ゲストPCでテレビ番組を楽しむ

ここでは、ゲストPCでのテレビの楽しみ方を説明します。

ゲストPCで利用できるSmartVisionの機能

ゲストPCで利用できるSmartVisionの機能には、次のような制限事項があります。

- ・ ゲストPCのハードディスクに番組を録画したり、録画予約したりすることはできません。ゲストPCからパートナPCに対して録画予約することはできます。
- ・ テレビ番組をタイムシフトモード(p.46)で視聴できません。
- ・ パートナPC(またはゲストPC)でテレビ番組を視聴中に、別のゲストPCで現在放送中のテレビ番組を視聴することはできません。ただし、パートナPC(またはゲストPC)でSmartVisionを終了すると、SmartVision画面左のTVタブが有効になり、ここをクリックすることでテレビ番組を視聴できるようになります。
- ・ ゲストPCでテレビ番組を視聴中にパートナPCでSmartVisionを起動すると、パートナPCでのテレビ番組視聴が優先され、ゲストPCでのテレビ視聴が中断されます。ゲストPCでテレビ番組を視聴中に別のゲストPCでSmartVisionを起動しても、後からSmartVisionを起動したゲストPCでテレビ番組を視聴できません。
- ・ ゲストPCでSmartVision/SERVERを起動して、パートナPC(または別のゲストPC)に映像を配信することはできません。
- ・ ゲストPCでADAMSナビを使って、地上アナログデータ放送を受信することはできません。ADAMS-EPG+(Plus)のダウンロードやADAMS-EPGの蓄積もできません。

パートナPCで録画したテレビ番組を、ゲストPCで再生する

パートナPCのハードディスクに録画したテレビ番組をゲストPCで再生できるようにするには、次の順番で設定します。

1 パートナPCでDiXiM Media Server Toolの設定をする



2 パートナPCでSmartVision/SERVERの設定をする



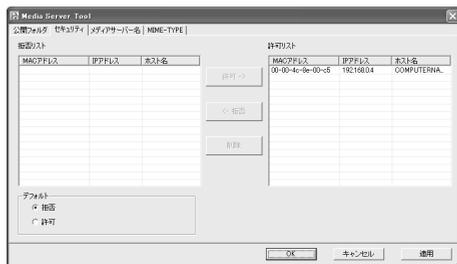
3 ゲストPCでSmartVisionの設定をする



4 録画した番組をゲストPCで再生する

パートナPCでDiXiM Media Server Toolの設定をする

- 1 「スタート」 「すべてのプログラム」 「DigiOn」 「DiXiM Media Server Tool」 をクリックする
「Media Server Tool」画面が表示されます。
- 2 「セキュリティ」タブをクリックする
- 3 「拒否リスト」に表示されているクライアントパソコンをクリックして、「許可」をクリックする
クライアントパソコンが「許可リスト」に移ります。
「セキュリティについて」の画面が表示された場合は、内容を読んで「はい」をクリックしてください。必要に応じて、「今後、このダイアログボックスを表示しない」をチェックしてください。



- 4 「OK」をクリックする



参照

DiXiM Media Server Toolについて MediaGarageのオンラインヘルプ

パートナPCでSmartVision/SERVERの設定をする

- 1 「スタート」 「すべてのプログラム」 「SmartVision」 「SmartVision-SERVER」をクリックする

「SmartVision/SERVER」画面が表示されます。



- 2 「サーバ名」欄にサーバ名を、「パスワード」欄にパスワードをそれぞれ入力し、ネットワークTV配信の設定を選んで、「OK」をクリックする
これで、パートナPCの設定は終了です。続いてゲストPCの設定を行います。

チェック

- ・ 特に必要がない限り、ポート番号は変更しないでください。変更する場合は、AirTVが使用している「7000」以外の数値を入力してください。
- ・ 「SmartVision/SERVER」が起動中は、休止状態やスタンバイ状態にできません。
- ・ ご利用のコンピュータにファイアウォールが設定されている場合、そのままではAirTVとは接続できません。PART8の「Q SmartVisionを起動後、青い「SmartVision」画面のまま画像が出ない (p.174) をご覧になり、ファイアウォールの設定を変更してください。

ゲストPCでSmartVisionの設定をする

- 1 ゲストPCでSmartVisionを起動する(「スタート」 「すべてのプログラム」 「SmartVision」 「SmartVision」をクリックする)
- 2 をクリックする
「設定ウィンドウ」が表示されます。
- 3 画面左のスクロールバーを下にドラッグして、 (ネットワークTV) をクリックする
- 4 「ネットワークTV機能を使用する」をにする
- 5 「詳細設定」欄の「パスワード」欄に、「パートナPCでSmartVision/SERVERの設定をする」(p.167)の手順3で設定したパスワードと同じものを入力する
- 6 「OK」をクリックする
これでゲストPCの設定は完了です。SmartVisionをいったん終了してください。再びSmartVisionを起動した後で、設定が有効になります。

録画した番組をゲストPCで再生する

ここまでの設定が終わったら、パートナPCのハードディスクに録画したテレビ番組を、ゲストPCで再生してみましょう。

- 1 パートナPCでSmartVision/SERVERを起動する(p.167)

チェック

パートナPCを複数のユーザーで使用している場合は、番組を録画したときのユーザーアカウントでログオンして、SmartVision/SERVERを起動してください。

- 2 ゲストPCでSmartVisionを起動し、 (VIDEOリスト) をクリックする
- 3 「ネットワーク」欄でパートナPCのサーバ名がついたアイコン をクリックする
パートナPCで録画した番組が一覧表示されます。
- 4 再生したい番組をダブルクリックする
番組の再生がはじまります。ゲストPCで再生をはじめると、パートナPCの通知領域に表示されている が に変わります。

チェック

- ・「パートナPCでSmartVision/SERVERの設定をする (p.167) の手順3でネットワークTV配信の設定を「配信優先」にしている場合、ゲストPCで再生中にパートナPCでSmartVisionは起動できません。パートナPCでSmartVisionを起動する操作は、ゲストPCでSmartVisionを終了し、パートナPCの通知領域に表示されているアイコンがに変わってから行うようにしてください。
- ・パートナPCで録画した番組をゲストPCで再生するときに、録画した番組のデータ量によっては、映像がスムーズに再生されなかったり、音飛びすることがあります(特に無線LANの場合)。この場合は、パートナPC側で録画時の画質のビットレートを下げて録画することをおすすめします。
- ・パートナPCで録画した番組を配信中にテレビ視聴すると、ゲストPCの映像がスムーズに再生されなかったり、音飛びすることがあります(特に無線LANの場合)。この場合は、配信を停止するか、またはパートナPCのテレビ視聴を終了させてください。

パートナPCでおまかせ録画した番組を、ゲストPCで再生する

パートナPCでおまかせ録画した番組をゲストPCで再生するには、パートナPCでおまかせ録画した番組が保存されているフォルダを、ゲストPCで次のように指定します。

- 1 「録画した番組をゲストPCで再生する (p.168) の手順1～3を行う
- 2 「フォルダ」欄で、 (おまかせ) をクリックする
- 3 再生したい番組をダブルクリックする
番組の再生がはじまります。

ゲストPCからパートナPCに録画予約する

「番組表」から予約する

- 1 ゲストPCでSmartVisionを起動する
- 2  (番組表) をクリックする
- 3 「ネットワーク」欄で、パートナPCのサーバ名がついたアイコン  をクリックする
パートナPCで取得している番組表が表示されます。
- 4 予約したい番組を選び、ダブルクリックする
- 5 予約情報を確認し、「OK」をクリックする

「予約&結果リスト」から予約する

- 1 ゲストPCでSmartVisionを起動する
- 2  (予約&結果リスト) をクリックする
- 3 「ネットワーク」欄で、パートナPCのサーバ名がついたアイコン  をクリックする
- 4 「新規予約」をクリックする
- 5 予約情報を入力し、「OK」をクリックする

P A R T

8

AirTV Q&A

テレビをうまく見ることができないときには

Q テレビが映らない、映りが悪い

A アンテナが接続されていない

アンテナを接続してください。接続については、PART1の「アンテナ線を接続する」(p.8)をご覧ください。

A チャンネルが設定されていない

チャンネルを設定してください。設定については、PART1の「チャンネルと番組表の設定をする」(p.27)をご覧ください。

A 他のソフトが起動している

「VideoStudio」WinDVD」など、映像を表示するソフトを同時に動作させることはできません。起動しているソフトをいったん終了させた後、使用したいソフトを起動してください。

A 入力モードが「VIDEO」になっている

切り換えタブ(p.42)の「TV」タブをクリックしてテレビ入力にしてください。

A 画面の解像度、色、リフレッシュレートの設定が適切でない

画面の解像度が高すぎたり、色が多すぎたり、リフレッシュレートが高すぎたりすると、映像が正しく表示されない場合があります。

! チェック

テレビを見る場合は、購入時の設定(解像度1,024×768ドット、色32ビット、リフレッシュレート60ヘルツ)にしておくことをおすすめします。

Q 音が出ない、音が大きすぎる

A スピーカの音量が適切でない

音量の調節については、『パソコン機能ガイド』PART1の「サウンド機能」をご覧ください。

A SmartVisionでの音量調節が適切でない

SmartVisionの「音声コントロール」の **+** または **-** をクリックし、音量を調節してください。また、ミュート(消音)に設定されていないか確認してください。ミュートになっている場合は、「音声コントロール」の **✕** をクリックすると、ミュートが解除されます。

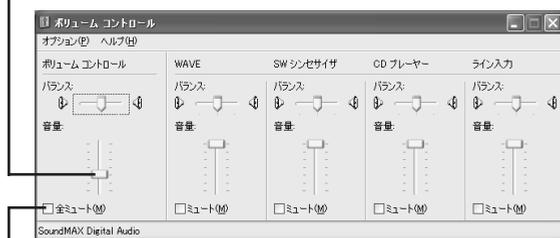
A リモコンまたは音量調節つまみの音量調節が適切でない

リモコンやパソコン本体の音量調節つまみ()で音量を調節してください。

A ミュート(消音)になっている

「スタート」→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「エンターテインメント」→「ボリュームコントロール」をクリックし、「全ミュート」が (オン) になっているときはクリックして (オフ) にしてください。

このつまみ(スライダー)を上下にドラッグして音量を調節します。



ここが (オン) になっていると音が出ません。音を出したいときはクリックして (オフ) にします。



SmartVisionを起動後、青い「SmartVision」画面のまま画像が出ない

ご利用のパソコンにWindowsのファイアウォールが設定されている場合、AirTVとは接続できません。

次の手順で設定を変更してください。

- 1 「スタート」 「コントロールパネル」 「ネットワークとインターネット接続」 「ネットワーク接続」 をクリックする
- 2 「ワイヤレスネットワーク接続」 アイコンをクリックして、左下に表示される詳細の中のIPアドレスを確認する
- 3 「ワイヤレスネットワーク接続」 アイコンを右クリックして、「プロパティ」 をクリックする
- 4 「詳細設定」 タブの「設定」 ボタンをクリックし、詳細設定画面を開く
- 5 「追加」 ボタンをクリックし、サービス設定画面を開く
- 6 「サービスの説明」 に「AirTV」と入力し、「ネットワークでこのサービスをホストしているマイコンピュータの名前またはIPアドレス」 に手順2で確認したIPアドレスを入力する
- 7 「UDP」 を選択し、「このサービスの外部ポート番号」と「このサービスの内部ポート番号」 にAirTVで使用する「ポート番号 + 1」 の値(ポート番号が「7000」の場合は、「7001」)を入力する
- 8 「OK」 ボタンをクリックし、設定した画面を閉じる
- 9 「OK」 ボタンをクリックし、詳細設定画面を閉じる
- 10 「OK」 ボタンをクリックし、接続のプロパティ画面を閉じる



パートナPCで録画した番組をゲストPCで再生すると黒画面となり映像が表示されない

Windowsのファイアウォールの設定が有効になっている場合、パートナPCで録画した番組をゲストPCで再生することができません。

次の手順で、ファイアウォールを解除してください。

なお、ファイアウォールを使用する場合は、このパソコンに入っている「PCGATE Personal」をご利用ください。「PCGATE Personal」の設定は、p.35またはp.145をご覧ください。

- 1 「スタート」コントロールパネル」ネットワークとインターネット接続」ネットワーク接続」をクリックする
- 2 「ワイヤレスネットワーク接続」アイコンを右クリックして、「プロパティ」をクリックする
- 3 「詳細設定」タブの「インターネット接続ファイアウォール」がになっている場合は、クリックしてにする
- 4 「OK」をクリックする



画面が時々止まる

次の手順でご確認ください。

- 1 「スタート」接続」すべての接続の表示」をクリックする
- 2 「ワイヤレスネットワーク接続」アイコンをダブルクリックする
「ワイヤレスネットワーク接続の状態」画面が表示されます。



上の画面で「速度:」が24Mbps以下のときや、「シグナルの強さ:」のアンテナバーの緑色に表示されている部分が2本以下のときは、画面が時々止まる場合があります。

この場合、「速度:」が36Mbps以上で、「シグナルの強さ:」のアンテナバーの緑色に表示されている部分が3本以上になる場所にパソコンを移動することで改善されることがあります。



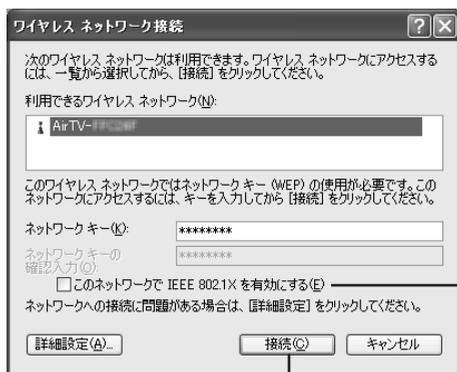
無線LANに接続してから、約2～3分経つとテレビ画面が停止する

A

WindowsXPの「ワイヤレスネットワーク設定」を使用していませんか？

次の手順で「このネットワークでIEEE 802.1Xを有効にする」を□にしてください。

- 1 「スタート」 「接続」 「すべての接続の表示」をクリックする
- 2 「ワイヤレスネットワーク接続」アイコンを右クリックし、「利用できるワイヤレスネットワークの表示」をクリックする
- 3 「ワイヤレスネットワーク接続」画面で、～の順に設定する



ここがになっているときは、クリックしてにする

「接続」をクリックする

次の方法でも、IEEE802.1Xを無効にできます。

- 1 「スタート」 「接続」 「すべての接続の表示」 をクリックする
- 2 「ワイヤレスネットワーク接続」 アイコンを右クリックし、「プロパティ」 をクリックする
- 3 「ワイヤレスネットワーク」 タブをクリックし、一覧から接続するネットワークを選び、「構成」 をクリックする
- 4 「AirTV-XXXXXXプロパティ」 画面で「認証」 タブをクリックし、～の順に設定する



ここが☑になっているときは、クリックして☐にする

「OK」 をクリックする

Q 映像がコマ落ちする

A 他のソフトが起動している

パソコンのCPU使用率が高くなるとコマ落ちが発生しやすくなります。他のソフトを終了してから、SmartVisionを起動してください。

A マカフィー・ウイルススキャンの設定を変更してください
次の手順でコマ落ちを軽減することができます。

- 1 通知領域にある **M** を右クリックする。
- 2 「VirusScan」「オプション」をクリックする。
- 3 「ActiveShield」タブの「詳細設定」をクリックする。
- 4 「スキャンするファイルタイプ」の「プログラムファイルと文書のみ」をチェックする。
- 5 「OK」をクリックする。
- 6 「OK」をクリックする。

A 字幕放送を受信する設定になっている

字幕放送を受信する設定にしていると、コマ落ちが発生する場合があります。映像を優先される場合は、以下の手順で字幕放送の設定を解除してください。

- 1 SmartVisionの  (設定) をクリックする。
- 2 「TV詳細」アイコンをクリックし、「データ放送 / 字幕」タブの「字幕放送を受信する」のチェックを外す。
- 3 「OK」をクリックする。

番組表が受信できないときや、 視聴 / 録画予約できないときには

Q 番組表が受信できない

A ADAMS放送が受信できていない

番組表はADAMS放送の1コンテンツとして受信されます。ADAMS放送が受信できることを確認してください。



参照

このPARTの「ADAMS」の内容が更新されない(p.189)

A アンテナが正しく接続されていない

アンテナの接続を確認してください。接続については、PART1の「アンテナ線を接続する(p.8)」をご覧ください。

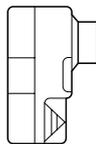
A アンテナの向きが悪い、またはアンテナとの接続が長すぎる

アンテナの向きを変えたり、アンテナとの接続を短くするなどの対策を行うと、受信状態が改善され、データの取りこぼしの頻度が低くなる場合があります。

A アンテナ線の接続に使用しているF型コネクタプラグの形状が適切でない

アンテナケーブルとAirTVの接続には、市販のネジタイプのF型コネクタプラグを使用してください。他のものでは、正しく受信できない場合があります。

F型コネクタプラグの種類



✗ 箱型など



○ ネジタイプ

A ケーブルとF型コネクタプラグの接触が悪くなっている

PART1の「ケーブルにF型コネクタプラグを取り付ける」(p.9)をご覧ください。F型コネクタプラグを正しく取り付けてください。

A テレビ電波の状態の悪い場所で使用している

地上アナログデータ放送のサービスを受けられる場所であっても、以下のようない場所では受信できないことがあります。

- ・ ゴースト(二重映り)が多い場所
- ・ 電波が弱い場所
- ・ 極端に電波が強い場所



チェック

電波が弱い場所で使用する場合は、ブースターを使用してください。また、ゴーストが多い場所で使用する場合は、ゴーストキャンセラーが必要です。ブースター、ゴーストキャンセラーの取り付けについては、お近くの電器店などにご相談ください。



Q 録画予約した番組が録画されていない

A 「結果リスト」で予約実行結果を確認してください

 「予約&結果リスト」をクリックし、「結果リスト」タブを表示します。「結果」の欄に実行結果が表示されます。予約録画が失敗すると「結果」の欄に **●失敗**が表示されます。**●失敗**が「結果」の欄に表示されている番組を選択するとエラー情報が表示されます(例: SmartVisionが起動していませんでした、ハードディスクの容量が足りませんでした)。

A パスワード設定が間違っている

予約を行ったときにパスワードが正しく設定されていなかった可能性があります。PART3の「テレビ番組を録画するための準備をする」(p.56)をご覧ください。パスワードが正しく設定されているかどうかを確認してください。

A パソコンの時計がずれている

SmartVisionの「時刻修正」を使ってパソコンの時計を正しい時刻に保ってください。



メモ

制限付きユーザーアカウントでログインした場合は「時刻修正」は使用できません。また、ゲストPCの場合も、「時刻修正」は利用できません。

- 1 SmartVisionを起動する(p.40)
- 2 画面右下の (設定) をクリックする
「設定ウィンドウ」が表示されます。
- 3 「TV詳細」アイコンをクリックし、「時刻修正」タブをクリックする
- 4 「設定」をクリックする



「時刻修正」の画面が表示されます。



チェック

「時刻修正を行う」が になっているときは、クリックして にしてください。

- 5 「受信チャンネル」欄からADAMS放送が放送されているチャンネルを選択して、「今すぐに修正する」をクリックする
受信が開始されます。
受信に成功すると「時刻修正が完了しました。」と表示されます。

6 「完了」をクリックする

7 「時刻修正ウィンドウ」の「完了」をクリックする

8 「設定ウィンドウ」の「OK」をクリックする



メモ

アンテナが接続されていない、ADAMS放送がされていない放送局が選択されていたなどの理由で受信できない場合は、受信を開始してから約70秒後に「時刻取得に失敗しました」と表示されます。



予約設定をしたらメッセージが表示された

次のようなメッセージが表示された場合は、p.56～p.58の手順でパスワードを設定してください。

パスワードを設定しておかないと、予約が正しく実行されません。



動画や静止画をうまく取り込めないときには

Q キャプチャできない

A ハードディスクの空き容量が不足している

ハードディスクの空き容量を確認してください。

ハードディスクに、キャプチャした画像を記録するのに十分な空き容量がないと、キャプチャできないことがあります。

ハードディスクの空き容量を増やす方法については、電子マニュアル『[ばそガイド](#)』『[トラブル解決](#)』『[Step 2 カテゴリー別Q&A](#)』『[ハードディスク](#)』『[Q ハードディスクの空き領域を増やしたい](#)』をご覧ください。



参照

動画キャプチャの制限 PART3の「録画について」(p.59)

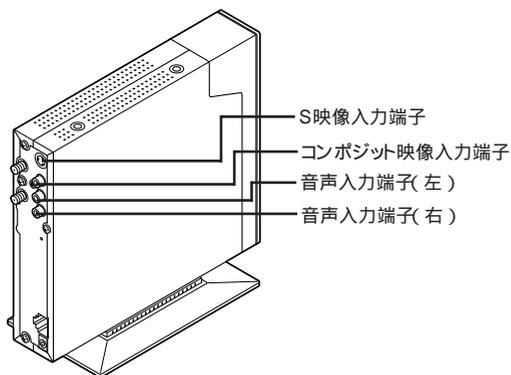
A AirTV本体と外部ビデオ機器が正しく接続されていない

外部ビデオ機器からの映像をキャプチャしたい場合は、AirTVと外部ビデオ機器の接続を確認してください。



参照

外部ビデオ機器の接続 PART5の「ビデオデッキやアナログビデオカメラを接続する」(p.107)または外部ビデオ機器のマニュアル





SmartVisionで音が出ない

「SmartVision」で音が出ないときには、次の手順にしたがって「ボリュームコントロール」の設定を行ってください。

- 1 「スタート」すべてのプログラム」アクセサリ」エンターテインメント」ボリュームコントロール」をクリックする
「ボリュームコントロール」が表示されます。
- 2 「オプション」メニューの「プロパティ」をクリックする
「プロパティ」が表示されます。
- 3 「プロパティ」の画面の「音量の調整」欄の「再生」の  をクリックして  にし、「表示するコントロール」欄で「ボリュームコントロール」と「WAVE」の をクリックして にし、「OK」をクリックする
- 4 「ボリュームコントロール」と「WAVE」の欄の「音量」のつまみを上下にドラッグして音量を調整する
- 5 「ボリュームコントロール」の「全ミュート」または、「WAVE」の「ミュート」が になっていたら、クリックして にする
- 6 設定が終了したら、 をクリックして「ボリュームコントロール」を閉じる



取り込んだ動画の画質が悪い



キャプチャするときの設定を変更してください

設定ウィンドウの「録画/再生/予約」録画/タイムシフト」タブの「画質」欄で「高画質」または「ユーザー設定」をクリックして画質のビットレートを調整してください。

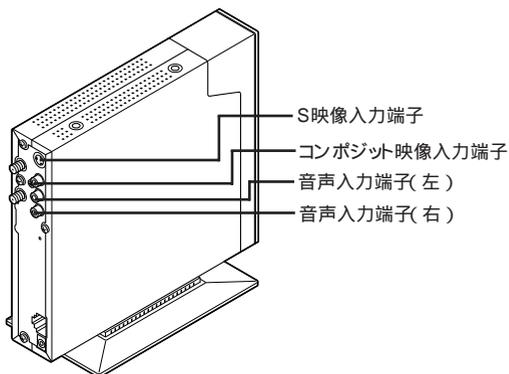
購入時の画質設定は、「標準画質」になっています。

CATV放送をうまく見ることができないときには

Q CATV放送が見られない

A CATVターミナルと正しく接続されていない

- ・ ケーブルを接続する前にAirTV本体や周辺機器の電源を切り、電源ケーブルを取り外してください。
- ・ S映像用ケーブルの場合はS映像入力端子に、映像用ケーブルの場合はコンポジット映像入力端子に接続してください。
- ・ ホームターミナル側の詳しい接続については、CATVホームターミナルに添付のマニュアルをご覧ください。またはご加入のCATV会社にお問い合わせください。



A**CATVが映らない**

CATVを表示させるには、次の手順で操作してください。

1 CATVホームターミナルの電源を入れる

ホームターミナルに家庭用テレビが接続されている場合は、正しく映像が表示されているか確認してください。

2 AirTVの電源を入れる**3** SmartVisionを起動する**4** 「TV」タブ(p.42)をクリックする**5** 「チャンネルコントロールで切り換える」(p.51)の手順で、チャンネルを「Line1」に切り換える

SmartVisionの画面にCATVの映像が表示されることを確認してください。

6 CATVのリモコンを使ってCATVホームターミナルのチャンネルを変更し、見たいチャンネルを表示する**チェック**

- ・ CATV放送はビデオ入力と同じ扱いになります。SmartVisionでCATVのチャンネルを変更することはできません。チャンネルを変更するときは、CATVホームターミナルのチャンネルを変更してください。
- ・ CATVをAirTVのビデオ入力として視聴する場合は、チャンネルとテレビ番組表の設定は必要ありません。また、オートスキャンをしてもチャンネルを設定することはできません。

地上アナログデータ放送をうまく 見ることができないときには

Q

地上アナログデータ放送が受信できない、または、データの取りこぼしができる

A

アンテナが正しく接続されていない

アンテナの接続を確認してください。接続についてはPART1の「アンテナ線を接続する」(p.8)をご覧ください。

A

アンテナの向きが悪い、またはアンテナとの接続が長すぎる

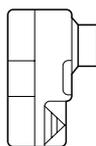
アンテナの向きを変えたり、アンテナとの接続を短くするなどの対策を行うと、受信状態が改善され、データの取りこぼしの頻度が低くなる場合があります。

A

アンテナ線の接続に使用しているF型コネクタプラグの形状が適切でない

アンテナケーブルとAirTVの接続には、市販のネジタイプのF型コネクタプラグを使用してください。他のものでは、正しく受信できない場合があります。

F型コネクタプラグの種類



✕ 箱型など



○ ネジタイプ

A

ケーブルとF型コネクタプラグの接触が悪くなっている

PART1の「ケーブルにF型コネクタプラグを取り付ける」(p.9)をご覧ください。F型コネクタプラグを正しく取り付けてください。

A テレビ電波の状態の悪い場所で使用している

地上アナログデータ放送のサービスを受けられる場所であっても、以下のよう
な場所では受信できないことがあります。

- ・ ゴースト(二重映り)が多い場所
- ・ 電波が弱い場所
- ・ 極端に電波が強い場所



チェック

電波が弱い場所で使用する場合は、ブースターを使用してください。また、
ゴーストが多い場所で使用する場合は、ゴーストキャンセラーが必要です。
ブースター、ゴーストキャンセラーの取り付けについては、お近くの電器店な
どにご相談ください。

A チャンネルが正しく設定されていない

設定を確認してください。設定方法については、PART1の「チャンネルと番組
表の設定をする (p.27)」をご覧ください。

A 地上アナログデータ放送を行っているチャンネルになっていない

放送局によっては、同じ系列の放送局であっても、地上アナログデータ放送を
行っていない局もあります。この場合は、地上アナログデータ放送を受信でき
ません。

地上アナログデータ放送を行っているかどうかについては、地元局に確認し
てください。



チェック

複数の放送局を同時に受信することはできません。また、データ放送の種別
ごとに別々の放送局を受信することはできません。

A 地上アナログテレビ放送以外のテレビ放送を利用している

「地上アナログテレビ放送以外のテレビ放送(ケーブルテレビ会社のテレビ放
送中継サービス)」では、地上アナログデータ放送の対応を行っていない場合
があり、地上アナログデータ放送が受信できなかったり、ソフトが正常に動作
しなかったりすることがあります。



チェック

ケーブルテレビをご利用の場合は、ADAMS放送等のデータ放送が受信可
能かどうか、ご利用のケーブルテレビ会社へお問い合わせください。

Q 「ADAMS」の内容が更新されない

A プリインストールコンテンツが表示されている

インターネットエクスプローラのアドレスに「...¥ADAMS-P¥preinstl¥index.html」と表示されている場合は、出荷時にハードディスク内に収められたサンプルページが表示されています。インターネットエクスプローラを終了させ、しばらく時間をおいてADAMSナビの更新状況を確認してから、ADAMSナビの「ADAMS」ボタンをクリックしてください。

A ADAMSナビの更新情報が新しくなっていない

ADAMS放送を受信すると、更新状況を確認したうえで「ADAMS」ボタンをクリックすると、インターネットエクスプローラが起動し、受信した最新情報が表示されます。



参照

更新情報 ADAMSナビの「ヘルプ」「NEC ADAMSナビ オンラインマニュアル」の「更新情報一覧」

A ADAMS放送を行っている放送局にチャンネルが合っていない

ADAMS放送を行っている放送局にチャンネルが合っていないと、ADAMS放送は受信されません。「メニューバー」の「チャンネル」でADAMS放送を行っている放送局にチャンネルを設定してください。

ADAMSナビを起動し、ADAMSインジケータがアニメーションで表示されている場合、正しくADAMS放送を受信しています。



参照

- ・ADAMS放送を受信できる放送局 PART1の「チャンネルと番組表の設定をする」(p.27)
- ・チャンネルの設定 PART1の「チャンネルと番組表の設定をする」(p.27)

AirTVとうまく通信できないときには

Q AirTVに接続できない(ワイヤレスクライアントマネージャでAirTVが表示されない)

A AirTVの電源は入っていますか？

PART1の「ACアダプタと電源ケーブルを接続する」(p.13)をご覧ください、正しく接続されているか確認してください。

A AirTVの電波の届く範囲に無線LAN機器を設置していますか？また、周囲に電波の障害となるものはありますか？

PART1の「安定した通信を行うために」(p.6)をご覧ください、設置場所を確認してください。

A パソコンの無線LAN機能は有効になっていますか？

パソコンのワイヤレススイッチがオンになっているか確認してください。また、ワイヤレスネットワーク接続が有効になっているか確認してください。Windows XPの場合、ワイヤレスネットワーク接続が有効になっているかどうかは、「スタート」>「接続」>「すべての接続の表示」をクリックして表示される画面で確認できます。「ワイヤレスネットワーク接続」の文字の下に「無効」と表示されている場合は、「ワイヤレスネットワーク接続」アイコンを右クリックして、「有効にする」をクリックしてください。

Q 「AirTV設定ツール」で「AirTVの検索」の結果「AirTVが見つかりませんでした...」と表示される

A インターネット接続のファイアウォール設定をしていませんか？

「Q SmartVisionを起動後、青い「SmartVision」画面のまま画像が出ない」(p.174)をご覧ください、インターネット接続ファイアウォールの設定を変更してください。

- A** 同じネットワークに接続している他のパソコンやAirTVに設定されているIPアドレスが、パソコンの無線LANアダプタのIPアドレスと重複していませんか？

同じネットワークに接続している機器のIPアドレスが重複していると、通信できません。AirTV本体には、購入時に2つのIPアドレス(テレビチューナには「192.168.0.110」、無線LANアクセスポイントには「192.168.0.111」)が設定されていますので、パソコンの無線LANアダプタのIPアドレスをこれらと重複しない数値(「192.168.0.123」など)に設定する必要があります。このパソコンの無線LANアダプタのIPアドレスを調べるには、「Q パソコンの無線LANアダプタのIPアドレスを知りたい」(p.198)をご覧ください。

- A** ESSID(ネットワーク名)やWEP(暗号化)の設定が、AirTVと異なっていませんか？

AirTVと無線通信するパソコンには、AirTVの無線LANアクセスポイントと同じSSIDを設定する必要があります。また、AirTVでWEP(暗号化)を有効にしている場合は、AirTVと無線通信するパソコンでもWEPを有効にする必要があります。購入時には、AirTVの無線LANアクセスポイントは、「64bit WEP」が有効になっています。

AirTVの無線LANアクセスポイントのSSIDやWEPの設定は、「AirTVアクセスポイント設定ツール」で確認できます。詳しくは、付録の「アクセスポイントの詳細設定」(p.204)をご覧ください。

また、AirTVの無線LANアクセスポイントの暗号化(WEP)設定を変更した場合は、必ずAirTVと通信する無線LAN機器の暗号化(WEP)設定をAirTVの無線LANアクセスポイントに合わせて変更してください。

- A** AirTV本体背面のリセットスイッチを押しつづけて、初期状態に戻りませんでしたか？

AirTV本体背面のリセットスイッチを押し続けて、AirTVを初期状態に戻したときは、AirTVの無線LANアクセスポイントに設定されているWEPは無効になります。このとき、パソコンの無線LANアダプタでWEPを設定していると、AirTVと無線通信できなくなります。

再びAirTVの無線LANアクセスポイントのWEPを有効にして、AirTVと無線通信できるようにするには、PART1の「リセットスイッチについて」(p.5)の「AirTVの無線LANアクセスポイントの暗号化(WEP)設定を有効にする方法」をご覧ください。

A 「PCGATE Personal」の設定は間違っていますか？

PART1の「PCGATE Personal」の設定を変更する (p.35) または「PCGATE Personal」の設定をやり直す (p.145) をご覧になり、「PCGATE Personal」が正しく設定されているか確認してください。

Q AirTVとパソコンの間の無線LAN接続が時々切れる

「Q 無線LANに接続してから、約2～3分経つとテレビ画面が停止する」 (p.176) をご覧になり、IEEE802.1Xを無効にしてください。

Q 映像がスムーズに再生されない、または音飛びする

A インターネットに接続していませんか？

テレビ番組を受信中に、インターネットに接続したり、データをダウンロードしたりすると、映像が途切れたり、一時停止することがあります。

A AirTVの無線LANアクセスポイントを使って無線で通信していませんか？

テレビ番組を受信中に、AirTVの無線LANアクセスポイントを使って、無線で他の無線LAN機能があるパソコンとデータをやり取りしたりすると、映像が途切れたり、一時停止することがあります。

A 録画した番組のビットレートが高すぎませんか？

パートナPCで番組を録画するときに、画質のビットレートを推奨範囲以上に設定していると、録画した番組がスムーズに再生されなかったり、音飛びすることがあります。

この場合は、パートナPC側で録画時の画質のビットレートを下げて録画することをおすすめします。画質のビットレートの設定は、設定ウィンドウの「録画 / 再生 / 予約」録画 / タイムシフト」タブの「画質」欄で設定できます。詳しくは、PART3の「録画について」 (p.59) をご覧ください。

A AirTVの電波が届く範囲内に無線LAN機能があるパソコンを設置していますか？または、AirTVと無線LAN機能があるパソコンとの間に電波の障害物はありませんか？

AirTVの電波が届く範囲内に無線LAN機能があるパソコンを設置していなかったり、AirTVと無線LAN機能があるパソコンとの間に電波の障害物があるときは、映像がスムーズに再生されなかったり、音飛びすることがあります。「Q 画面が時々止まる」(p.175)をご覧ください、無線LANの接続状態を確認して、AirTVの電波が届く範囲内にパソコンを設置し、周りに電波の障害物を置かないでください。

A 「PCGATE Personal」の設定は間違っていますか？

「PCGATE Personal」を起動しているときにAirTVに接続できず、「PCGATE Personal」を終了するとAirTVに接続できるようになる場合は、PART6の「PCGATE Personal」の設定をやり直す(p.145)または「PCGATE Personal」のヘルプをご覧ください、AirTVと無線通信できるように「PCGATE Personal」の設定を変更してください。

Q 他の無線LAN機能を持つパソコンと各種データを共有できない

A コンピュータ名が他のパソコンと重複していませんか？または、ワークグループ名が他のパソコンと異なっていませんか？

ネットワークに接続している他のパソコンと同じコンピュータ名を設定していると、通信できません。Windows XPの場合は、次の方法でコンピュータ名を変更できます。

- 1 「スタート」「マイコンピュータ」を右クリックし、「プロパティ」をクリックする
「システムのプロパティ」画面が表示されます。
- 2 「コンピュータ名」タブの画面で「変更」をクリックする
- 3 「コンピュータ名」欄に、他のパソコンと重複しないコンピュータ名を入力し、「OK」をクリックする
- 4 「OK」をクリックする

また、ネットワークに接続している他のパソコンと異なるワークグループ名を設定していると、ここに表示されません。

この場合、画面左の「MicrosoftWindowsNetwork」をクリックし、このパソコンのワークグループを選びます(このパソコンのワークグループ名は、購入時の状態で「WORKGROUP」に設定されています)。

または、次の手順でワークグループ名を確認し、必要に応じて変更してください。

- 1 上記の手順1～手順2の操作を行う
- 2 「ワークグループ」欄に、このパソコンと同じワークグループ名を入力し、「OK」をクリックする
- 3 「OK」をクリックする

A 共有データのアクセス権限が正しく設定されていますか？

Windows XP Professionalモデルで、共有フォルダにセキュリティ設定を行っている場合は、共有フォルダのアクセス許可の設定が正しくないと、他のパソコンから共有フォルダにあるファイルを読み書きできません(Windows XP Home Editionモデルでは、共有フォルダにセキュリティ設定をすることはできません)。

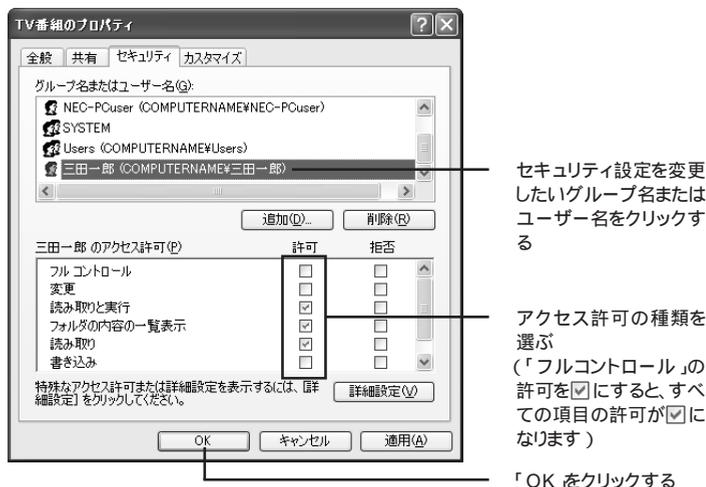
この場合、共有フォルダのセキュリティ設定を次のように変更してください。

- 1 共有フォルダを右クリックして、「共有とセキュリティ」をクリックする
- 2 「セキュリティ」タブをクリックして、次のように設定する

メモ

「セキュリティ」タブが表示されていないときは、次の手順で表示させてください。

- 1 「スタート」>「マイコンピュータ」をクリックする
- 2 「ツール」>「フォルダオプション」をクリックする
- 3 「表示」タブをクリックし、「詳細設定」欄にある「簡易ファイルの共有を使用する(推奨)」のをにして「OK」をクリックする
- 4 をクリックする



これで、共有フォルダのアクセス許可の設定は終了です。ここで設定を変更したユーザーで、共有フォルダ内のファイルを読み書きできるか確認してください。

Q インターネットに接続できない

A ルータの設定は間違っていないか？

ルータ(またはルータタイプのADSLモデム)を使ってインターネットに接続しているときは、ルータのIPアドレス(インターネット(WAN)側とLAN側)やLAN側サブネットマスク、ルータに接続しているパソコンに割り当てるIPアドレスの範囲にあわせて、パソコンのIPアドレスやサブネットマスクを設定していないと、インターネットに接続できません。

DHCPサーバによってIPアドレスなどが付与されるインターネット接続サービス(Yahoo!BBやCATVなど)を利用している場合は、ルータの「DHCPクライアント機能」を有効にし、PPPoEによるユーザー認証が必要なインターネット接続サービス(フレッツ・ADSLやBフレッツ、TEPCOひかりなど)を利用している場合は、ルータの「PPPoEクライアント機能」を有効にして、それぞれルータのインターネット(WAN)側のIPアドレスをプロバイダから自動取得できるように設定しないと、インターネットに接続できません。詳しくは、「PART6 アクセスポイントを活用する(p.121)」をご覧ください。

A ルータの設定を変更しませんでしたか？

AirTVをルータに接続して、AirTVの無線LANアクセスポイントを使って無線でインターネットに接続しているときに、ルータの設定を変更した場合は、AirTVのACプラグをコンセントから抜いてAirTVの電源を切り、約2～3分経った後で、再びAirTVのACプラグをコンセントに差し込んでAirTVの電源を入れることで、変更した内容が反映されます。

A ルータを接続する前に、パソコンに割り当てられているIPアドレスを解放しましたか？

Yahoo!BBやCATVでADSLモデム(またはケーブルモデム)とパソコンを直接接続してインターネットを利用していた場合、市販のルータを使ってインターネットに接続するには、ADSLモデム(またはケーブルモデム)とパソコンを接続した状態で、次のようにしてプロバイダからパソコンに割り当てられているIPアドレスを解放する(プロバイダにIPアドレスを返す)必要があります。

- 1 「スタート」 「すべてのプログラム」 「アクセサリ」 「コマンドプロンプト」をクリックする
「コマンドプロンプト」が起動します。
- 2 キーボードから「ipconfig」と入力し、【Enter】を押す
- 3 「IP Address」欄にプロバイダから自動取得したIPアドレスが表示されていることを確認した後、キーボードから「ipconfig /release」と入力して【Enter】を押す(「ipconfig」と「/release」の間は、半角1文字分空けます)
- 4 「IP address successfully released.....」と表示されたことを確認した後、「ipconfig」と入力して【Enter】を押す
- 5 「IP Address」欄が「0.0.0.0」になったことを確認した後、「exit」と入力して【Enter】を押す
これで、IPアドレスの解放は完了です。

その他



AirTVに正しく接続できているかどうか調べたい、使用していないIPアドレスを調べたい

AirTVに正しく接続できているかどうか調べたり、使用していないIPアドレスを調べるには、Windowsの「コマンドプロンプト」を使います。

- 1 「スタート」→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「コマンドプロンプト」をクリックする
「コマンドプロンプト」が起動します。

- 2 キーボードから「ping 192.168.0.111」（AirTVの無線LANアクセスポイントのIPアドレス）と入力し、【Enter】を押す
「ping」と入力した後に、半角1文字分のスペースを空けてIPアドレスを入力します。



メモ

PART1の「AirTV設定ツールで設定する（p.21）」で、AirTVのテレビチューナのIPアドレスを変更した場合は、手順2で入力する文字列のうち、「192.168.0.111」の部分は変更する必要があります。

次のような画面が表示されます。

```
コマンド プロンプト
Microsoft Windows XP [Version 5.1.2600]
(C) Copyright 1995-2001 Microsoft Corp.

C:\Documents and Settings\NEC-PCUser>ping 192.168.0.111

Pinging 192.168.0.111 with 32 bytes of data:

Reply from 192.168.0.111: bytes=32 time=2ms TTL=64
Reply from 192.168.0.111: bytes=32 time<1ms TTL=64
Reply from 192.168.0.111: bytes=32 time<1ms TTL=64
Reply from 192.168.0.111: bytes=32 time<1ms TTL=64

Ping statistics for 192.168.0.111:
    Packets: Sent = 4, Received = 4, Lost = 0 (0% loss),
    Approximate round trip times in milliseconds:
        Minimum = 0ms, Maximum = 2ms, Average = 0ms

C:\Documents and Settings\NEC-PCUser>
```

このとき、画面に「Reply from 192.168.0.111 ...」と表示された場合は、AirTVに正しく接続できています。

「Request timed out.」と表示された場合は、AirTVに正しく接続できていません。なお、上記の手順2で「ping」と入力した後に、半角1文字分のスペースを空けてパソコンの無線LANアダプタのIPアドレスに近い数値 例：パソコン

の無線LANアダプタのIPアドレスが「192.168.0.123」の場合は、「ping 192.168.0.124」のように)を入力し、【Enter】を押した場合にも「Request timed out.」と表示されますが、この場合は、そのIPアドレスは使われていません。



パソコンの無線LANアダプタのIPアドレスを知りたい



パソコンの無線LANアダプタに割り当てられているIPアドレスは、次の方法で調べることができます。

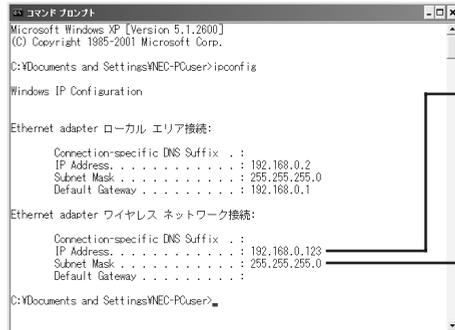
「スタート」→「接続」→「すべての接続の表示」をクリックし、「ワイヤレスネットワーク接続」の文字の上にマウスカーソルを移動させると、画面左下の「詳細」欄にパソコンの無線LANアダプタのIPアドレスが表示されます。また、サブネットマスクもここで確認できます。



ここにマウスカーソルを合わせると、

画面左下に、パソコンの無線LANアダプタのIPアドレスとサブネットマスクが表示されます。

また、「スタート」→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「コマンドプロンプト」をクリックし、キーボードから「ipconfig」と入力して【Enter】を押して表示される画面でも、パソコンの無線LANアダプタのIPアドレスとサブネットマスクを知ることができます。



パソコンの無線LANアダプタのIPアドレスは「Ethernet adapter ワイヤレス ネットワーク接続:」の下の「IP Address」の右に表示されます。

パソコンの無線LANアダプタのサブネットマスクは「Ethernet adapter ワイヤレス ネットワーク接続:」の下の「Subnet Mask」の右に表示されます。



パソコンの無線LANアダプタのMACアドレスを調べたい

パソコンの無線LANアダプタのMACアドレスを調べるには、Windowsの「コマンドプロンプト」を使います。

- 1 「スタート」→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「コマンドプロンプト」をクリックする
「コマンドプロンプト」が起動します。
- 2 キーボードから「ipconfig /all」と入力し、【Enter】を押す(「ipconfig」と「/all」の間は、半角1文字分空けます)
次のような画面が表示されます。

```
コマンド プロンプト
Host Name . . . . . : computername
Primary Dns Suffix . . . . . :
Node Type . . . . . : Unknown
IP Routing Enabled. . . . . : No
WINS Proxy Enabled. . . . . : No

Ethernet adapter ローカル エリア接続:

Media State . . . . . : Media disconnected
Description . . . . . : Intel(R) PRO/100 M Mobile Connection
Physical Address. . . . . : 00-00-00-00-00-00

Ethernet adapter ワイヤレス ネットワーク接続:

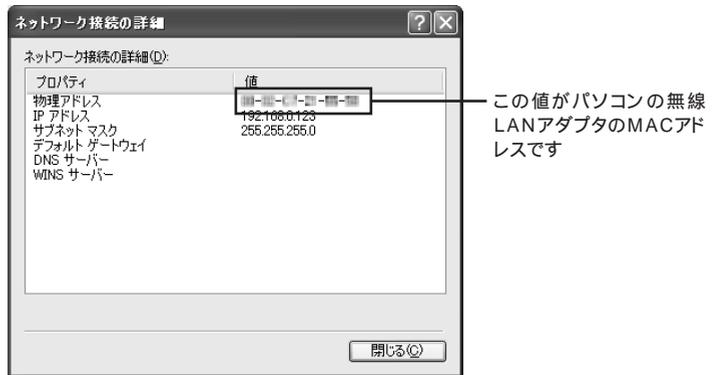
Connection-specific DNS Suffix . . . :
Description . . . . . : USJZ 11a/b/g MiniPCI Network Adapter
Physical Address. . . . . : 00-02-00-00-00-00
Dhcp Enabled. . . . . : No
IP Address. . . . . : 192.168.0.123
Subnet Mask . . . . . : 255.255.255.0
Default Gateway . . . . . :

C:\Documents and Settings\NEE-PCUser>
```

このとき、画面の「Ethernet adapter ワイヤレス ネットワーク接続」の下にある「Physical Address」の右に表示されている「** - ** - ** - ** - ** - **」(**には、半角英数字入る)がMACアドレスです。他の無線LAN機器のMACアドレスを調べるには、無線LAN機器のマニュアルをご覧ください(通常は、機器の側面などに記載されています)。

また、次の方法でもパソコンの無線LANアダプタのMACアドレスを調べることができます。

- 1 「スタート」 「接続」 「すべての接続の表示」 をクリックする
- 2 「ワイヤレスネットワーク接続」 アイコンをダブルクリックする
「ワイヤレスネットワーク接続の状態」 画面が表示されます。
- 3 「サポート」 タブをクリックし、「詳細」 をクリックする
「ネットワーク接続の詳細」 画面が表示されます。この画面に表示されている「物理アドレス」の右隣の値が、パソコンの無線LANアダプタのMACアドレスです。



Q 「ネットワークアダプタの設定」画面が表示された

A AirTVとパソコンをLANケーブルで接続していませんか？

AirTVと無線通信できる状態で、パソコンをLANケーブルで接続して、「AirTV設定ツール」を起動すると、途中で次の画面が表示されます。



AirTVの無線LANアクセスポイントに無線で接続する場合は「UGJZ 11a/b/g ~」を、AirTVとパソコンをLANケーブルで接続する場合は「Intel(R) PRO/100 ~」をクリックして選び、「次へ」をクリックしてください。このとき、すでにPART1の「AirTVをセットアップする (p.14)」でパートナPCに設定しているときに、ここで「Intel(R) PRO/100 ~」を選ぶなど、AirTVを他のネットワークに接続すると、パートナPCの設定が無効になります。

AirTVを他のネットワーク接続した後でも、パソコンのパートナPCの設定を有効にするには、PART6の「AirTVとパソコンを直接接続する (p.155)」をご覧ください。

また、無線LANから有線LAN、またはその逆など、AirTVと接続するLANアダプタを変更する場合は、必ず事前にパートナ設定を解除してください。その後、つなぎ変えたLANアダプタを選び、AirTVの設定を行うようにします。

付 録

AirTVの無線LANアクセスポイントの設定やファームウェアのバージョンアップ、仕様、購入時の設定、アフターケアに関することは、こちらをご覧ください。

アクセスポイントの詳細設定

「AirTVアクセスポイント設定ツール」を使うと、AirTV本体に内蔵されている無線LANアクセスポイントの設定を変更できます。「AirTVアクセスポイント設定ツール」は、Internet Explorerで表示できます。

「AirTVアクセスポイント設定ツール」を起動する

- 1 Internet Explorerを起動する
- 2 「アドレス」欄に「http://192.168.0.111/」と半角英数字で入力して、「移動」をクリックする
次の画面が表示されます。



メモ

パートナーPCに設定したパソコンでは、「AirTV設定ツールで設定する」(p.21)の手順13までを行い、「アクセスポイントの設定」画面で「接続」をクリックして「AirTVアクセスポイント設定ツール」を起動することもできます。

チェック

「AirTVアクセスポイント設定ツール」の「基本設定」画面 (p.206) で、AirTVの無線LANアクセスポイントのIPアドレスを変更した場合は、手順2で「アドレス」欄に入力する文字列のうち、「192.168.0.111」の部分は変更する必要があります。

- 3 「ユーザー名」欄に「admin」、「パスワード」欄に「public」と半角英数字で入力して、「OK」をクリックする(「パスワード」欄には、「*****」と表示されます)

チェック

- ・「AirTVアクセスポイント設定ツール」での設定は、パートナPCのみで行ってください。
- ・ユーザー名やパスワードは、「AirTVアクセスポイント設定ツール」で変更できます。詳しくは、「基本設定」画面 (p.206)をご覧ください。

「AirTVアクセスポイント設定ツール」画面が表示されます。



- 4 「AirTV」のタイトル部分または、下の画面をクリックする
「AirTVアクセスポイント設定ツール」の画面が表示されます。



画面左の「目次」の下に表示されている文字をクリックして表示される画面で、AirTVの各項目の設定を確認したり、変更したりできます。

「基本設定」画面

この画面では、AirTVの無線LANアクセスポイントが無線で通信するときに必要なネットワーク名(ESSID)や使用する無線チャンネルなどを設定できます。



変更した設定値を登録するには、ここをクリックします。

設定項目について知りたいときは、ここをクリックします。

設定ボタンをクリックした後でここをクリックすると、AirTVが再起動した後で設定値が有効になります。

AirTVの無線LANアクセスポイントのIPアドレスとサブネットマスクが表示されます。初期状態ではIPアドレスは「192.168.0.111」に、サブネットマスクは「255.255.255.0」に設定されます。お使いの環境に合わせて設定を変更できます。

AirTVの無線LANアクセスポイントのIPアドレスを変更すると、次回以降「AirTVアクセスポイント設定ツール」を起動するときに、変更したIPアドレスが必要になります。忘れないように下のIPアドレス記入欄に新しく設定したIPアドレスを記入しておくことをおすすめします。

IPアドレス: . . .

また、サブネットマスクも忘れないように記入しておくことをおすすめします。

サブネットマスク: . . .

出荷時には、管理者名(ユーザー名)には「admin」が、管理者パスワードには「public」が設定されています。無線LANでは外部から不正にアクセスされる可能性が高まるため、管理者名と管理者パスワードを変更することをおすすめします。

チェック

- 管理者名(ユーザー名)または管理者パスワードを変更した後、**設定** (設定ボタン)をクリックすると、ユーザー名とパスワードを入力する画面が表示されますので、変更後のユーザー名とパスワードを入力して「OK」をクリックしてください。
- [ワイヤレス環境設定]の「ネットワーク参照の拒否」をにした場合、AirTVの無線LANアクセスポイントを使ってテレビを見るときに、テレビ番組がスムーズに再生されないことがあります。この場合は、画質のビットレートを下げてください。画質のビットレートの設定は、設定ウィンドウの「録画 / 再生 / 予約」 「録画 / タイムシフト」タブの「画質」欄で設定できます。

「暗号化(WEP)設定」画面

無線LANの通信内容を暗号化するWEP機能を設定できます。無線LANでは、外部から不正にアクセスされる可能性が高まるため、WEP機能を有効にしておくことをおすすめします。

チェック

WEP機能が有効になっている場合、AirTVの無線LANアクセスポイントと無線で通信する機器で暗号化キーが一致しないと通信できなくなるため、注意が必要です。ここで暗号化(WEP)の設定を変更した場合は、必ずAirTVの無線LANアクセスポイントと通信する無線LAN機器の設定も同じように変更してください。



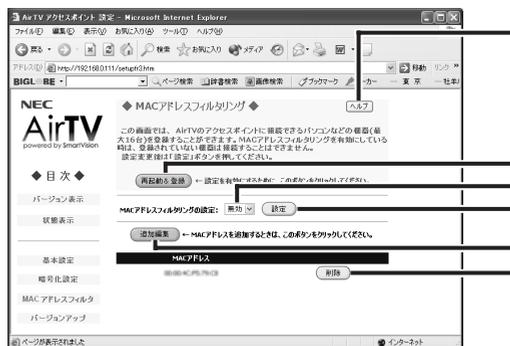
変更した設定値を登録するには、ここをクリックします。

設定項目について知りたいときは、ここをクリックします。

設定ボタンをクリックした後でここをクリックすると、AirTVが再起動した後で設定値が有効になります。

「MACアドレスフィルタリング」画面

不特定多数のパソコンからの接続を防ぐことができるようにするために、AirTVの無線LANアクセスポイントに接続できる無線LAN機器を、最大16台まで登録できます。登録されていない無線LAN機器は、AirTVの無線LANアクセスポイントに接続できなくなります。



設定項目について知りたいときは、ここをクリックします。

設定ボタンをクリックした後でここをクリックすると、AirTVが再起動した後で設定値が有効になります。

MACアドレスフィルタリングの設定を行うときは、ここを有効にします
変更した設定値を登録するには、ここをクリックします。

AirTVの無線LANアクセスポイントに接続できる無線LAN機器を追加したいときは、ここをクリックして表示される画面で無線LAN機器のMACアドレスを入力した後、「登録」をクリックします。

登録したMACアドレスを削除したいときは、ここをクリックします。

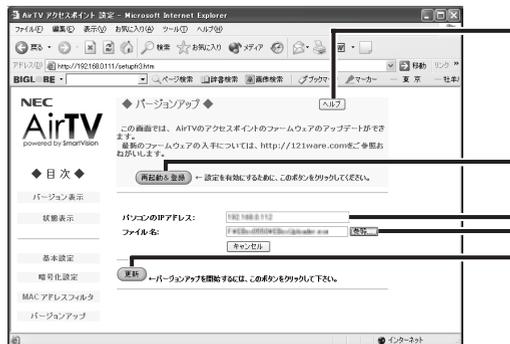
チェック

のMACアドレスフィルタリングを「有効」に設定した状態で、MACアドレスを入力しなかったり、間違ったMACアドレスを入力した場合は、無線LANに接続できなくなりますので、注意してください。

もし、設定を間違えて無線LANに接続できなくなった場合は、AirTV本体背面のリセットスイッチを押してAirTVを購入時の状態に戻すことができます。ただし、リセットスイッチを使ってAirTVを購入時の状態に戻すと、AirTVの暗号化(WEP)設定が無効になり、暗号化(WEP)設定を有効にしているパソコンや無線LAN機器と通信できなくなるため、AirTVの暗号化(WEP)設定を有効にする必要があります。詳しくは、PART1の「リセットスイッチについて」(p.5)をご覧ください。

「バージョンアップ」画面

AirTVの無線LANアクセスポイントのファームウェアをアップデートできます。最新のファームウェアがあるときは、NECのパーソナル商品総合情報サイト「121ware.com」(ワントゥワンウェアドットコム)から入手できます。



設定項目について知りたいときは、ここをクリックします。

設定ボタンをクリックした後でここをクリックすると、AirTVが再起動した後で設定値が有効になります。

ファームウェアをアップデートを行うパソコンのIPアドレスをここに入力します。

ここをクリックして表示される画面でファームウェアのファイル名を指定します。上記のとを設定した後でここをクリックすると、ファームウェアのアップデートがはじまります。

「バージョン表示」画面

AirTVの無線LANアクセスポイントに設定されているファームウェアのバージョンが表示されます。



「状態表示」画面

AirTVの無線LANアクセスポイントとAirTVの無線LANアクセスポイントと通信している無線LAN機器のMACアドレスおよび通信状態が表示されます。



AirTVの無線LANアクセスポイントの設定を変更する

インターネットに接続するときルータを使う場合は、次の手順でAirTVの無線LANアクセスポイントに割り当てられているIPアドレスの設定を変更する必要があります。

チェック

- ・手順1～手順3は、AirTVのセットアップが終わった後で、AirTVをルータに接続しているなど、AirTVを他のネットワークに接続しているときに必要な作業です。通常は、手順4から操作してください。
- ・手順2～手順3は、ルータにAirTVを接続して行ってください。

- 1 パソコンの無線LANアダプタのIPアドレスとサブネットマスクを調べる
PART8の「Q パソコンの無線LANアダプタのIPアドレスを知りたい」(p.198)をご覧ください。
- 2 使用していないIPアドレスを調べる
PART8の「Q AirTVに正しく接続できているかどうか調べたい、使用していないIPアドレスを調べたい」(p.197)をご覧ください。
- 3 ルータのDHCPサーバ機能が有効になっていることを確認する
ルータのDHCPサーバ機能が有効かどうかを確認する方法は、ルータに添付のマニュアルをご覧ください。
- 4 AirTVをルータに接続している場合は、AirTVのLANコネクタからLANケーブルを外す
- 5 パソコンの無線LANアダプタのIPアドレスを「192.168.0.XXX」(XXXは、AirTVのIPアドレスと重複しない数値)に設定する
パソコンの無線LANアダプタのIPアドレスを設定する方法は、PART1の「無線LANの設定を変更する」(p.17)をご覧ください。AirTVには、購入時にテレビチューナに「192.168.0.110」、無線LANアクセスポイントに「192.168.0.111」が設定されています。

メモ

ネットワークアドレスについて

IPアドレスは、ネットワークアドレスとホストアドレスで構成されています。例えば、IPアドレスが「192.168.0.1」の場合は、ネットワークアドレスは「192.168.0」となり、ホストアドレスは「1」になります。このとき、ネットワークアドレスが同じで、ホストアドレスが異なるIPアドレスを持つ機器同士(「192.168.0.123」と「192.168.0.124」、「192.168.1.123」と「192.168.1.124」など)は通信できます。

6 「AirTVアクセスポイント設定ツール」を起動する (p.204) の手順1 ~ 手順4を行う

7 「基本設定」画面で、 ~ の順に設定する



「設定」をクリックする

「再起動 & 登録」をクリックする

前ページの手順2で調べたIPアドレスを設定するルータ(またはルータタイプのADSLモデム)のLAN側サブネット内の空いているIPアドレスです。

前ページの手順1で調べたサブネットマスクを設定する

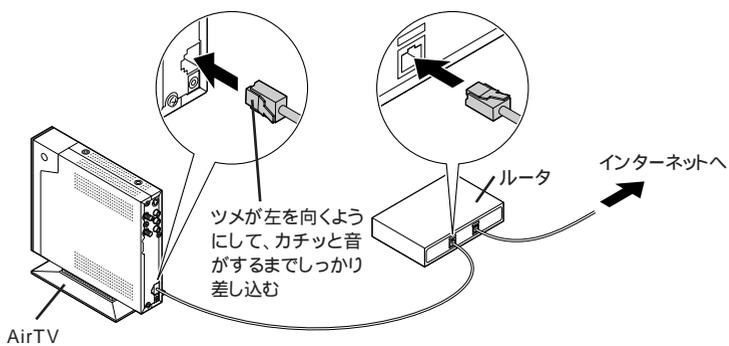
チェック

- ・「再起動 & 登録」をクリックすると、AirTVが再起動するため、いったん無線LANの通信が切断されます。再び通信できるようになるまでに約1 ~ 2分程度かかります。
- ・次回以降、「AirTVアクセスポイント設定ツール」を起動するには、ここで設定したIPアドレスが必要になります。忘れないように、下のIPアドレス記入欄に新しく設定したIPアドレスを記入しておくことをおすすめします。また、サブネットマスクも忘れないように記入しておくことをおすすめします。

IPアドレス: . . .

サブネットマスク: . . .

8 手順4で外したLANケーブルを、AirTVのLANコネクタに元通りに差し込む



9 手順5で変更したパソコンの無線LANアダプタの設定を元に戻す

AirTV仕様一覧

AirTV本体仕様

付録

型名		AirTV powered by SmartVision		
TV 関連部	映像関連機能	映像符号化	ハードウェアMPEG2リアルタイムエンコーダ	
		テレビチューナ	音声多重放送、受信チャンネル 1:VHF(1~12ch)、UHF(13~62ch)	
		データ放送受信 ²	地上アナログデータ放送(ADAMS)、字幕放送	
		映像合成表示機能	Direct Show [®] により任意のサイズで合成表示可能(全画面表示可能) SmartVision2.2n使用時:240×180ドット以上(縦横比3:4固定)でサイズ変更可能	
		高画質機能	ゴーストリデュース、3次元Y/C分離、タイムベースコレクタ、デジタルノイズリダクション	
		テレビ録画機能 ²	SmartVision2.2nでMPEG2(高画質モード:720×480ドット(8Mbps CBR)、標準画質モード:720×480ドット(4Mbps VBR)、長時間録画モード:352×480ドット(2Mbps VBR))、MPEG1(ユーザ設定モード:352×240ドット(1.152Mbps CBR))の録画可能	
サウンド関連インターフェース	オーディオ入力端子(L/R)	1系統(背面×1)		
映像関連インターフェース	TVアンテナ入力	F型同軸×1		
	TVアンテナ出力	F型同軸×1		
	ビデオ入力端子(S端子/コンポジット端子) ³	1系統(背面×1)		
アクセ ス ポ イン ト 部 ⁴	LANインターフェース	物理インターフェース	RJ45×1	
		インターフェース	100BASE-TX、10BASE-T ⁵	
	無線LANインターフェース	規格	IEEE802.11a、ARIB STD-T71	
		周波数帯域	5.2GHz帯(5.15~5.25GHz)	
		無線チャンネル	34ch、38ch、42ch、46ch	
		伝送方式	OFDM方式	
		伝送速度	6/12/18/24/36/48/54Mbps	
		アンテナ	ダイバーシティアンテナ(内蔵)	
			無線LAN外部アンテナ端子(専用アンテナ)	
	セキュリティ	ESS-ID(ESS-IDステルス機能あり) ⁶ 、WEP:64bit/128bit/152bit、MACアドレスフィルタリング		

型名		AirTV powered by SmartVision		
アクセスポイント部 ⁴	その他インターフェース	LED	PC-LINK	SmartVisionにてTV使用時
			POW	電源通電時点灯
			LAN	LANインターフェースリンク時点灯、データ通信時点滅
			TV	TVデータ配信時点滅
			AIR	ワイヤレスLAN通信接続時遅点滅、データ通信時早点滅
	RESET	リセットスイッチ		
				ACアダプタ入力
その他	電源	100V 50/60Hz(ACアダプタ)		
	消費電力	Max 11w (待機時 約6w)		
	温湿度条件	10 ~ 35 、20 ~ 80%(ただし結露しないこと)		
	外形寸法	42(W)×195(H)×220(D)mm(スタンド含まず)		
	質量	本体	約1.4kg	
		リモコン	約90g ⁷	
リモコン用受信ユニット		約55g		
主な添付品	マニュアル、ACアダプタ、スタンド、Ethernet ケーブル、アンテナケーブル(75 同軸ケーブル)、リモコン ^{8 9} 、リモコン用受信ユニット ¹⁰ 、乾電池(単三形アルカリ:2本)			

- 1 : 本製品はCATVの周波数にも対応しておりますが、ケーブルテレビ会社によりサービス内容に違いがあるため、接続に関しては、ご利用のケーブルテレビ会社にご相談ください。
- 2 : パートナ PC 使用時のみ。
- 3 : マクロビジョン等コピーガード信号の入った映像は表示することができません。
- 4 : 通信速度はそれぞれの規格による速度(理論値)です。また、接続対象機器、電波環境、周囲の障害物、設置環境、使用状況、ご使用のアプリケーションソフトウェア、OSなどによっても通信速度、通信距離に影響する場合があります。IEEE802.11b/g(2.4GHz)とIEEE802.11a(5GHz)は互換性はありません。5GHz 無線 LAN の使用は、電波法令により屋内に限定されます。TV 視聴および録画を行なう場合には Windows XP[®] 無線 LAN の電波状態を確認し、電波状態が「強い」または「非常に強い」環境でご利用ください。
- 5 : TV 映像は 100BASE-TX でのみご利用いただけます。
- 6 : 無線 LAN をご利用の場合、ESS-ID ステルス機能を ON にすると、画質により映像がコマ落ちすることがあります。ご利用環境に応じて画質設定を下げてご利用いただくか、ESS-ID ステルス機能を OFF にしてご利用願います。
- 7 : 乾電池の質量は含まれておりません。
- 8 : 使用可能な距離はご使用の環境条件や方法により異なりますが約 3m です。リモコンの電池寿命はご使用の環境条件や方法により異なりますがアルカリ電池で最大 100 時間(PC モード時)です。
- 9 : リモコンに使用する電池は消耗品です。
- 10 : USB ポートに接続します。



画質モード仕様

本機で設定可能な画質モードは下表の通りとなります。

画質モード	エンコード 型式	キャプチャ サイズ	ビットレート	1時間の録画に必要な ハードディスクの容量
高画質	MPEG2	720×480	CBR 8Mbps	約3.9Gバイト
標準画質	MPEG2	720×480	VBR 平均 4Mbps(最大 8Mbps)	約2.0Gバイト
長時間	MPEG2	352×480	VBR 平均 2Mbps(最大 4Mbps)	約960Mバイト
ユーザ設定	MPEG2	720×480	CBR 4～10Mbps(1Mbps単位) ²	約600Mバイト (VBR 1.2Mbps)～ 約4.8Gバイト (CBR 10Mbps) (設定によって異なり ます)
		352×480	CBR 3～10Mbps(1Mbps単位) ²	
		352×240	CBR 2～6Mbps(1Mbps単位)	
		720×480	VBR 4～5Mbps(0.5Mbps単位) ^{1 2}	
		352×480	VBR 2～5Mbps(0.5Mbps単位) ^{1 2}	
	352×240	VBR 1.2～3Mbps(0.5Mbps単位) ¹		
VideoCD		352×240	CBR 1.15Mbps	約600Mバイト

1：ユーザ設定におけるVBRの値は平均値を表しています。よって、5Mbpsに設定した場合のビットレートは最大10Mbpsとなります。

2：ユーザ設定において、この範囲内より高いビットレートに設定することも可能ですが、その場合コマ落ちや音飛びが発生する事があります。快適にお使いいただくためには、この範囲内に設定することをお勧めいたします。

ビットレート

単位時間(bpsの場合は1秒間)あたりのデータ量を表します。上記表では映像ビットレートを表示しています。

一般的に、この数値が高い程画質はきれいになりますが、録画ファイルサイズが大きくなってしまいます。また、映像をDVDやCD-R等への保存を考える場合は、その記録媒体の容量に収まるようなビットレートを選ぶ必要があります。

CBR

固定ビットレート(Constant Bit Rate)、映像の複雑さに関係なく、全てのシーンを一定のビットレートでエンコードします。

VBR

可変ビットレート(Variable Bit Rate)、画面の変化が大きい複雑なシーンでは、ビットレートを上げて、反対に画面の変化が小さいシーンではビットレートを下げること、画質を一定に保ってエンコードします。本機の場合VBR 4Mbps(標準画質モード)で録画すると、変化の激しいシーンでは8Mbpsでエンコードされるため、画質を落とさずに、ファイルサイズを節約することができます。

AirTV購入時の設定

AirTVは、購入時には次のように設定されています。

・テレビチューナ

項目名		設定値
基本設定	IPアドレス	192.168.0.110
	サブネットマスク	255.255.255.0
	パートナー設定	なし
	フレンドリ名	AirTV-01

・無線LANアクセスポイント

項目名		設定値	
基本設定	使用チャンネル	自動設定	
	ネットワーク名(ESS-ID)	AirTV-XXXXXX ¹	
	ネットワーク参照の可否	OFF	
	IPアドレス	192.168.0.111	
	サブネットマスク	255.255.255.0	
	管理者名(ユーザID)	admin	
	管理者パスワード	public	
暗号化設定	暗号化(WEP)設定	有効 ²	
	使用する暗号化キー番号	KEY1 ²	
	暗号化強度	64bit WEP	
	暗号化キー	KEY1	XXXXXXXXXX ^{2 3}
		KEY2	未設定
KEY3		未設定	
KEY4		未設定	
MACアドレスフィルタリング	MACアドレスフィルタリングの設定	無効	
	接続を許可するMACアドレス	なし	

1: AirTV 本体背面のラベルに記載された、AIRの右隣にあるMACアドレス下6桁の数値(16進数半角0～9、A～F)が入ります。

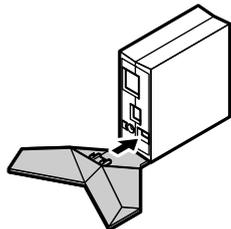
2: AirTV 本体背面のリセットスイッチをAirTV 本体前面のPC-LINKランプが点灯するまで押し続けると、設定が無効になります。再び暗号化(WEP)設定を有効にするには、「AirTV アクセスポイント設定ツール」で設定し直す必要があります。

3: AirTV 本体背面のラベルに記載された、WEPの右隣にある10桁の数値(16進数半角0～9、A～F)が入ります。

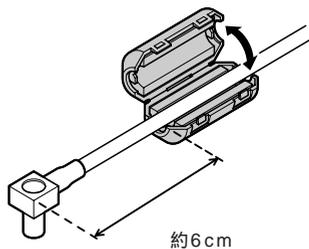
外部アンテナを取り付ける

AirTVは、別売の外部アンテナ(PA-WL/ANT2)を取り付けることができます。
無線LANの通信状態が改善することがあります。

1 外部アンテナに外部アンテナ用スタンドを取り付ける

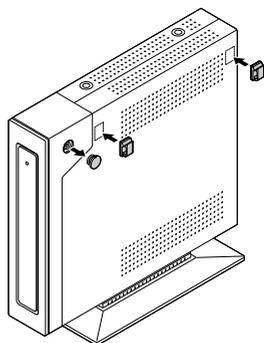


2 外部アンテナのコネクタ部分から約6cm離れた部分に、添付のフェライトコアを取り付ける

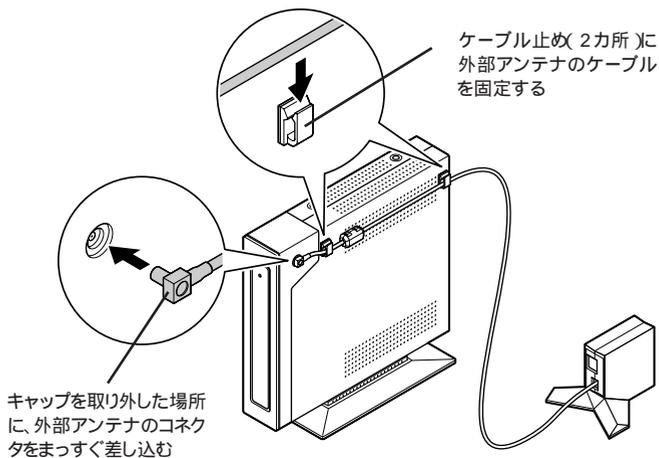


- 3 AirTV本体右側面のキャップを取り外し、ケーブル止めを下図の位置に取り付ける

針金(ペーパークリップを伸ばして作ることができます)の先などを、キャップのへこみ部分に差し込んでひっかけるようにすると、キャップをうまく取り外せます。



- 4 手順3でキャップを取り外した場所に外部アンテナのコネクタを差し込み、ケーブル止めでケーブルを固定する



チェック

- ・外部アンテナのコネクタを差し込むときは、コネクタの芯線が折れないように、まっすぐに差し込んでください。
- ・外部アンテナのコネクタが外れないように、ケーブル止め(2カ所)に外部アンテナのケーブルをしっかり固定してください。

アフターケアについて

保守サービスについて

保守サービスのご相談は、ご購入元、NEC121コンタクトセンターなどで承っています。NEC121コンタクトセンターについて詳しくは、『121wareガイドブック』をご覧ください。

チェック

- ・ご購入元、NEC121コンタクトセンターなどに本機の修理を依頼される場合、ご返却時には、AirTV内の設定値は購入時の状態に戻りますので「AirTVをセットアップする」(p.14)をご覧ください。購入時の設定については、付録の「AirTV購入時の設定」(p.218)をご覧ください。また、無線LANの暗号化(WEP)設定も購入時の状態に戻ります。
- ・修理を依頼される前に暗号化(WEP)の設定を変更していた場合は、「AirTVアクセスポイント設定ツール」の「暗号化(WEP)設定」画面(p.208)で設定し直してください。
- ・修理の場合は、お手数ですがパソコン本体と一緒に持ち込みください。

索 引

索引

英数字

ACアダプタと電源ケーブルの接続	13
ADAMS放送	27, 119, 189
ADAMS放送を受信できる放送局	27
AirTVアクセスポイント設定ツール ...	204
AirTV設定ツール	21
AirTVのセットアップ	14
AIRランプ	3
CATV	185
CBR	217
DCコネクタ	4
DHCP	123
DVD-Video	106
ESSID(ネットワーク名).....	156, 206
F型コネクタプラグ	9
IPアドレス....	14, 122, 195, 197, 198
LANコネクタ	4
LANランプ	3
MACアドレス	199, 200
MACアドレスフィルタリング	156, 209
MediaGarage	111
PCGATE Personal	15, 35, 145
PC-LINKランプ	3
POWランプ	3
SmartVision	40, 109
SmartVision TV 録画予約サービス	90
SmartVision/SERVER	167
SmartVisionのパスワード	58
S映像入力端子	4
TVアンテナ出力端子	4
TVアンテナ入力端子	4
TVランプ	3
VBR	217
VideoCD	106
VideoStudio	105
WEP	20, 156, 208
Windowsのログオンパスワード	56

あ行

アクセス制限	194
アクセスポイント	121, 204, 218
アドバンスモード	44
アナログビデオカメラ	107
アフターケア	221
暗号化(WEP)の設定	208
アンテナ線	8
アンテナ線の接続	8
インターネットへの接続	126
映像の編集	105
エクスポート機能	99
おまかせ録画	70, 169
音声コントロール	43, 53
音声入力端子	4
音声の切り換え	54
音量の調節	53

か行

外部アンテナの取り付け	219
外部アンテナ端子	3
外部機器との接続	107
画質	59, 184, 217
画面の切り換え	41
簡易編集機能	98
ゲストPC	158
購入時の設定	218
コンボジット映像入力端子	4

さ行

再生	75
サブネットマスク	198
シークレット録画	64
シーンインデックス	96
時刻修正	181
視聴予約	87, 179
字幕放送	49
仕様一覧	215
スタビライザの取り付け	7

スリムモード	45
セキュリティ	156
設置場所	6

た行

タイムシフトモード	46
タイムシフト録画	64
地上アナログデータ放送	118, 187
チャンネルコントロール	43, 51
チャンネル設定ユーティリティ	34
チャンネルと番組表の設定	27
チャンネルの切り換え	51
テレビの接続	12
特殊再生	97

な行

ネットワークアドレス	14, 122, 212
ノーマルモード	42

は行

パートナPC	158
パスワード	56, 58
番組の検索	85
番組表	52, 80, 179
番組表の自動受信	82
ビットレート	217
ビデオデッキ	107
ファームウェアのアップデート	210
ファイアウォール	15, 36, 174
ブックマーク	95
プリンタやファイルの共有	153
フルスクリーンモード	45
ホストアドレス	14, 122, 212

ま行

無線LANアクセスポイント	122, 124, 204, 212
無線LANのセキュリティ	156
無線LANの設定	17

ら行

ライブモード	46
リセットスイッチ	4, 5
リモコン	51, 53
ルータ機能	123
録画	56, 59, 87, 109
録画時の画質	59, 217
録画予約	65, 87, 90, 170, 179

MEMO



AirTVガイド

LaVie

このマニュアルは再生紙
(古紙率:表紙50%、本文100%)
を使用しています。

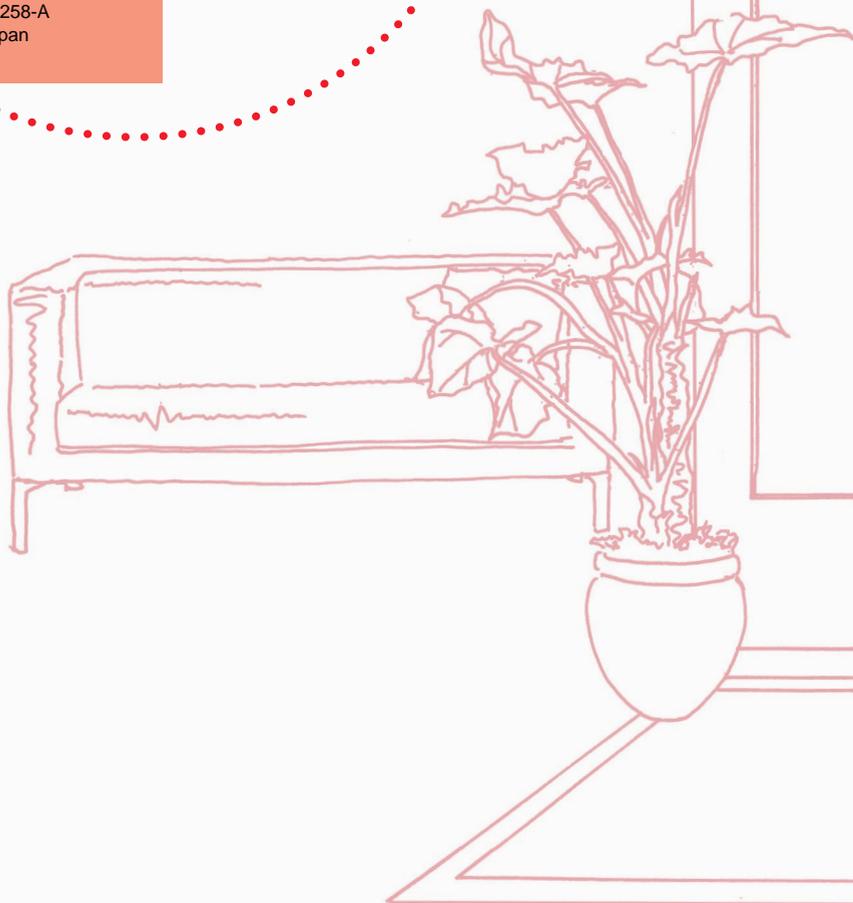
初版 2004年1月

NEC

P

853-810601-258-A

Printed in Japan



* 8 1 0 6 0 1 2 5 8 A *